平成27年度

あさひかわの農業



旭 川 市

目

I 旭川農業の現況	1	カ 年度別主要作物別作付面積・生産量	
1 旭川農業の現状	1	· 生産額 ·	3 2
2 旭川農業の課題と主要施策	2	2 水稲	3 5
3 各資料	4		3 5
(1)旭川の気象	4	[参考] 平成27年度経営所得安定対策	
(2)農業生産振興の地域指定状況	6	の概要	3 6
(3)区域別土地利用状況	8	(2)各資料	3 7
(4)旭川農業振興地域整備計画一般管理	8	ア 平成26年産米の各種指標	3 7
(5)農林水産関係予算額	9	イ 米の生産量の推移	3 7
		ウ 10a当たり収量の推移 ·····	3 7
		エ ななつぼし相対取引価格推移	3 7
Ⅱ 担い手の育成	1 0	オ 米の作柄について	3 8
1 概況	1 0	カ 作況指数と生産量の推移	3 9
2 各資料	1 1	キ 平成26年産米の検査区分別・等級別	
(1)農家数の推移	1 1	出荷実績	4 0
(2)販売農家数の推移	1 2	ク 平成26年産米穀の高品質米出荷実績	4 0
(3) 農業従事者数	1 3	ケ 平成26年度地区別面積集計表	4 1
(4)農業後継者数・新規就農者数の推移	1 4	コ 平成26年度地区別転作作物別集計	4 1
(5)経営耕地別農家数	1 5	サ 平成27年産米の生産数量目標	4 1
(6)経営耕地面積規模別農家数の推移 …	1 5	シ 各年産別米穀の出荷実績	4 2
(7)経営耕地面積の推移	1 6	ス 年次別出荷数量	4 2
(8) 一戸当たり経営耕地面積の推移	1 6	セ 品種別作付面積の推移	4 3
(9)経営耕地借地状況の推移	1 7	ソ 旭川市における転作等の推移	4 4
(10)農業経営改善計画の認定状況	1 7	タ 水稲作付面積ランキング	
3 各事業	18	チ 水稲収穫量ランキング	
(1)農地中間管理機構関連事業	18	3 一般畑作	4 7
(2)青年就農給付金事業	1 9	(1)概況	4 7
(3)経営体育成支援事業	1 9	(2)各資料	4 7
(4)今こそ就農・新規参入者応援事業		ア 年度別一般畑作品目別栽培面積・生産量	
(5)新規就農対策強化事業	2 1	及び生産額	4 7
(6)農業担い手育成事業		イ 一般畑作作付面積・生産量・生産額	
(7)農業経営強化資金融資事業	2 3	の推移	
		4 野菜	
		(1)概況	
Ⅲ 産地づくり・クリーン農業の推進		(2)各資料	5 0
1 概況		ア YES! clean(北のクリーン農産物表示	
(1)概況		制度)について	
(2)各資料		イ エコファーマーについて	5 0
ア 農業生産額の推移		ウ 系統向け野菜作付面積及び生産量・	
イ 年度別農産物生産量		生産額	
ウ 平成25年度主要農産物作付面積 …		エ 農協直営農産物直売所の販売額	
工 年度別農産物生産額		5 果樹	
オ 平成25年度の農業生産額	3 0	(1)概況	5 2

(2) 各資料	5 2	イ 市内家畜市場の開設状況	7 0
ア 品目別栽培面積・生産量及び生産額	5 2	2 - 3 - 2 - 1 - 10 -	7 1
	5 3		7 1
6 花き	5 3		7 3
, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		- 11218	
(2)各資料	53	(1)概況	73
	5 3	(2)各資料	73
イ 平成26年度切花品名別生産額		ア 市内森林面積内訳	7 3
ウ 花き栽培面積及び生産額の推移	5 3	イ 造林	74
7 各事業(水稲・一般畑作・野菜・果樹・		ウ 林道 ···································	7 4
花き・鳥獣被害関連)	5 4	工 治山	7 4
(1) 旭川農産物販売力向上対策事業		オ 市有林	7 5
(2)強い園芸産地づくり支援事業	5 6	(3)各事業	7 6
(3)あさひかわ米を粉で食べよう事業 …	5 7	ア 森林整備対策事業	7 6
(4)環境保全型農業直接支援対策事業 …	5 8	イ 明日のもり事業	7 6
(5)田畑をまもる鳥獣被害総合対策事業	5 9	ウ 森林作業員就業条件整備事業	7 7
[参考]有害鳥獣捕獲状況,被害金額ほか	6 0	工 森林整備地域活動支援事業	7 7
(6)中山間地域等直接支払事業	6 1	才 林道整備事業「林道富大線」	7 8
(7) 畑作物ブランド化支援事業	6 2	10 農業農村整備	7 9
(8)農産物等流通拡大支援事業	6 3	(1)概況	7 9
(9)果樹産地強化支援事業	6 4	(2)各事業	7 9
(10)農業ヘルパー育成導入支援事業	6 5	ア 国営緊急農地再編整備事業	7 9
8 畜産	6 6	イ 農用地等集団化支援事業	7 9
(1) 概況	6 6	ウ 地力増強基盤整備事業	7 9
ア 概況	6 6	工 国営造成施設管理体制整備促進事業	8 0
イ 畜産環境整備概況	66	オ 道営ほ場整備事業	8 0
(2)各資料	6 6	カ 道営かんがい排水整備事業	8 2
ア 家畜別飼養戸数及び飼養頭羽数	6 6	キ 道営農道保全対策事業	8 2
イ 家畜別飼養戸数及び飼養頭羽数の推移	6 6	ク 道営水利施設整備事業	8 2
ウ 年度別畜産物生産量	6 7	ケ 基幹水利施設管理事業	8 3
工 年度別畜産物生産額	6 7	コ 土地改良償還金対策事業	8 4
(3) 酪農		サ 多面的機能支払事業	
ア 概況 ···································	68	シ 国営土地改良事業	
イ 乳牛の飼養状況		ス 飲雑用水施設整備事業	
ウ 年度別乳牛能力検定成績		11 その他	
工 自給飼料		(1) 小水力発電導入調査支援事業	
(4)肉牛			
ア 概況			
イ 肉牛の年度別飼養状況 ····································		IV 都市と農村の交流	8 7
(5)養豚		1 グリーン・ツーリズム	
ア 概況		(1) 概況	
7 個元 イ 豚の飼養状況 ····································		(2)各資料	
(6) 家畜市場		ア 都市農村交流人口の推移	
ア 概況	<i>/</i> U	イ グリーン・ツーリズム施設計画認定件数	00

ウ 農家民泊旅館業許可取得件数	8 9	(6)小作料標準額の推移	117
工 修学旅行宿泊実績	8 9	(7)農地賃貸借情報	118
才 市民農園開設状況	8 9	3 農業者年金業務	119
(3)各事業	90	(1)農業者年金加入状況	119
ア グリーン・ツーリズム推進事業	9 0	(2)農業者年金受給裁定者数	119
イ 江丹別若者の郷活性化対策事業	9 1	(3)死亡一時金等支給実績	1 2 0
2 各施設	9 2	4 農業後継者対策	1 2 1
(1) 江丹別若者の郷	9 2	(1)事業内容	1 2 1
(2)西神楽農業構造改善センター	9 5	(2)関係業務	1 2 1
(3)東旭川農村環境改善センター	96	5 農業情報の提供活動	1 2 1
(4)旭正農業構造改善センター	9 7	6 証明関係取扱状況	1 2 2
(5)永山ふれあいセンター	98	7 旭川市長との意見交換会	1 2 3
(6)東鷹栖農村活性化センター・野土花	99		
(7)旭川市21世紀の森施設	100		
(8)嵐山レクリエーション施設	103		
(9) とみはら自然の森	1 0 4		
(10)農村公園	105		
		Ⅷ 農業団体	1 2 4
		1 農業協同組合の概要	1 2 4
Ⅴ 農業センター(花菜里ランド)	106	2 農業共済組合の概要	1 2 4
1 概要	106	3 土地改良区の概要	1 2 5
2 試験研究	108	4 農業諸団体一覧	1 2 6
(1)概況	108	(1)主要官公署等	1 2 6
(2) 各事業	108	(2)農業協同組合	1 2 6
ア 土壌診断推進事業	108	(3)農業共済組合	1 2 6
イ クリーン農業技術試験研究事業	109	(4)土地改良区	1 2 6
ウ 優良種苗調査研究事業	109	(-) (11 12 4	1 2 7
	109	(6)専門農業協同組合	
	1 1 0	(7) その他の機関・団体	1 2 7
カー平成27年度野菜・花き試験研究課題	1 1 0		
		100 Le 111-1- da 316 / 1 146 144	1 0 0
Ⅵ 農業委員会 ····································	111	Ⅷ 旭川市農業行政機構	128
VI 辰未安貝云 1 農業委員会の活動			
(1)委員会構成			
(2)会議開催状況			
(3) 農業委員会選挙人名簿登録人員 ······			
(3) 展末安貝云選手八石溥豆球八貝 2 農地業務			
(1) 農地移動適正化あっせん事業			
(2) 利用権設定等促進事業 ····································			
(3) 農地転用の推移			
(4) 農地事務処理状況 ····································			
(5)嘱託登記			
∖∪ノ '病心显心	1 1 /		

平成27年度 旭川市農政部の施策と主な事業

状 分 析 本市農業が抱える課題

農業者の

- 減少と高齢化 農家戸数はこの20年で
- 6割減少 農業者の60歳以上 割合は65%

農地集積の 更なる推進

- 小区画農地が散在 ・ 農地の分散錯雨
- ・離農農地の集積

農業生産量の 減少

水稲, 畑作物, 野菜, 果樹のいずれも, ピーク時の半分程度 に減少

農産物の 消費低迷

- 日本人の米や野菜の 消費量の低下 外食,中食への 消費者志向の変化
- 効果的に活用!

問題意識を国と 共有し,制度を

当面の国の政策 ~ 攻めの農林水産業の展開~

経営所得安定対策の継続

• 経営体育成支援事業

• 農地中間管理事業

・青年就農給付金(担い手)

○国土強靭化・競争力強化 ○経営所得安定対策 ○担い手・農地総合対策 ○輸出対策など

農業6次産業化の推進 人・農地プランの推進に伴う各種支援

自由貿易協定交渉の進展(TPPなど)

国土強靭化に伴う基盤整備の促進

耕作放棄地対策等

重点分野

地域資源の活用

7!\

取組の方向性

基幹産業「農業」の活性化を推進する

「人」・「産地」の形成と「価値」向上の取組み

など

重点事業

主要事業

Ι 担い手の育成

【重点・新規】 6,000千円 (06-11-64-01) (全額地域住民生活等緊急支援のための交付金)

① 新規就農対策強化費

新規就農者の受入体制を強化するため、農協等が新規 就農者の研修用として整備するハウス等の費用や研修 期間中の賃貸住宅家賃の一部を助成する。

【重点•拡充】 14,634千円 (06-11-13-01) (全額地域住民生活等緊急支援のための交付金)

②今こそ就農・新規参入者応援事業費

新規参入者が就農しやすい受入体制の構築や就農時の 初期投資費用を支援する制度等を整備し、効率的な担 い手の確保・育成を推進する。

Ⅱ 産地づくり

Ⅲ クリーン農業の推進

Ⅳ 都市と農村の交流

【重点•拡充】 5.840千円 (06-15-29-01) (全額地域住民生活等緊急支援のための交付金)

⑥ 農産物等流通拡大支援費

農産物の付加価値向上や流通の拡大を図るため、食関連事業者と農業者とのマッチング、道外販路開拓、加工・販売施設等の整備など、農業者の取組を支援する。 また、海外をターゲットとした農産物の輸出調査の実施や、農産加工協議会を中心に農業、製造業、医療福祉等の関係者で構成する「農業の6次化検討会議(仮称)」を設置し、 必要な支援策の検討等を進める。

【重点•拡充】 52,900千円 (06-15-20-01)

(全額地域住民生活等緊急支援のための交付金)

⑦強い園芸産地づくり支援費

本市の特色であるクリーンで安全な施設園芸分野において「新たな省力技術の導入」を支援することで、野菜生産量 の減少に歯止めを掛けるとともに規模拡大に意欲のある農家を育成し、国策や貿易自由化への影響を受けにくい足腰 の強い園芸作物の産地として維持及び発展を図る。

【重点・新規】 4,020千円 (06-12-70-01)

(全額地域住民生活等緊急支援のための交付金)

③ 農業ヘルパー育成導入支援費

生産現場における労働力不足を解消するため、農業団体が実施する「農業ヘルパー制度」構築に対する支援を行うこ とで、人材育成・確保のシステム導入・定着を図り、産地の維持・発展や意欲ある農家の規模拡大を促進する。 登録ヘルパーが受講する基礎研修に対する助成や育成期間中の(1ヶ月間)の農家負担を軽減することで、円滑な事 業推進と制度普及を図る。

【主要】 61,100千円 (06-12-69-01) (うち一般財源 O円)

④農地中間管理機構関連事業費

地域の問題解決にあたり、地域での話し合いにより策 定する人・農地プランを基礎として、農地中間管理事 業等を活用し、担い手への農地集積・集約化の推進、 農地の有効利用の継続や農業経営の効率化を図る。

【主要】 141千円 (06-11-53-01) (全額一般財源)

⑤ 農業後継者等基本技術研修費

施設やほ場を利用した実技指導を伴う研修を実施し、 農業者の知識・栽培技術の向上や作業の効率化を図る。 【重点・拡充】 2,132千円 (06-15-12-01) (全額地域住民生活等緊急支援のための交付金)

⑧旭川農産物販売力向上対策費

旭川の基幹作物である米をはじめ、野菜・花き等の高 収益性の推進及び生産技術向上・消費宣伝対策に対す る支援を行い,産地の認知度・評価を高め競争力ある 農業の振興を図る。

【主要】 1,203千円 (06-15-37-01) (うち一般財源 1,173千円)

⑨ 冬期野菜生産技術調査研究費

北海道など他機関と連携し、冬期・微加温で栽培可能 な品目・栽培技術等を研究し、冬期野菜生産技術の確 立を図る。

【主要】 5,416千円 (06-14-03-01) (うち一般財源 3,917千円)

⑩土壌診断推進費

健全な土づくりと適正施肥栽培の普及を図るため, 土壌の分析診断や指導を行い、本市のクリーン農業を 推進する。

【主要】 2,614千円 (06-14-04-01) (全額一般財源)

⑪クリーン農業技術試験研究費

クリーンな農産物の生産を推進するため、クリーン農 業技術の実証実験、残留農薬分析を実施し、生産者意 識の高揚を図り、本市農産物の付加価値向上を目指す

【主要】 9,924千円 (06-14-07-01) (うち一般財源 2,456千円)

⑪環境保全型農業直接支援対策費

環境保全に効果の高い農業に取り組む農業者で組織す る団体等を支援するこで、農業の持続的発展と多面的 機能の健全な発揮及びクリーン農業の拡大を図る。

【主要】 2.175千円 (06-22-04-01) (うち一般財源 1,767千円)

⑪グリーン・ツーリズム推進費

農業経営の安定的発展と農村地域の活性化を図るため、 都市農村交流を通して、都市住民の農業・農村体験 ニーズへの充足及び農業・農村への理解促進により, 地元農産物の需要拡大を図るとともに、農家自ら取り 組むグリーン・ツーリズム関連ビジネスを育成・支援 する。

【江丹別地域づくり推進プラン関連事業】 【主要】11.986千円 (06-22-15-01) (全額一般財源)

(4) 江丹別若者の郷活性化対策費

地域の交流人口拡大の中核施設である「江丹別若 者の郷」の活性化を図るため、地域住民等で構成 される協議会にて施設活性化策を検討するととも に、集客力向上のため、地場資源を活用した自然 体験型研究開発に取り組む。

また、合宿等大口での集客が見込まれるテニス コートをリニューアルするなど施設内外の環境整 備に取り組み, 地域の交流人口拡大を図る。

Ⅰ 旭川農業の現況

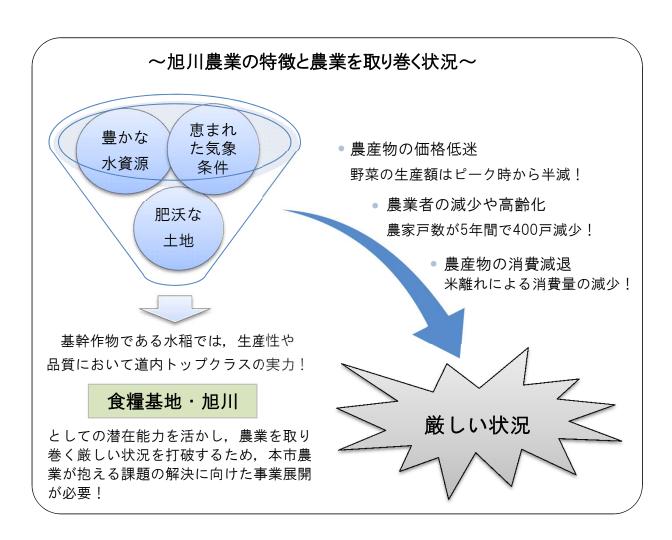
1 旭川農業の現状

本市の農業は、豊かな水資源と肥沃な土地、気象条件に恵まれ、稲作を中心に畑作、野菜、果樹及び畜産等幅広く農産物を生産し、我が国の「食料基地・北海道」の農業を支える重要な役割を果たしている。

基幹である稲作は、米産地として、生産性や品質の面で道内でもトップクラスに位置づけられており、売れる米づくりに向けて生産者・農業団体・行政が一丸となって種々の取組を進めている。

畑作や野菜では、良質な農作物を安定的に生産するため、集出荷体制の整備やほ場の 基盤整備等を推進し、需要動向に即した品目を導入するなど、積極的な生産流通対策を 講じてきており、また畜産は、家畜の資質向上や自給飼料の増産などを推進し、生産コ ストを引き下げ、経営の合理化に努めている。

しかしながら昨今、農業を取り巻く状況は、農業者の減少や高齢化、農産物価格の低迷など、厳しい環境におかれており、特に野菜の生産額についてはピーク時と比較して半減しているという危機的状況にあることから、この現状を打破するため、生産振興に必要な事業の展開を図っていく必要がある。



2 旭川農業の課題と主要施策

旭川市では、本市農業が抱える主な課題を次の4項目に整理したうえで、項目毎に課題解決のための主要施策を構築し、各種事業を推進している。また、農村地域の資源を利用した再生可能エネルギー導入を進めるための調査・検討に対する支援を行っている。

①構造改革の推進

課題

担い手の高齢化・減少, 荒廃農地の増加が懸念される中で, 持続可能かつ生産性・効率性の高い地域農業を確立していくためには, 農業の構造改革が不可欠である。本市でも, 国の対策を活用するとともに, 独自の施策を講じながら, 認定農業者に農地の集積を進めてきているが, 依然として, 集積された農地が飛び地となっているものや, 小区画の農地で散在している実態が少なくなく, 一定の集積が進んでいる割には生産性・効率性に課題が残されている。

また中核的な担い手においても、後継者の確保が厳しい状況があり、さらに 粗放的経営で規模拡大が進みやすい稲作中心の構造改革が進む反面、技術・労 働力集約型の施設園芸部門が取り残されるという本市特有の問題も生じている。

①担い手の育成

事業詳細については、18ページ及び106ページからの各事業参照

施策

農外からの新規参入者や,次世代を担う農家子弟,地域の中核となる認定農業者など,多様な担い手を確保・育成するとともに,資質向上のための技術研修等を実施する。

また、経営の維持・発展を図るため、国などの事業を活用し、農業機械・施設の導入や農地集積等への支援を行う。

②農産物価格の低迷

課題

外国産農産物の輸入・産地間競争のほか、消費の減退などから、農産物価格は低迷しており、また、農業資材・飼料等の価格は高止まりしている。こうした状況は農業生産額を減少させており、経営所得安定対策(旧戸別所得補償制度)により一定の生産費確保が図られているものの、農業経営を圧迫している。さらに、WTO農業交渉やEPA・FTA、さらにはTPPなど国際交渉の行方によっては、一層厳しい状況を迎えることが予想される。

こうしたことから、地元農産物の付加価値向上を図るため、食味・品質などに一層磨きをかけていくとともに、流通拡大へ向けた取組のほか、農作業の効率化などによる生産コスト縮減を進める必要がある。

②産地づくり

事業詳細については、54ページ及び108ページからの各事業参照

施策

他産地をリードするため、施設園芸の資材・機械などの導入助成や、ほ場などの生産条件整備、土壌分析による適正施肥の推進などによる生産体制の強化を図るとともに、旭川米や野菜・花きの販売対策、果樹の新品種導入や農産物の加工・販売による6次産業化など、旭川産農産物の高付加価値化や差別化を図り、流通拡大や有利販売につながる販路開拓を図るなど、強い産地づくりに向けた取組を行う。

③消費者ニーズ(食の安全・安心)に対応した生産体制の構築

課題

食の安全・安心に対する消費者の関心が高まる中、本市の農産物は「YES! clean」の認証取得品目数が全道一となっている。今後は、これまでのクリーン農業への取組を一層進め、安全・安心で高品質な農産物を提供し、加えて、付加価値向上など他産地との差別化につながるよう、産地全体で努力していくことが必要である。

③クリーン農業の推進

事業詳細については、54ページ及び108ページからの各事業参照

施策

「YES! clean」や「エコファーマー」認証取得の促進、農薬使用を極力低減した栽培方法の確立や普及、農産物の残留農薬分析などのクリーン農業を推進し、農水省ガイドラインGAP手法に取り組むなど、食の安全・安心に対応した農産物の生産・販売体制を確立することで、クリーン農産物の生産拡大・販路拡大を図る。

④都市住民の農業理解の促進

課題

近年,都市住民の間で、農業・農村が持つアメニティ機能が注目されている。 とりわけ保健休養機能の評価は高く、宿泊しながら農作業や農家暮らしを体験 する需要が広がってきている。本市でも、ここ数年で農業者自らの取組が芽吹 いてきており、農村活性化が図られている。このような取組が奏功するために は、都市住民の農業・農村に対する理解が不可欠であることから、こうしたグ リーン・ツーリズムの取組を拡大していく必要がある。

④都市と農村の交流



事業詳細については、90ページからの各事業参照

施策

農家民泊や農家レストラン・直売所など、農業者が取り組むグリーン・ツーリズム施設計画の認定や農家民泊許可手数料の助成などの各種支援に努めるとともに、子どもから大人まで幅広い市民を対象とした農作業体験等を推進し、都市住民の農業・農村への理解促進と農村地域の活性化を図る。

その中でも、農家民泊では民泊許可農家数の不足から、本市での農家民泊を希望するニーズを満たせていない状況にあることから、農業者への積極的な働きかけを行い、グリーン・ツーリズム関連事業に対する理解を促すなど、取組の拡充・拡大を図る。

⑤再生可能エネルギーの利活用

事業詳細については、86ページ参照

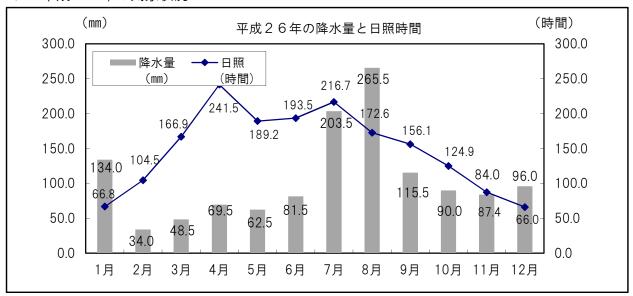
施策

国の重要戦略として位置づけられている"地域事業に応じた再生可能エネルギーの導入"を推進するため、農村地域の資源を利用した小水力発電など再生可能エネルギーについての調査・検討を支援する。

3 各資料

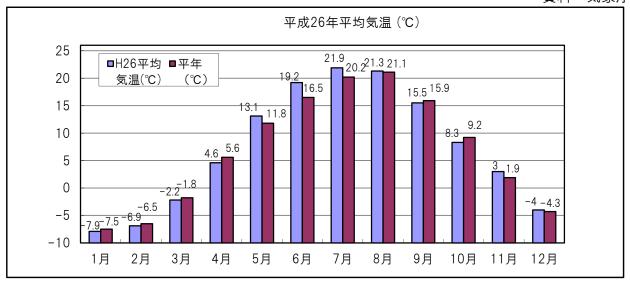
(1) 旭川の気象

ア 平成26年の気象状況



月次	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年合計
降水量 (mm)	134.0	34.0	48.5	69.5	62.5	81.5	203.5	265.5	115.5	90.0	84.0	96.0	1,284.5
日照(時間)	66.8	104.5	166.9	241.5	189.2	193.5	216.7	172.6	156.1	124.9	87.4	66.0	1,786.1

資料:気象庁



月次	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年平均
H26平均 気温(℃)	-7.9	-6.9	-2.2	4.6	13.1	19.2	21.9	21.3	15.5	8.3	3	-4	7.2
平年 (℃)	-7.5	-6.5	-1.8	5.6	11.8	16.5	20.2	21.1	15.9	9.2	1.9	-4.3	hu

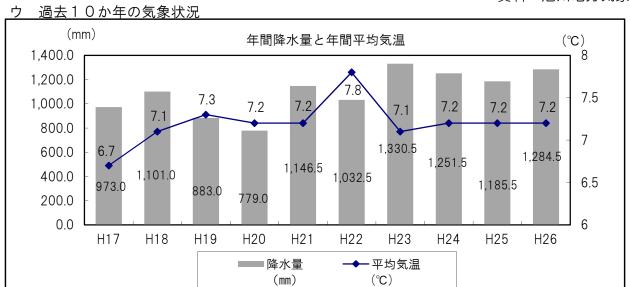
注)「平年値」とは「昭和56年~平成22年」までの30年間の平均値

資料:気象庁

イ 初終日(2015年7月)

	初日(平年差)	終日(平年差)
霜	10月 7日(平年より1日早い)	5月19日(平年より 4日遅い)
雪	10月28日(平年より5日遅い)	4月16日(平年より12日早い)

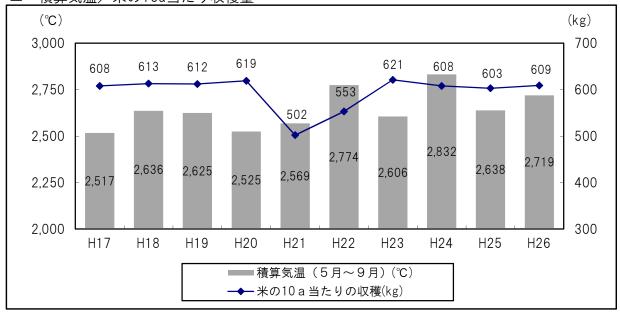
資料:旭川地方気象台



年次	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
平均気温 (℃)	6.7	7.1	7.3	7.2	7.2	7.8	7.1	7.2	7.2	7.2
降水量 (mm)	973.0	1,101.0	883.0	779.0	1,146.5	1,032.5	1,330.5	1,251.5	1,185.5	1,284.5

資料:気象庁

エ 積算気温/米の10a当たり収穫量



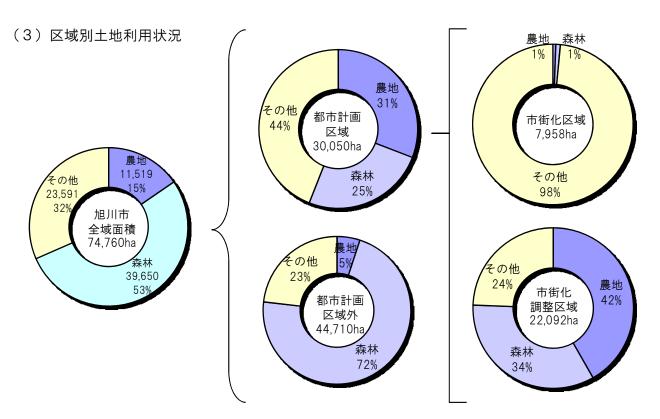
資料: 気象庁, 旭川市農政部

(2)農業生産振興の地域指定状況

平成26年5月末日現在

	F7 /\	#\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-			
	区分	指定年月日	根拠	指定の範囲	
農業振	地域指定 整備計画認可	昭 4 7. 1 1. 4 昭 4 9. 5. 3 1	 農業振興地域の整備に 関する法律(昭和44年	市全域から国有林,道 有林,市有林(50ha以	
掘興	整備計画 見直し変更	平25. 2.15	法律第58号)	上), 市街化区域, 国 有地を除く。	
	:農政推進活動 :地域	昭54. 9.18	地域農政特別対策事業 実施要綱(昭和52年5 月10日付け52構改B第 913号農林事務次官通 達)	市内農業振興地域	
振興	山村	昭48. 3. 5	山村振興法(昭和40年 法律第64号)	江丹別町	
北海振興	道寒冷地畑作 法	昭34. 9.28	北海道寒冷地畑作営農 改善資金融通臨時措置 法(昭和34年法律第91 号)	米原,東桜岡),西神	
野菜	指定産地	昭41.8.18たまねぎ昭47.12.21冬キャベツ (なお,平13.5指定解除)昭48.12.20秋冬はくさい (なお,平23.5指定解除)昭49.5.15ばれいしょ昭50.12.19夏秋きゅうり " 秋冬だいこん " 夏秋とまと昭59.6.25夏だいこん平3.3.31夏秋キャベツ (なお,平14.5指定解除)平3.3.31夏なぎ (なお,平23.5指定解除)	野菜生産出荷安定法 (昭和41年法律第103 号)		
農村	総合整備計画	昭59. 5. 7	農村総合整備計画作成 要綱(昭和49年9月25 日付け49国地農第9号 国土事務次官通達)	市内農業振興地域	

区分	指定年月日	根拠	指定の範囲	
	昭60. 5.13	新農業構造改善事業促 進対策(後期対策)要	東旭川町忠別地区	
	昭 6 1. 5. 9	綱(昭和58年5月2 0日付け58構改B第	西神楽地区	
農業構造改善	昭63. 5. 6	755号農林水産事務 次官依命通達)	江丹別地区	
	平 4. 5.15	農業農村活性化農業構造改善促進対策要綱 (平成2年6月7日付	東旭川町旭正地区	
	平 6. 6.23	け2構改B第558号 農林水産事務次官依命 通達)	旭川地区	
農用地有効利用モデ	平 4. 5.19	新農業構造改善事業促 進対策(後期対策)要 綱(昭和58年5月2	東旭川町共栄地区	
ル集落整備計画	平 5. 5.14	0日付け58構改B第 755号農林水産事務 次官依命通達)	西神楽地区	
酪農・肉用牛生産近	昭59. 9.29	酪農及び肉用牛生産の 振興に関する法律(昭	市全域	
代化計画	(見直し平23.8.10)	和 2 9 年法律第 1 8 2 号)	川土坳	
森林整備計画	昭60. 4. 9	森林法(昭和26年法	市全域	
AND TE ME IT IEI	(変更平27.4.1)	律第249号)	中主线	



(4) 旭川農業振興地域整備計画一般管理

ア 事業概要

農業振興地域の整備に関する法律(農振法)に基づき策定した「旭川農業振興地域整備計画」について、必要に応じて随時変更を行うとともに、計画に定める農用地等の保全のため 違反者への指導及び関係機関との調整を行う。

イ 農業振興地域面積

平成27年1月末日現在(単位: ha)

	項目		農業振興地域※1	
区分		農用地区域※2	農用地区域外※3	計
	田	9,690	610	10,300
農	畑	4,907	894	5,801
地	樹園地	49	60	109
	小計	14,646	1,564	16,210
	採草放牧地	0	0	0
	混牧林地	198	0	198
その	農業用施設用地※4	82	30	112
他	山林原野	1,715	11,380	13,095
	その他	0	4,071	4,071
	小計	1,995	15,481	17,476
	総面積	16,641	17,045	33,686

資料:旭川市農政部

- ※1 市全域から, 市街化区域, 国有林, 道有林, 市有林(50ha以上)及び国有地を除いた地域。
- ※2 今後10年以上にわたり農業上の利用を確保すべき土地として、農用地利用計画図において色付けされている地域。(黄色:農地,緑色:混木林地,茶色:農業用施設用地)
- ※3 農業振興地域のうち、農用地区域を除いた地域。(白地)
- ※4 農機具格納庫, 畜舎, 堆肥舎, 集出荷施設及び農畜産物の加工・販売施設等の農業用施設の用に供される土地。

(5)農林水産関係予算額

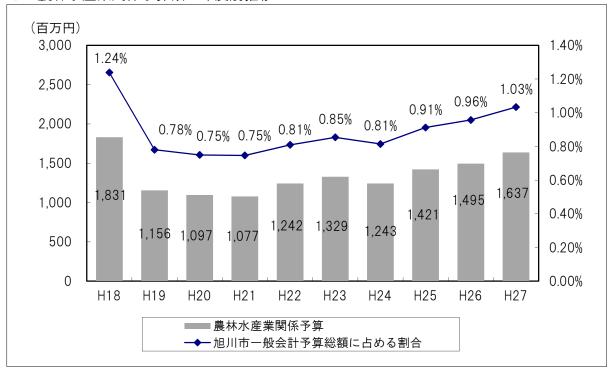
ア 平成27年度当初予算額

平成27年度旭川市一般会計予算

			1 12 2	7 干及他加助	水五山丁井
	科目	当初予算額	前年度当初予算額	前年月	度対比
	17	(千円)	(千円)	増減額(千円)	増減率(%)
2款	総務費	91,198	69,761	21,437	30.73
	財産管理費(市有林)	91,198	69,761	21,437	30.73
6款	農林水産業費	1,545,458	1,425,688	119,770	8.40
	農業委員会費	36,644	35,776	868	2.43
	農業振興費	366,938	394,246	△ 27,308	△ 6.93
	農産園芸振興費	36,629	42,018	△ 5,389	△ 12.83
	農業センター費	115,999	91,049	24,950	27.40
	畜産業費	34,638	33,103	1,535	4.64
	農地改良費	739,846	548,130	191,716	34.98
	農村施設管理費	115,949	122,266	△ 6,317	△ 5.17
	林業振興費	98,815	159,100	△ 60,285	△ 37.89
	合 計	1,636,656	1,495,449	141,207	9.44

注) 6款については農政部所管外事業を含む

イ 農林水産業関係予算額の年度別推移



Ⅱ 担い手の育成

1 概況

本市の農家数・農業専従者数は共に減少の一途をたどっており、農家数は平成2年の3,751戸から20年後の平成22年は1,647戸に減少しており、農業専従者数も平成2年の3,980人から平成22年は2,050人に減少している。さらに65歳以上の高齢者の割合が平成2年の14.67%から平成22年で44.27%となって農業者の高齢化が進行しており、今後もこの傾向は続くと見込まれる。こうしたことから、本市農業の持続的発展のためには、後継者や新規参入者の確保・育成が喫緊の課題となっている。

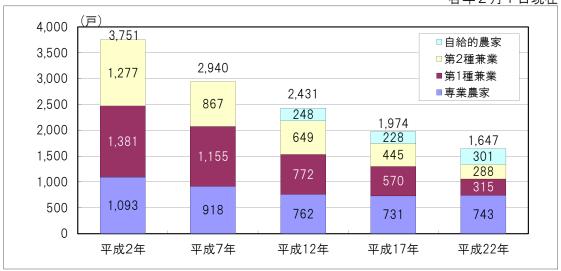
こうした担い手の高齢化や減少の一方、農家1戸あたりの耕地面積は平成7年の4.62haから平成22年には6.99haと増加しており、担い手農家への規模拡大は一定程度進んでいる。しかしながら、地域には飛び地や小区画・排水不良などのほ場が散在していることから、ほ場の基盤整備等を計画的に推進し、認定農業者等への効率的な集積を促す構造改革を一層推進するとともに、生産の効率化など収益性の向上を図っていく必要がある。

2 各資料

(1)農家数の推移

ア 専兼別農家数

各年2月1日現在

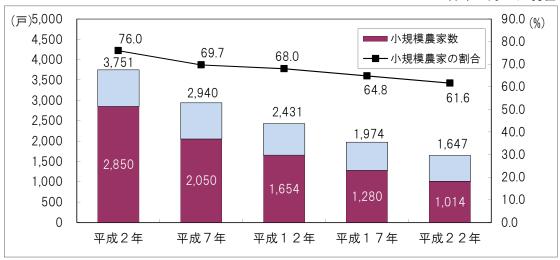


	専兼		戸)		合計
年次	専業農家	第1種兼業	第2種兼業		
平成2年	1,093	1,381	1,277		3,751
平成7年	918	1,155 販売農家	867		2,940
		自給的農家	合計		
	専業農家	第1種兼業	第2種兼業		
平成12年	762	772	649	248	2,431
平成17年	731	570	445	228	1,974
平成22年	743	315	288	301	1,647

注) 平成7年以前は、販売農家/自給的農家の区別なくカウントしている 資料:世界農林業センサス

イ 小規模農家の推移(経営耕地面積5ha未満の農家)

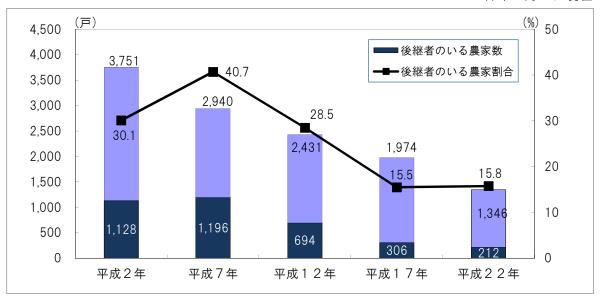
各年2月1日現在



	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年
総農家数(戸)A	3,751	2,940	2,431	1,974	1,647
小規模農家数(戸)B	2,850	2,050	1,654	1,280	1,014
小規模農家数割合(%) B/A	76.0	69.7	68.0	64.8	61.6

ウ 後継者のいる農家数の推移

各年2月1日現在



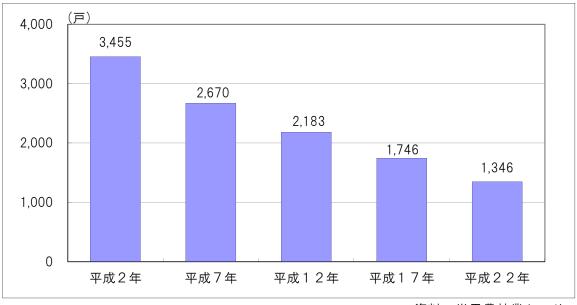
区分	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年
農家数(戸)A	3,751	2,940	2,431	1,974	1,346
後継者のいる農家数(戸) B	1,128	1,196	694	306	212
後継者のいる農家数割合(%)B/A	30.1	40.7	28.5	15.5	15.8

注) 平成22年は調査基準変更に伴い, 販売農家のみを対象

資料:世界農林業センサス

(2) 販売農家数の推移

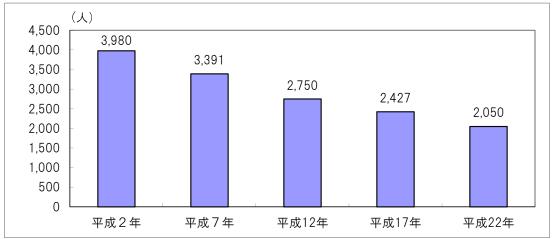
各年2月1日現在



(3)農業従事者数

ア 販売農家のうち自営農業に年間150日以上従事した人数

各年2月1日現在

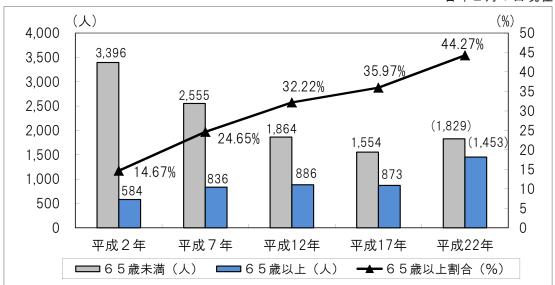


年次	旧市内	神居	江丹別	永山	東旭川	神楽	東鷹栖	総数
平成2年	99	572	118	584	1,225	680	702	3,980
平成7年	94	483	95	468	997	579	675	3,391
平成12年	70	408	62	345	826	498	541	2,750
平成17年	36	321	61	318	726	458	507	2,427
平成22年	27	247	30	269	637	402	438	2,050

資料:世界農林業センサス

イ 年齢別農業従事者数

各年2月1日現在

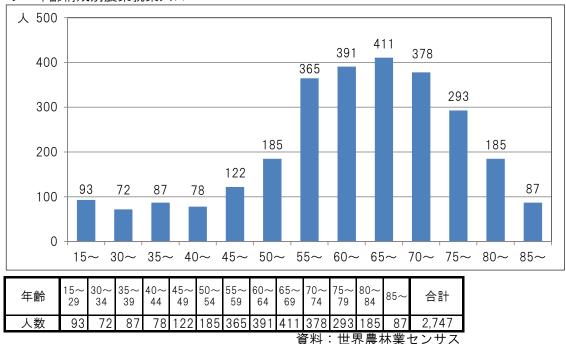


年次	総数	65歳未満(人)	65歳以上(人)	65歳以上割合(%)
平成2年	3,980	3,396	584	14.67
平成7年	3,391	2,555	836	24.65
平成12年	2,750	1,864	886	32.22
平成17年	2,427	1,554	873	35.97
平成22年	3,282	1,829	1,453	44.27

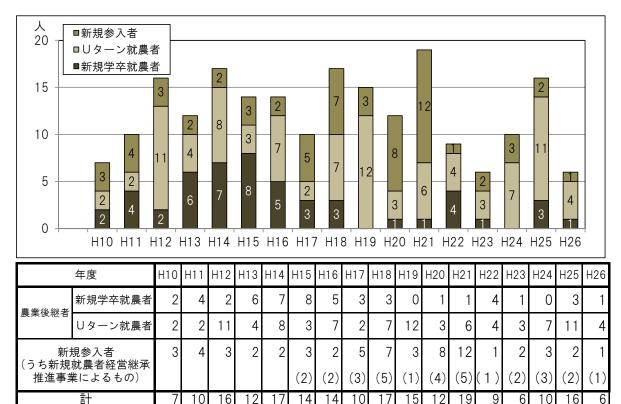
注)平成17年以前は販売農家、自給農家及び一戸一法人を対象に年間150日以上従事者のみカウント

注) 平成22年は調査基準が変わり、販売農家のみを対象に従事日数に関係なくカウント

ウ 年齢構成別農業就業人口



(4) 農業後継者数・新規就農者数の推移



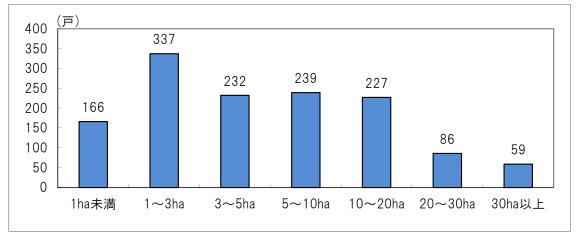
資料:旭川市農政部

注)新規学卒就農者 :農家子弟で、高校、大学等の教育機関を卒業し直接就農した者 リターン就農者 :農家子弟で、農外に就職(市内外)した者が、後に就農した者

新規参入者 : 農外から新たに就農した者

(5)経営耕地別農家数(販売農家)

平成22年2月1日現在



区分	販売農家数	1ha未満	1~3ha	3∼5ha	5~10ha	10~20ha	20~30ha	30ha以上
旧市内	25	7	8	3	4	2	1	0
神居	179	19	66	38	26	19	8	3
江丹別	43	4	12	11	6	2	2	6
永山	173	23	53	28	25	34	10	0
東旭川	423	68	118	57	75	61	20	24
神楽	243	24	57	47	43	37	17	18
東鷹栖	260	21	23	48	60	72	28	8
計	1,346	166	337	232	239	227	86	59

資料:世界農林業センサス

(6)経営耕地面積規模別農家数の推移	
--------------------	--

各年2月1日現在(単位:戸)

<u> </u>			- 7 JTL 1/2					P 12 · / /
年次	総農家数	1.0ha 未満	1.0~ 3.0ha	3.0~ 5.0ha	5.0~ 10.0ha	10.0~ 15.0ha	15.0ha 以上	
平成2年	3,751	738	1,067	1,045	687	136	78	
平成7年	2,940	621	748	699	560	183	129	
平成12年	2,431	552	589	513	447	166	164	
						10.0~ 20.0ha	20.0~ 30.0ha	30.0ha 以上
平成17年	1,974	434	475	371	340	237	72	45
平成22年	1,647	439	342	232	243	231	87	73

(7)経営耕地面積の推移

各年2月1日現在

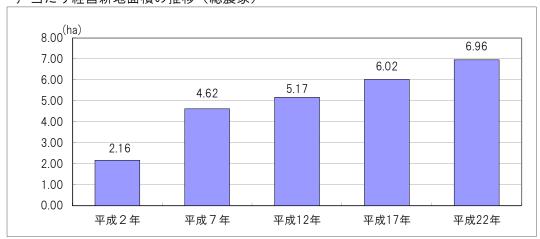


年次	田(ha)	畑・樹園地(ha)	総面積(ha)
平成2年	12,042.04	2,563.57	14,605.61
平成7年	11,185.72	2,400.71	13,586.43
平成12年	10,435.04	2,128.76	12,563.80
平成17年	10,149.01	1,706.52	11,855.53
平成22年	9,785.62	1,734.37	11,519.99

注)調査基準の変更に伴い,平成12年度までは総農家,平成17年以降は一戸一法人を含む家族 経営体を対象とした値

資料:世界農林業センサス

(8) 一戸当たり経営耕地面積の推移(総農家)



_						
	年次	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年
	面積(ha)	2.16	4.62	5.17	6.02	6.96

(9)経営耕地借地状況の推移(借入耕地のある農家数と借入耕地面積)

各年2月1日現在



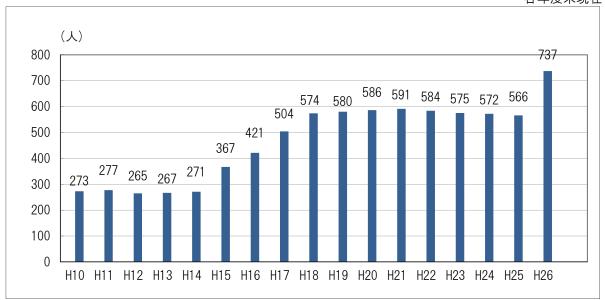
年次	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年
農家数	461	619	614	538	533
面積	1,216.31	2,257.46	2,956.80	3,480.86	4,253.03

注)平成17年までは、販売農家のみを集計

資料:世界農林業センサス

(10)農業経営改善計画の認定状況(認定農業者数)

各年度末現在



	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
経営体数	273	277	265	267	271	367	421	504	574	580	586	591	584	575	572	566	737

注)農業経営基盤強化促進法第12条に基づき、効率的かつ安定的な農業経営を 資料:旭川市農政部 めざして農業者自らが作成した農業経営改善計画を旭川市が認定した者

3 各事業

- (1)農地中間管理機構関連事業
 - ア 始期 平成27年度

イ 事業概要

人・農地プランを基礎として、農地中間管理事業等を活用し農地の出し手に協力金を 交付することで、効率的な農地集積・集約化を進めていく。

- ① 農地中間管理事業 (公財)北海道農業公社が実施する農地中間管理事業に係る業務受託事務。
- ② 機構集積協力金交付事業 担い手への農地集積・集約化を進めるために、農地中間管理機構に対して農地を貸し付けた場合に協力金を交付する。
- ③ 人・農地プラン推進事業 人・農地プランの話し合いと見直しを行うための資料等を作成する。
- ウ 平成27年度事業計画 (予算額 61,100千円)

① 農地中間管理事業 900千円 (消印費 300千円) (通信費 300千円)(その他 300千円)

- ② 機構集積協力金交付事業 6,000千円 (交付金 6,000千円)
- ③ 人・農地プラン推進事業 200千円 (消印費 200千円)

(2)青年就農給付金事業

ア 始期 平成24年度

イ 事業概要

青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図るため,原則45歳未満の新規就農者に,青年就農給付金(経営開始型)を交付する(年間150万円,最長5年間。平成27年度以降の受給計画認定者は,経営開始2年目以降,前年度の所得に応じた金額となる。)。

なお、当事業は、国・道の間接補助事業として本市が実施するものである(国が実施する 新規就農・経営継承総合支援事業のうち青年就農給付金事業)。

ウ 平成26年度事業実績 (実績額 33,375千円)

· 事務費 88千円 · 給付金 33,375千円 計 33,463千円

工 平成27年度事業計画 (予算額 26,500千円)

· 事務費 250千円 · 給付金 26, 250千円 計 26, 500千円

(3) 経営体育成支援事業

ア 始期 平成25年度

イ 事業概要

本市の農業を将来とも守っていく担い手農業者の経営基盤の強化を図るため、「人・農地プラン」に位置付けられた中心経営体、または、農地中間管理機構から農地を借り受けている経営体が、農業経営の発展、改善を目的として、主に金融機関からの融資を活用して農業用機械等の導入を行う場合、融資残について補助金を交付する(補助率30%以内)。

なお、当事業は、国・道の間接補助事業として本市が実施するものである。

ウ 平成26年度事業実績 (実績額 26.849千円)

·補助金 26,849千円 26,849千円

工 平成27年度事業計画 (予算額117,000千円)

·補助金 117,000千円 計 117,000千円

(4) 今こそ就農・新規参入者応援事業

ア 始期 平成22年度

イ 事業概要

農外からの新規参入者を確保,育成するため,関係機関,団体と連携を図りながら, 新規参入者が研修,就農しやすい地域の受け入れ体制を整備するとともに,新規就農者 の経営安定化に向けた支援を行う。

① 農業研修受入事業指導謝金

新規就農希望者の農業研修を受け入れる農業者に対して, 1日当たり3千円の謝金を 交付する(2年以内)。

- ② (新)農業指導者研修会講師謝金(平成27年度~) 農業指導者の資質向上を目的とした研修会の講師に対して謝金を支出する。
- ③ 新規就農者農場等リース事業補助金 農地等を賃借して新たに就農した者に対して、農地等の賃借料の30%以内 (限度額20万円)を補助する(新規就農した年度を含めた5年度以内)。
- ④ 新規就農者営農開始支援補助金 市で認定した新規就農者が、営農開始にあたり必要となる農機具等を購入する場合に、 対象経費の30%(他の事業の助成を受ける場合は10%)以内で補助金を交付する (新規就農した年度を含めた5年度以内 限度額5年度累計300万円)。
- ⑤ 就農開始応援資金の利子補給及び償還助成(新規貸付は平成24年度で終了) 就農初期の運転資金及び生活資金融資に対する利子補給を行う。また、就農から 5営農年度を経過した同資金借入者に対して償還助成金を交付する。
- ⑥ 新規就農希望者確保に係る取組み 就農相談会への参加,募集パンフレットの作成, (公財)北海道農業公社(北海道農業担い手育成センター)への負担金 など。

ウ 平成26年度事業実績

(実績額 7,434千円)

	農業研修受入事業指導謝金(4戸)	2,	385千円
	新規就農者農場等リース事業補助金(5件)		654千円
	新規就農者営農開始支援補助金(9件)	3,	901千円
	就農開始応援資金利子補給金(5件)		92千円
	推進事務費		392千円
٠	新規就農者·農業研修生研修会指導謝金(1件)		10千円
	計	7,	434千円

工 平成27年度事業計画

(予算額 14,634千円)

٠	農業研修受入事業指導謝金		2,	100千円
•	農業指導者研修会講師謝金			150千円
•	新規就農者農場等リース事業補助金		1,	000千円
•	新規就農者営農開始支援補助金		7,	8 4 4 千円
•	就農開始応援資金利子補給金			92千円
•	就農開始応援資金償還助成金		3,	000千円
•	推進事務費			448千円
		計	14,	634千円
			,	

(5)新規就農対策強化事業

ア 始期 平成27年度

イ 事業概要

研修生の生活支援及び地域の新規就農受入体制強化対策への支援を講じ、効率的な担い手の確保、育成を推進するとともに、担い手のほ場の集約化を通じ、野菜生産体系の維持・新規就農者受入体制の強化を図る。

① 農業研修施設整備推進事業補助金

市内農協等が、新規就農者の研修用として整備するハウス等の費用の30%以内を補助する。

当該ハウスは、研修生の就農予定地に設置し、研修終了後にも引き続き使用させる仕組みによって、研修生の就農予定地の確保を農協等が主導して戦略的に実施する。

② 農業研修生住宅費助成事業補助金

本市において農業研修を受けている者が、居住用の賃貸住宅等を借り入れた場合、研修期間中の賃借料の50%以内を補助する(補助額上限25千円/月)。

ウ 平成27年度事業計画

(予算額 6,000千円)

·農業研修施設整備推進事業補助金

4,800千円

・農業研修生住宅費助成事業補助金

1,200千円 6,000千円

計 6,

(6)農業担い手育成事業

ア 始期 平成2年度

イ 事業概要

意欲ある担い手の確保:育成を図るため、関係機関、団体と連携しながら、認定農業者、 農業後継者及び農村女性に対する支援を行う。

① 認定農業者育成支援事業

農業経営改善計画の認定、農業経営改善研修会の開催などを通じて、担い手の育成を 促進する。

- ② 旭川市農業者団体等研修支援補助金(平成26年度より実施) 農業青年団体、農村女性団体が企画する研修会や結婚対策事業に対して、対象経費の 50%以内(年度内の限度額8万円)において補助金を交付する。
- ③ 農地保有合理化促進事業

(公財) 北海道農業公社からの受託業務。農地の売買、貸借によって、担い手の農業 経営の規模拡大を目的とした農地の集約等を促進する。

④ 農業後継者ステップアップ支援事業

農業後継者が経営の多角化等に取り組むための資金に利子補給を行い、無利子融資を 実施する。

ウ 平成26年度事業実績 (実績額 1,764千円)

・認定農業者育成支援事業		287千円
・旭川市農業者団体等研修支援補助金		121千円
(農業青年団体20千円,農村女性団体101千円)	
・農地保有合理化促進事業		2 4 千円
・農業後継者ステップアップ支援事業	1,	332千円
計	1,	764千円

工 平成27年度事業計画

· 認定農業者育成支援事業

(予算額 2,029千円)

309千円

	旭川市農業者団体等研修支援補助金		270千円
	(農業青年団体70千円,農村女性団体200千円)		
•	農地保有合理化促進事業		50千円
	農業後継者ステップアップ支援事業	1,	400千円
	計	2.	029千円

(7)農業経営強化資金融資事業

ア 農業あとつぎ夢支援事業

① 始期 平成9年度

② 事業概要

自立した農業者の育成を図るため、農業に従事しようとする農家子弟(18歳以上45歳以下)に対し、「就農計画」の認定期間である5年間、農業技術習得や新たな経営改善等にかかる費用を無利子融資するとともに(限度額200万円)、認定期間終了後においても就農継続している場合に貸付額の70%を助成する。

なお、新規認定は平成14年度で終了しており、40名の資金対象者に対して、平成28年度まで利子補給を行っている。

③ 平成26年度事業実績

(実績額 18千円)

·利子補給額 18千円

④ 平成27年度事業計画

(予算額 6千円)

·利子補給額 6千円

イ 農業経営改善資金

① 始期 昭和47年度

② 事業概要

農業者等の金利負担の軽減を図るため、融資機関が農業者等に対して規模拡大や農業用機械・施設の導入など、農業経営の改善に必要な資金を貸し付けた場合に、当該融資に係る利子補給を行う。

③ 平成26年度事業実績

資金の利用実績

(単位:千円)

			(+
農地等取得資金	77,340	特産物育成資金	_
家畜購入資金	0	農産加工推進資金	_
施設資金	40,772	経営維持資金	_
土地改良資金	12,700	林業経営資金	_
農機具資金	434,875	計	565,687

[·] 利子補給額 29,632千円

④ 平成27年度事業計画

・融資枠

600,000千円

·利子補給額

28,981千円

⑤ 農業経営改善資金の利用状況(貸付額)

(単位:千円)

年度 資金名	H21	H22	H23	H24	H25
農地等取得資金	55,200	53,580	58,670	113,390	77,050
家畜購入又は家畜育成資金	0	2000	4,200	0	3,000
施設資金	55,510	100,920	45,100	53,200	34,340
土地改良資金	5,590	17,455	2,010	12,920	6,270
農機具資金	300,824	325,463	500,269	352,720	512,180
経営維持資金	1,920	27,830	2,790	0	0
林業経営資金	0	0	0	0	0
合計	419,044	527,248	613,039	532,230	632,840

ウ農業経営自立支援資金

① 始期 平成23年度

② 事業概要

借入額が膨らみ、厳しい経営状況にある担い手農家に対し、農業者・農協・市が連携して、将来に持続できる自立農家として育成するため、農業経営の改善を図る経営対策を実施する農業者に、既往資金の平準化と償還負担の軽減に必要な資金を貸し付けた場合に利子補給を行う。

なお、新規の認定は平成23年度で終了しており、26名の資金対象者に対して、平成32年度まで利子補給を行っている。

- ③ 平成26年度事業実績 (実績額 2,137千円) ・利子補給額 2,137千円
- ④ 平成27年度事業計画 (予算額 1,917千円)・利子補給額 1,917千円

工 台風被害農業者経営支援資金

① 始期 平成16年度

② 事業概要

台風18号により農作物に著しい被害のあった農業者に対して、経営の再建を促進するため、平成16年度に融通した農業経営の維持安定に必要な長期営農資金の利子補給を行う(利子補給は平成27年度で終了予定)。

- ③ 平成26年度事業実績 (実績額 47千円) ・利子補給額 47千円
- ④ 平成27年度事業計画 (予算額 16千円)・利子補給額 16千円

オ 農業経営基盤強化資金利子補給金(国の制度資金)

① 始期 平成7年度

② 事業概要

借受者の金利負担の軽減を図るため、過去に融通した認定農業者の経営改善に必要な 資金に利子助成を行う。

なお、農業経営基盤強化資金の市の利子助成は、平成24年5月8日までの新規貸付を対象とし、平成24年5月9日から平成28年3月31日までの貸付については、人・農地プランの中心経営体等を対象に、貸付から5年間まで公益財団法人農林水産長期金融協会の利子助成により無利子化措置が図られている。

③ 平成26年度事業実績 (利子助成額)

(実績額 2,071千円)

·農業経営基盤強化資金

2.071千円

④ 平成27年度事業計画 (利子助成額)

(予算額 1,837千円)

·農業経営基盤強化資金

1,837千円

⑤ 農業経営基盤強化資金の利用状況(貸付額)

年度	貸付額(千円)
H19	286,820
H20	118,550
H21	211,940
H22	97,850
H23	21,100

資料:旭川市農政部

Ⅲ 産地づくり・クリーン農業の推進

1 概況

(1) 概況

本市の農業生産額は、平成7年度の209億円をピークに年々減少傾向にあり、厳しい 状況が続いている。畜産はほぼ同水準で推移しているが、畑作は天候不順の影響もあり近 年顕著に落ち込んでいる。水稲と野菜については恒常的な減少傾向が続いている。そうし た中にあっても水稲の場合は、認定農業者等への農地集積が進んだ結果、作付面積が維持 されているが、野菜については、生産者の減少及び高齢化などの理由により大幅に減少し ている。

農業生産額の落ち込みの具体的要因は、担い手の高齢化、国内外の他産地との競合や消費の減退などによる農産物価格の低迷、物価の変動に伴う資材調達費の高騰等による農家のコスト負担増加などが考えられるところであるが、施設栽培が中心の野菜の場合は、こうした要因が顕著に現れている。加えて、本市では稲作農家が野菜生産に取り組んでいるため、この間の構造政策の進展により各種経営資源が稲作に大きくシフトしてきたことも、野菜が大きく落ち込んでいる重要な要因となっている。

こうした状況に対して、本市では、生産コストの圧縮や農作業の効率化などを進めるとともに、安全・安心で高品質な「クリーン農産物」の産地として安定的に生産・供給し、他産地との差別化を図り競争力をつけていく必要がある。また、流通や販売の改革にも着手し、現状の手法とは異なる新たな手法を確立していくことも重要な課題である。

稲作については、北海道の代表的な産地として確立している。近年、「ゆめぴりか」を中心に道内外での評価が高く、道産米の販売は好調に推移している。

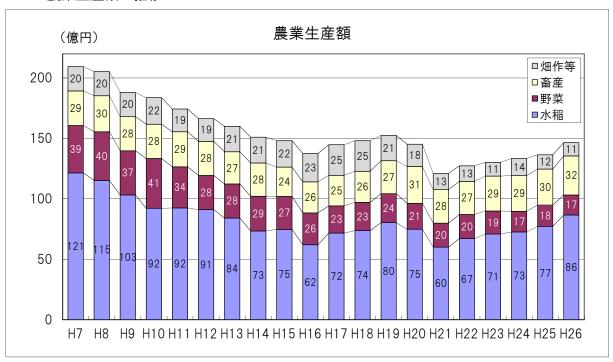
一般畑作については、今後とも、一定割合の転作が避けられない事情を勘案すると、水田の大区画化や排水整備等の基盤整備を通じて転作田の生産性・品質を向上させ、実需者ニーズにも応じた麦や豆類のほかに露地野菜などの生産振興を図っていくことが、本市畑作農業の重要な課題となっている。

野菜・花きについては、施設園芸部門を中心に担い手の高齢化や生産規模縮小が進んでおり、生産額・生産量の減少に歯止めが掛からない状況となっている。こうした状況に対応するため、新たな生産手法の確立や作業効率化の研究などを進めるとともに、農産物の付加価値向上や流通拡大・販路開拓を図るための事業を展開していく。

畜産については、口蹄疫など疾病に対応した防疫面での強化のほか、外国産畜産物に対抗できる競争力のある経営基盤を確立していく。

(2)各資料

ア 農業生産額の推移

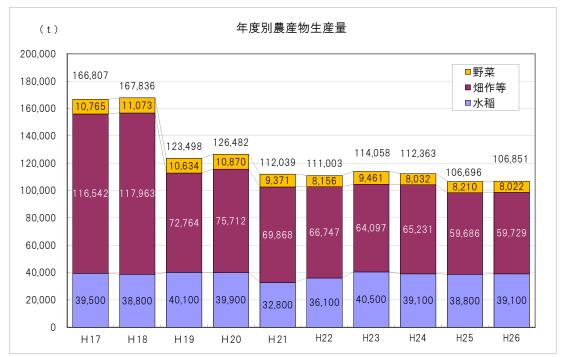


(単位:百万円)

年度	水稲	野菜	畜産	畑作等	計
H7	12,140	3,922	2,858	2,018	20,938
Н8	11,520	4,026	2,984	1,991	20,521
H9	10,310	3,666	2,829	1,990	18,795
H10	9,220	4,120	2,833	2,197	18,370
H11	9,240	3,409	2,895	1,878	17,422
H12	9,090	2,840	2,827	1,874	16,631
H13	8,410	2,812	2,662	2,111	15,995
H14	7,340	2,869	2,760	2,130	15,099
H15	7,470	2,725	2,423	2,180	14,798
H16	6,190	2,639	2,568	2,341	13,738
H17	7,160	2,259	2,528	2,521	14,468
H18	7,360	2,341	2,579	2,527	14,807
H19	8,020	2,406	2,725	2,089	15,240
H20	7,473	2,149	3,052	1,844	14,518
H21	5,993	1,989	2,773	1,333	12,088
H22	6,697	2,006	2,739	1,282	12,724
H23	7,076	1,913	2,885	1,141	13,015
H24	7,253	1,716	2,949	1,415	13,333
H25	7,713	1,766	2,976	1,181	13,636
H26	8,653	1,667	3,226	1,102	14,648

資料:北海道農政事務所旭川統計・情報センター,旭川市農政部

イ 年度別農産物生産量



(単位:トン)

										<u> </u>	1 - /
	年度	H17	H18	H19	H 20	H21	H22	H 23	H 24	H 25	H26
	水稲	39,500	38,800	40,100	39,900	32,800	36,100	40,500	39,100	38,800	39,100
	麦類	2,270	2,200	2,700	2,640	1,840	1,720	2,580	2,600	2,430	2,400
畑 作	豆類	1,782	2,166	1,382	1,533	1,012	1,124	1,245	1,590	1,508	1,343
等	(ばれいしょ)	(3,844)	(4,385)	(4,394)	(4,706)	(4,019)	(3,540)	(3,011)	(3,429)	(4,015)	(4,006)
⊞ ₹	てん菜	10,400	10,900	13,600	12,900	10,900	8,400	5,800	10,200	9,060	10,400
野菜除	そば	496	818	563	507	365	618	507	854	638	544
	果樹	754	709	775	590	693	654	390	490	442	390
5	飼料作物	2,240	2,870	1,050	1,476	1,160	1,234	1,484	1,740	1,165	1226
	牧草	98,600	98,300	52,694	56,066	53,898	52,997	52,091	47,757	44,443	43,426
	野菜	10,765	11,073	10,634	10,870	9,371	8,156	9,461	8,032	8,210	8,022
	計	166,807	167,836	123,498	126,482	112,039	111,003	114,058	112,363	106,696	106,851

注)ばれいしょは、野菜の内数として処理してある

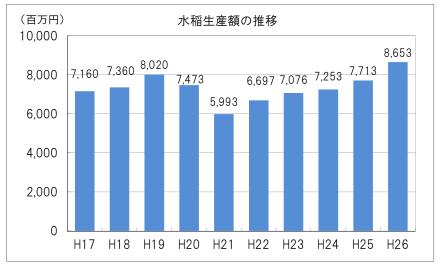
資料:北海道農政事務所旭川統計・情報センター,旭川市農政部

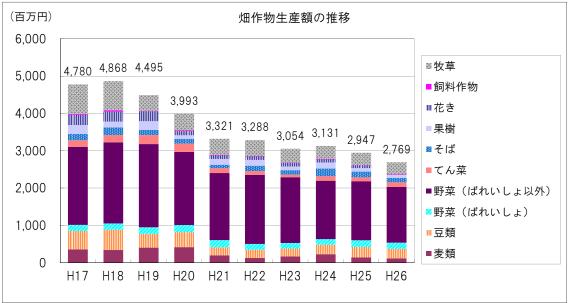
ウ 平成26年度主要農産物作付面積

品目	水稲	小麦	大豆	小豆
作付面積(ha)	6,430	924	574	120
品目	ばれいしょ	てん菜	そば	野菜
作付面積(ha)	152	150	1,150	366
品目	果樹	花き	飼料作物	牧草
作付面積(ha)	58	12	32	1,919

資料:農林水産省北海道農政事務所旭川統計・情報センター,旭川市農政部

工 年度別農産物生産額





(単位:百万円) 年度 H17 H18 H19 H20 H21 H22 H23 H24 H25 H26 7,253 水稲 7,160 7,360 8,020 7,473 5,993 6.697 7,076 7.713 8.653 230 360 343 406 419 201 145 麦類 125 171 119 544 豆類 490 368 403 225 208 276 250 213 254 ばれいしょ (164)(166)(178)(188)(192)(155)(149)(150)(180)(168)てん菜 173 191 241 223 131 100 102 120 69 117 畑 そば 169 206 141 129 93 146 120 207 152 116 作 2,341 1,989 2,006 2,259 2,406 野菜 2,149 1,913 1,716 1,766 1,667 物 果樹 241 154 230 92 153 154 100 164 96 82 272 269 96 93 97 80 77 79 花き 269 111 27 34 13 18 14 15 11 14 9 10 飼料作物 牧草 789 786 421 449 431 424 365 349 324 326 4,495 3,993 3,288 4,780 4,868 3,321 3,054 3,131 2,769 畑作物計 2,947 農産計 11,940 12,228 12,515 11,466 9,314 9,985 10,130 10,384 10,660 11,422

注)ばれいしょは、野菜の内数として処理してある

注)H20年度以降の花き生産額は切花と花壇苗のみの合算値

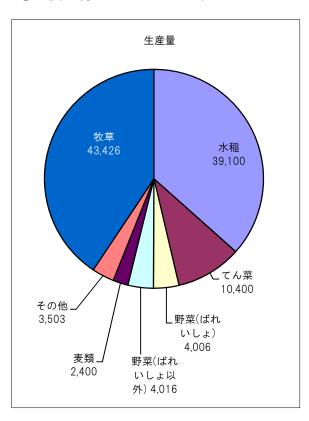
資料:北海道農政事務所旭川統計・情報センター,旭川市農政部

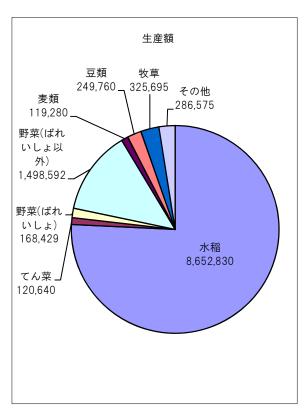
オ 平成26年度の農業生産額

	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			Ĕ	単位:千円
農	産	畜	産	合	計
11,421,801		3,22	5,967	14,64	17,768

資料:北海道農政事務所旭川統計・情報センター,旭川市農政部

① 農産物生産量及び生産額



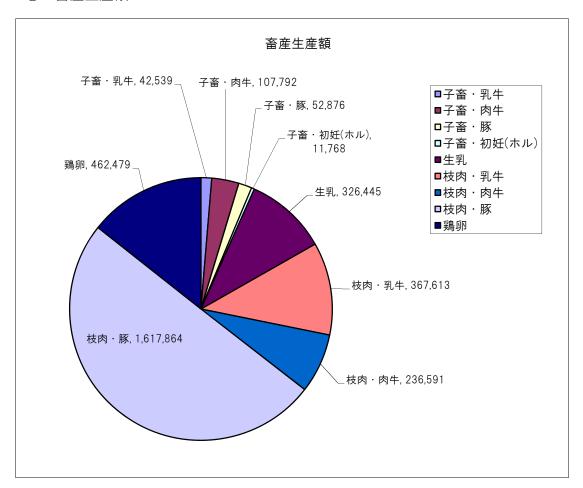


区分	生産量(t)		生産額(千円)
水稲	39,100	(36.6%)	8,652,830	(75.8%)
畑作物	67,751	(63.4%)	2,768,971	(24.2%)
麦類	2,400	(2.3%)	119,280	(1.0%)
豆類	1,343	(1.3%)	249,760	(2.2%)
ばれいしょ	(4,006)	(3.8%)	(168,429)	(1.5%)
てん菜	10,400	(9.7%)	120,640	(1.0%)
そば	544	(0.5%)	116,362	(1.0%)
野菜	8,022	(7.5%)	1,667,021	(14.6%)
果樹	390	(0.4%)	81,759	(0.7%)
花き	_		78,646	(0.7%)
飼料作物	1,226	(1.1%)	9,808	(0.1%)
牧草	43,426	(40.6%)	325,695	(2.9%)
合計	106,851	(100.0%)	11,421,801	(100.0%)

注)ばれいしょは、野菜の内数として処理してある

資料:北海道農政事務所旭川統計・情報センター,旭川市農政部

② 畜産生産額



	区分	生産量	生産額(-	千円)	
	乳牛	353 頭	42,539	(1.3%)	
子	肉牛	800 頭	107,792	(3.3%)	
子畜生産	豚	2,497 頭	52,876	(1.6%)	
産	馬		_		
	初妊(ホル)	28 頭	11,768	(0.4%)	
	生乳	3,821 t	326,445	(10.1%)	
	乳牛	469.8 t	367,613	(11.4%)	
枝	肉牛	205.6 t	236,591	(7.3%)	
肉生	豚	2,974.8 t	1,617,864	(50.2%)	
産	馬		_		
	鶏	82,272 羽			
	鶏卵	2,234.2 t	462,479	(14.4%)	
		+	3,225,967	(100.0%)	

資料:旭川市農政部

カ 年度別主要作物別作付面積・生産量・生産額

(単位:作付面積 h a, 生産量 t, 生産額千円)

	平成12年			平成13	3年		平成14	4年		平成15	<u>取傾II a,</u> 5年		平成1		
作物	作付面積	生産量	生産額	作付面積	生産量	生産額	作付面積	生産量	生産額	作付面積	生産量	生産額	作付面積	生産量	生産額
水稲	6,900	40,800	9,090,000	6,430	39,100	8,410,000	6,380	35,800	7,340,000	6,210	30,300	7,470,000	6,470	34,300	6,190,000
小麦	514	581	97,550	801	1320	220,176	932	1,300	213,850	938	2,580	415,638	1,010	2,730	436,527
大豆	365	683	170,409	575	1040	246,272	622	1,150	258,865	682	1,340	280,194	531	1,100	277,090
小豆	265	440	146,960	241	384	128,256	204	390	126,321	214	483	159,873	225	502	166,162
ばれいしょ	133	4,307	168,255	142	4,731	140,957	165	5,980	184,794	143	5,148	209,660	143	4,674	165,652
てん菜	160	8,640	145,152	161	9,700	164,900	161	9,940	167,986	159	10,583	177,794	161	11,100	186,480
そば	477	531	154,415	580	466	138,775	628	502	149,496	664	471	149,307	830	349	118,555
ねぎ類	34	1,020	384,747	33	1,005	419,839	27	893	358,609	38	1381	335,645	44	1,260	342,900
ほうれんそう	66	448	219,193	58	444	201,881	41	458	209,093	42	414	201,204	40	336	194,101
しゅんぎく	21	364	229,882	20	384	234,085	19	388	246,405	19	350	220,404	18	270	203,582
メロン	29	715	219,241	30	197	197,034	22	512	161,664	22	470	155,494	19	412	147,886
中国葉菜類	24	618	225,012	19	624	223,322	25	634	222,210	25	590	218,676	20	562	229,885
ピーマン	8	563	151,909	6	465	128,782	5	423	126,585	5	465	116,456	4	328	83,102
パセリー	5	150	112,867	5	166	136,514	4	163	149,236	4	153	146,280	4	143	165,598
レタス類	18	672	138,528	20	683	120,117	23	748	134,702	23	697	131,514	17	586	124,706
トマト	5	521	111,425	5	543	116,235	5	468	125,601	6	621	161,427	6	547	141,601
キャベツ	29	942	60,506	20	809	60,390	21	688	63,804	15	533	59,605	13	471	36,946
飼料作物	76	4,268	51,216	24	1,366	16,392	30	1,418	17,016	23	1,298	15,574	33	1,770	21,240
牧草	2,748	79,692	637,536	2,748	94,598	756,784	3,026	87,754	702,032	1,760	51,026	408,211	2,430	94,600	756,800

資料:北海道農政事務所旭川統計・情報センター,旭川市農政部

(単位:作付面積 h a, 生産量 t, 生産額千円)

	平成17年		平成18年		平成19年		·	平成2() 年	平成21年					
作物	作付面積	生産量	生産額												
水稲	6,500	39,500	7,160,000	6,330	38,800	7,360,000	6,550	40,100	8,020,000	6,460	39,900	7,473,270	6,530	32,800	5,992,560
小麦	857	2,270	360,022	845	2,200	342,760	805	2,700	405,810	786	2,640	418,704	851	1,840	200,744
大豆	619	1,300	328,250	860	1,850	439,930	630	1,140	292,980	563	1,180	301,726	549	760	195,600
小豆	200	482	161,663	151	316	103,553	139	242	75,189	141	353	101,417	157	252	64,688
ばれいしょ	139	3,844	164,213	140	4,385	165,736	170	4,394	177,818	156	4,706	188,463	159	4,019	192,232
てん菜	160	10,400	172,640	161	10,900	190,750	202	13,600	240,720	176	12,900	223,170	175	10,900	130,800
そば	730	496	168,987	912	818	206,136	880	563	141,144	903	507	129,285	853	365	93,075
ねぎ類	31	939	274,754	30	862	281,153	25	762	273,373	25	807	216,684	24	635	197,315
ほうれんそう	43	336	164,095	40	330	155,719	31	294	147,526	31	292	141,010	32	258	117,193
しゅんぎく	19	252	165,458	17	227	154,335	13	203	141,997	13	228	150,446	13	212	127,159
メロン	18	391	126,450	16	338	130,245	15	369	121,444	15	331	103,995	12	235	79,631
中国葉菜類	46	592	211,762	22	577	202,248	22	607	217,513	20	624	210,407	20	562	188,302
ピーマン	4	358	84,556	4	346	118,152	4	376	114,944	4	366	91,063	3	279	87,340
パセリー	5	159	125,958	4	149	107,216	3	149	146,007	4	125	102,639	3	106	67,330
レタス類	16	483	93,083	15	499	104,817	12	478	123,644	12	451	105,693	12	435	86,870
トムト	6	469	131,281	6	540	172,256	6	634	176,546	7	603	178,198	7	567	189,814
キャベツ	9	406	18,414	8	242	19,290	5	284	20,053	5	211	10,451	2	112	6,791
飼料作物	42	2,240	26,880	52	2,870	34,440	21	1,050	12,600	29	1,476	17,712	27	1,160	13,920
牧草	2,620	98,600	788,800	2,550	98,300	786,400	1,996	52,694	421,552	2,092	56,066	448,528	2,073		431,184

資料:北海道農政事務所旭川統計・情報センター,旭川市農政部

•		
٦	í	_

牧草

(単位:作付面積 h a, 生産量 t, 生産額千円) 平成22年 平成23年 平成24年 平成25年 平成26年 作物 作付面積 生産量 生産額 水稲 6,530 36,100 6,696,550 6,520 40,500 7,075,350 6,440 39,100 7,253,050 6,430 38,800 7,713,440 6,430 39,100 8,652,830 2,600 小麦 846 1,720 125,216 830 2,580 171,312 833 230,100 807 2,430 145,071 924 2,400 119,280 1,320 531 908 169,524 142,215 174,900 574 150,990 大豆 584 998 617 629 1,240 190,092 1,050 小豆 139 216 55,447 162 247 66,122 134 270 79,299 123 268 85,572 120 293 98.770 ばれいしょ 167 3,540 155.243 161 3.011 148,575 160 3.429 150,238 163 4,015 179,822 152 4,006 168.429 99.960 155 10.200 102.378 10.400 120.640 てん菜 170 8.400 5.800 69.020 117.300 156 9.060 150 157 そば 883 618 146,466 1140 507 120,159 1200 854 207,266 1,240 638 151,653 1,150 544 116,362 ねぎ類 23 399 175,253 21 435 144,864 21 432 139,395 18 328 125,512 18 331 132,374 32 118,080 237 120,876 199 96,597 20 157 96,641 ほうれんそう 200 28 26 172 100,094 19 12 147 124,127 10 152 117,482 135 101,980 7 123 104,475 6 107 86,640 しゅんぎく 11 メロン 11 290 94,179 15 226 81,181 15 225 80,401 11 72,161 9 179 70,941 206 中国葉菜類 18 508 197.817 17 512 200.121 17 463 155.814 14 450 164.923 15 451 160.600 ピーマン 3 293 99,567 3 266 83,208 3 281 73,566 3 213 76,204 3 214 63,724 3 2 2 パセリー 3 106.692 66 68,816 3 66 66,803 60 52,587 54 56,971 65 レタス類 13 390 111.058 11 397 100.465 11 326 76.875 11 352 98.443 10 336 89.334 トマト 483 175,042 6 521 198,856 587 188,171 7 590 208,544 6 465 177,517 キャベツ 57 4,946 46 3,346 52 2,597 38 2,425 1 35 2,783 24 1,234 14,808 30 11,278 39 1,740 13,572 29 1,165 9,204 32 1,226 9,808 飼料作物 1,484 2,107 52,997 423,976 2,099 52,091 364,637 2,046 47,757 1,935 44,443 1,919 43,426

資料:北海道農政事務所旭川統計・情報センター,旭川市農政部

324,434

325,695

348,626

2 水稲

(1) 概況

本市は、作付面積全国25位、生産量で全国23位(平成26年産)と全国でも有数の米産地である。また、生産性や品質の面でも本道のトップレベルに位置しているが、他産地においても取組が強化され品質的な格差は小さなものとなってきている。このため、農薬の低減等、新たな付加価値の創出を目指して、行政・生産者・農業団体が一丸となり様々な取組を行っているが、平成9年から旭川米生産流通協議会を通じて統一ブランド米「大雪山見て育ったの」を販売し、地場消費拡大のための取組を実施している。平成24年産米より、販売対象品種をこれまでの「ほしのゆめ」から、道内外で好評を得ている「ななつぼし」に変更し、併せて米袋を一新するなどのリニューアルを実施し、販売が増加傾向にある。

平成26年は4月以降好天に恵まれ、苗の生育が順調に進み、移植作業も順調に進んだ。移植後も好天が続き、活着が良好となり分げつの発生も平年を上回った。

その後,登熟期の一時的な低温・日照不足,出穂のばらつきにより,青死米・未熟性米が多発し,品質が悪化した。

作柄については、低タンパク米の出荷割合が37.1%,10a当たりの収量が609 kgと豊作ではあったが、実際は、青死米・未熟性米の影響により平年並かそれを少し下回る程度の状況となった。

[参 考]

平成27年度経営所得安定対策等の概要

担い手農家の経営の安定に資するよう、諸外国との生産条件の格差から生じる不利を補正する交付金(畑作物の直接支払交付金)、農業者の拠出を前提とした農業経営のセーフティネット対策(米・畑作物の収入減少影響緩和対策)、麦・大豆など戦略作物の本作化を進め、水田のフル活用を図る交付金(水田活用の直接支払交付金)などを実施する。

①畑作物の直接支払交付金(水田・畑地共通)

数量払	対象作物ごとに品質区分に応じた単価
営農継続支払	当年産の作付面積に応じて交付(数量払の内金) (20,000円/10a) (そばについては13,000円/10a)

[※]認定農業者,集落営農,認定新規就農者が対象

②米・畑作物の収入減少影響緩和対策

収入減少影響緩和対策	米,麦,大豆,てん菜,でん粉原料用ばれいしょの 収入額の合計が標準的収入額を下回った場合に,減 収額の9割を補てん
------------	---

[※]認定農業者,集落営農,認定新規就農者が対象

③水田活用の直接支払交付金

<u> </u>									
	戦略作物助成	麦,大豆,飼料作物	35,000円/10a						
		WCS用稲	80,000円/10a						
		米粉用米·飼料用米	収量に応じ,5.5万〜 10.5万円/10a						
		加工用米	20,000円/10a						
	二毛作助成		15,000円/10a						
	耕畜連携助成		13,000円/10a						
	産地交付金		地域の作物振興の設計図となる「水田フル活用ビジョン」に 基づき,地域の裁量で麦・大豆 を含む産地づくりに向けた取組 を支援						

④米に対する助成

米の直接支払交付金	7,500円/10a
-----------	------------

⑤その他

直接支払推進事業等	直接支払の運営に必要な経費を措置するとともに、対策の推進や作付確認等を行う都道府県、市町
	村、協議会等に対して必要な経費を助成

(2)各資料

ア 平成26年産米の各種指標

作付面積	作付面積生産量		10aあたりの収量	
6,430ha	39,100t	8,652,830千円	609kg	

資料:農林水産省北海道農政事務所旭川統計・情報センター,旭川市農政部(生産額推計)

イ 米の生産量の推移

(単位:60kg換算個)

年次	l H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
190	1117	1110	1110	1120	1121	1122	1120	1121	1120	1120
牛産量	658 333	646 667	668 333	665 000	546 667	601 667	675 000	651 667	646,667	651 667
工工工	000,000	0 10,007	000,000	000,000	0 10,007	001,007	070,000	001,007	0 10,007	001,007

資料:旭川市農政部

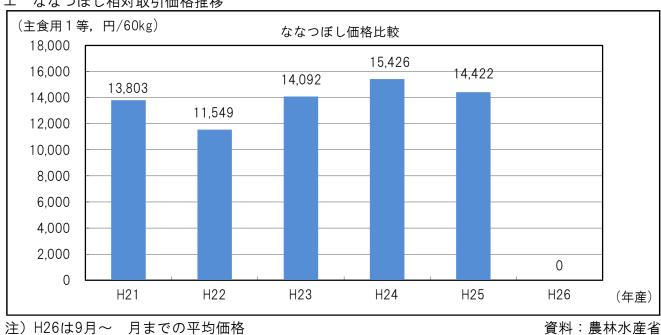
ウ 10a当たり収量の推移

(単位: k g)

	0 4 3 /2 / 10	主いばり	1		(十位・NS)			
	旭儿	川市	上川総合排	長興局管内	北海道			
	平年	当年	平年	当年	平年	当年		
H17	576	608	549	587	528	573		
H18	578	613	550	596	530	558		
H19	580	612	552	571	532	520		
H20	584	619	554	595	534	565		
H21	585	502	555	461	535	475		
H22	573	553	555	541	535	525		
H23	583	621	555	594	535	562		
H24	601	608	555	590	535	572		
H25	601	603	555	581	535	562		
H26	599	609	557	599	537	577		

資料:北海道農政事務所旭川統計・情報センター

エ ななつぼし相対取引価格推移



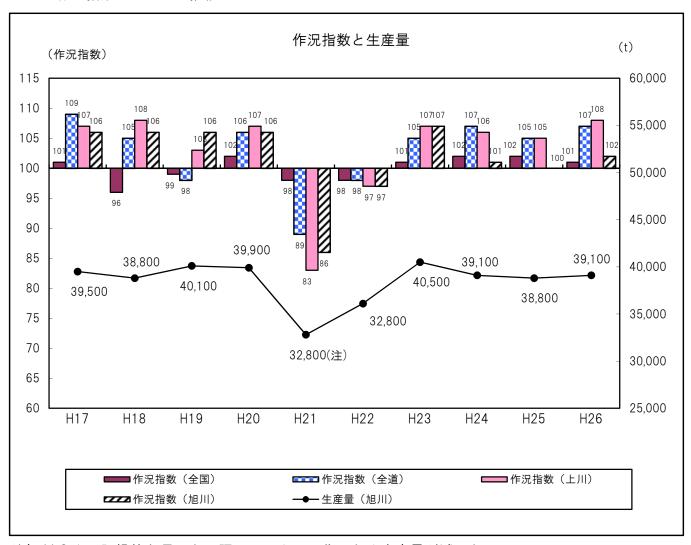
注) H26は9月~ 月までの平均価格

オ 米の作柄について

	<u>当年収量(kg/10a)</u>		平年収量	(kg/10a)	作況指数			
年度	北海道	旭川市	北海道	旭川市	全国	北海道	旭川市	
昭和 46	273	262	411	467	93	66	56	
47	500	515	413	467	103	121	110	
48	479	499	423	467	106	113	107	
49	503	551	429	467	102	117	118	
50	446	460	445	469	107	100	98	
51	451	493	451	471	94	100	105	
52	504	598	451	473	105	112	126	
53	536	587	456	485	108	118	121	
54	503	560	470	520	103	107	108	
55	385	542	475	526	87	81	103	
56	413	525	477	532	96	87	99	
57	501	586	477	532	96	105	110	
58	355	437	482	540	96	74	81	
59	551	583	482	544	108	114	107	
60	497	492	482	544	104	103	90	
61	525	587	487	551	105	108	107	
62	472	551	490	551	102	96	100	
63	512	603	490	551	97	104	109	
平成 元	526	598	490	551	101	107	109	
2	540	604	494	557	103	109	108	
3	500	577	502	564	95	100	102	
4	445	518	502	564	101	89	92	
5	203	358	502	565	74	40	63	
6	541	591	503	565	109	108	105	
7	522	584	503	565	102	104	103	
<u>8</u> 9	512	595	506	565	105	101	105	
	520 536	598 599	508 509	569 570	102	102	105	
10	534	599	516	570 578	98 101	105	105 103	
12	540	598	526	586	101	103 103	103	
13	526	608	526	595	104	100	101	
14	482	561	528	596	103	91	94	
15	385	487	528	596	90	73	82	
16	518	531	528	590	98	98	87	
17	573	608	528	576	101	109	106	
18	558	613	530	578	96	105	106	
19	520	612	532	580	99	98	106	
20	565	619	534	584	102	106	106	
21	475	502	535	585	98	89	86	
22	525	553	535	573	98	98	97	
23	562	621	535	583	101	105	107	
24	572	608	535	601	102	107	107	
25	562	603	535	601	102	105	100	
26	577	609	537	599	101	107	100	
		は当年収量を						

注)旭川市の平年収量は当年収量を / 中5平均としたものであり、作況指数は旭川市で 独自に算出したもの 資料: 北海道農政事務所旭川統計・情報センター

カ 作況指数と生産量の推移



注) H21は記録的な長雨と日照不足による不作のため生産量が減った

資料:北海道農政事務所旭川統計・情報センター、旭川市農政部

キ 平成26年産米の検査区分別・等級別出荷実績

(単位:60kg換算個)

出荷	検査 区分		主食月	Ħ		西	造用	米			加工用	米		備蓄用米			1月4夕月	水稲 うるち	
取扱業者	等級	1等	2等	3等	計	1等	2等	3等	計	1等	2等	3等	計	1等	2等	3等	計	規格外	合計
JAあさ	ひかわ	147,756.5	0.0	0.0	147,756.5	4,232.0	0.0	0.0	4,232.0	12,790.5	0.0	0.0	12,790.5	13,463.5	0.0	0.0	13,463.5	0.0	178,242.5
JAたい	ハせつ	160,370.0	0.0	0.0	160,370.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4,752.5	0.0	0.0	4,752.5	7,678.0	0.0	0.0	7,678.0	0.0	172,800.5
JA東	旭川	92,877.0	0.0	0.0	92,877.0	81.0	0.0	0.0	81.0	6,731.0	0.0	0.0	6,731.0	10,862.0	0.0	0.0	10,862.0	0.0	110,551.0
JA東	.神楽	42,055.5	6,466.0	3.0	48,524.5	1,294.5	0.0	0.0	1,294.5	1,967.0	2,273.0	0.0	4,240.0	3,561.5	3,283.5	0.0	6,845.0	0.0	60,904.0
旭川市	市合計	443,059.0	6,466.0	3.0	449,528.0	5,607.5	0.0	0.0	5,607.5	26,241.0	2,273.0	0.0	28,514.0	35,565.0	3,283.5	0.0	38,848.5	0.0	522,498.0
注)出	台荷実統	責は,旭	川市内	のみ	の実績				5		•					Ì	資料: カ	但川下	1農政部

ク 平成26年産米穀の低タンパク米出荷実績 (単位:60kg換算個,%)

		<u> </u>	III / / / /
出在	苘取扱業者	低タンパク (タンパク値6.89	
	支所	数量	割合
JA	あさひかわ	56,792.0	38.4%
J,	Aたいせつ	64,688.5	40.3%
J	A東旭川	28,714.0	30.9%
J	A東神楽	14,063.5	33.4%
市	内地区合計	164,258.0	37.3%

注)出荷実績は、旭川市内のみの実績

ケ 平成26年度地区別面積集計表

(単位:戸, a)

	地区別			<u></u>								
地区名	地区別 農業者	本地面積				較	作等面積					
地区石	数	本地 面領	主食用水稲	加工用 米面積(A)	新規需要 米面積(B)	備蓄米 面積(C)	転作面積 (D)	その他(E)	(=A+B+C+D+E)	不作付等		
旭川中央 (神楽)	69	22,948.20	13,537.04	179.51	177.41	746.44	7,789.00	194.80	9,087.16	324.00		
神居	189	78,723.70	41,638.15	3,569.06	0.00	2,793.19	27,603.20	779.20	34,744.65	2,340.90		
江丹別	83	59,336.40	640.60	79.32	0.00	17.58	58,495.50	0.00	58,592.40	103.40		
永山	223	108,893.70	69,338.26	2,084.29	114.04	5,972.91	29,766.80	1,083.40	39,021.44	534.00		
旭正	157	117,788.10	68,272.10	5,599.01	1,518.40	4,506.89	37,302.50	452.70	49,379.50	136.50		
東旭川	430	241,131.00	120,632.33	6,849.91	0.00	11,167.56	101,035.60	310.70	119,363.77	1,134.90		
西神楽	217	149,807.20	81,466.21	4,309.27	1,032.40	7,110.32	51,170.00	3,654.20	67,276.19	1,064.80		
東鷹栖	272	246,817.50	179,615.93	4,890.93	0.00	7,902.04	33,213.80	21,035.80	67,042.57	159.00		
合計	1,640	1,025,445.80	575,140.62	27,561.30	2,842.25	40,216.93	346,376.40	27,510.80	444,507.68			

資料:旭川市農政部

コ 平成26年度地区別転作作物別集計(上記D, Eの内訳)

(単位: a)

	//// ///			\ <u></u>					\ 1	<u> </u>
地区名	小麦	大豆	飼料用作物	小豆	そば	花き 花木	地力増 進作物	野菜	その他 作物※	合計
旭川中央 (神楽)	70.00	333.10	1,348.90	34.00	3,495.40	106.90	301.70	2,099.00	194.80	7,983.80
神居	0.00	79.30	5,522.60	165.00	16,254.70	80.30	1,586.80	3,914.50	779.20	28,382.40
江丹別	0.00	0.00	43,346.50	0.00	14,654.40	0.00	9.30	485.30	0.00	58,495.50
永山	3,503.40	9,931.80	4,017.00	622.10	4,311.80	264.80	1,013.90	6,102.00	1,083.40	30,850.20
旭正	11,337.70	12,310.50	3,102.40	756.20	330.50	213.20	2,171.30	7,080.70	452.70	37,755.20
東旭川	31,349.00	24,486.20	15,285.80	92.50	21,133.20	1,087.00	2,012.20	5,589.70	310.70	101,346.30
西神楽	11,178.90	3,593.40	9,255.00	1,146.30	15,047.30	263.30	5,553.50	5,132.30	3,654.20	54,824.20
東鷹栖	12,392.20	1,994.10	9,038.90	137.80	1,122.50	52.20	3,881.30	4,594.80	21,035.80	54,249.60
合計	69,831.20	52,728.40	90,917.10	2,953.90	76,349.80	2,067.70	16,530.00	34,998.30	27,510.80	373,887.20

注)調整水田、補償田、加工用米を除いた旧実績参入(かい廃、補償田等)、自己保全管理等が含まれる

資料:旭川市農政部

サ 平成27年産米の生産数量目標(主食用米の配分数量・面積)

	生産数量目標(t)	面積換算値(ha)
全国	7,510,000	1,420,000
北海道	547,330	101,920
旭川市	33,439	5,647

シ 各年産別米穀の出荷実績

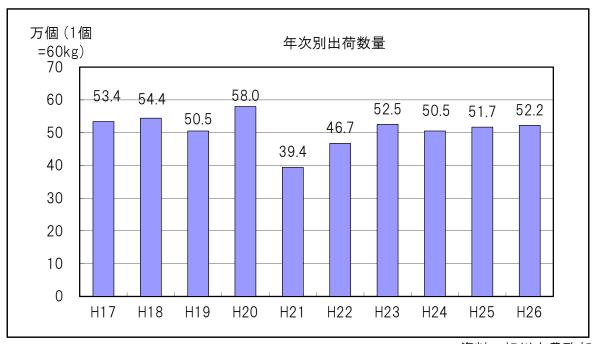
(単位:60kg換算個)

4	丰産	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
	1等	491,525.5	543,877.5	504,811.0	536,604.5	393,246.0	467,485.0	524,570.5	504,643.5	516,582.5	510,472.5
	2等	1,606.0	503.5	88.0	309.5	758.5	0.0	0.0	157.0	51.0	12,022.5
出荷数量	3等	687.5	0.0	25.0	143.5	15.0	0.0	0.0	0.0	4.5	3.0
数量	規格外	0.0	0.0	0.0	651.0	46.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	集荷円滑 化対策	40,486.0			42,230.7						
<u> </u>	計	534,305.0	544,381.0	504,924.0	579,939.2	394,066.0	467,485.0	524,570.5	504,800.5	516,638.0	522,498.0
	1等							22,233.5	11,927.0	29,038.5	35,565.0
備蓄米	2等							0.0	107.5	33.0	3,283.5
米	3等							0.0	0.0	4.5	0.0
	計							22,233.5	12,034.5	29,076.0	38,848.5
	1等	18,054.5	30,809.5	17,366.5	19,368.0	13,979.5	17,189.5	15,773.0	14,507.5	14,225.0	26,241.0
加	2等	1,198.0	150.0	88.0	309.5	144.0	0.0	0.0	43.0	18.0	2,273.0
工	3等	450.0	0.0	25.0	143.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
米	規格外	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	計	19,702.5	30,959.5	17,479.5	19,821.0	14,123.5	17,189.5	15,773.0	14,550.5	14,243.0	28,514.0
í		534,305.0	544,381.0	504,924.0	579,939.2	394,066.0	467,485.0	524,570.5	504,800.5	516,638.0	522,498.0
	米比率	99.9	99.9	100.0	100.0	99.8	100.0	100.0	100.0	100.0	97.7

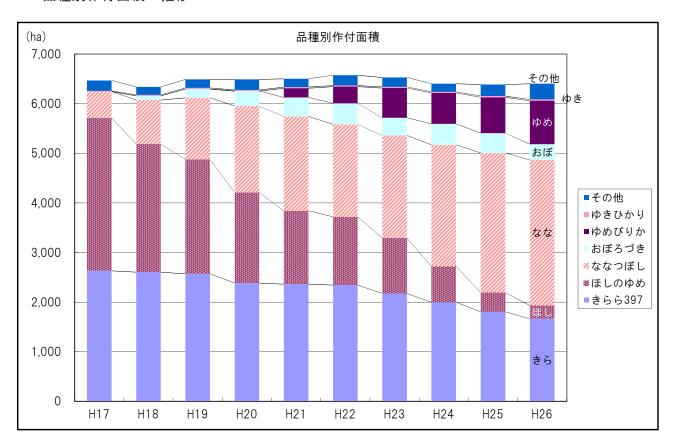
注)H15年度の備蓄米欄には政府米を計上

資料:旭川市農政部

ス 年次別出荷数量(生産量のうち、農協へ出荷されたもの)



セ 品種別作付面積の推移



(単位:ha, %)

年度	きらら397	ほしのゆめ	ななつぼし	おぼろづき	ゆめぴりか	ゆきひかり	その他	合計
H17	2,631.8	3,081.2	532.4	_	_	13.8	211.1	6,470.3
	(40.7%)	(47.6%)	(8.2%)	(—)	(—)	(0.2%)	(3.3%)	(100.0%)
H18	2,607.9	2,580.8	887.2	84.4	_	17.6	162.3	6,340.2
	(41.1%)	(40.7%)	(14.0%)	(1.3%)	(—)	(0.3%)	(2.6%)	(100.0%)
H19	2,571.3	2,307.0	1,242.4	176.6	_	23.4	169.6	6,490.3
	(39.6%)	(35.6%)	(19.1%)	(2.7%)	(—)	(0.4%)	(2.6%)	(100.0%)
H20	2,386.1	1,825.0	1,743.9	301.6	_	23.4	212.4	6,492.4
	(36.8%)	(28.1%)	(26.9%)	(4.7%)	(—)	(0.4%)	(3.3%)	(100.0%)
H21	2,366.5	1,478.1	1,897.6	384.9	186.3	24.1	165.3	6,502.8
	(36.4%)	(22.7%)	(29.2%)	(5.9%)	(2.9%)	(0.4%)	(2.5%)	(100.0%)
H22	2,346.0	1,374.3	1,864.7	422.1	337.6	24.1	206.5	6,575.3
	(35.7%)	(20.9%)	(28.4%)	(6.4%)	(5.1%)	(0.4%)	(3.1%)	(100.0%)
H23	2,174.2	1,122.0	2,064.7	356.7	599.6	21.3	192.6	6,531.1
	(33.3%)	(17.2%)	(31.6%)	(5.5%)	(9.2%)	(0.3%)	(2.9%)	(100.0%)
H24	2,000.6	719.4	2,453.3	422.5	621.1	22.7	163.5	6,403.1
	(31.2%)	(11.2%)	(38.3%)	(6.6%)	(9.7%)	(0.4%)	(2.6%)	(100.0%)
H25	1,805.9	389.6	2,813.5	399.7	721.8	25.1	231.5	6,387.1
	(28.3%)	(6.1%)	(44.0%)	(6.3%)	(11.3%)	(0.4%)	(3.6%)	(100.0%)
H26	1,668.0	266.9	2,932.3	319.3	875.5	24.7	317.1	6,403.8
	(26.0%)	(4.2%)	(45.8%)	(5.0%)	(13.7%)	(0.4%)	(4.9%)	(100.0%)

ソ 旭川市における転作等の推移 a 昭和45年度~平成15年度

а қ	召和45年度	1 // -	水田	水田	転作等	転作等	転作等	転作	実施率		転作等実施面	積の内訳		転作奨励
3	対策名	年度	本地 面積① (ha)	作付 面積② (ha)	目標 面積③ (ha)	実施農家 戸数 (戸)	実施 面積④ (ha)	率 ④/① (%)	4/3 (%)	転作 その他 (ha)	土地改良 通年施行 (ha)	単純 休耕 (ha)	寄託 休耕 (ha)	補助金(千円)
		45	12,564.50	10,678.80	990.7	2,651	1,884.20	15.0%	190.2%	75.5	365.1	1,443.60	_	724,559
=	米生産	46	12,410.70	9,739.50	2,550.30	3,761	2,671.30	21.5%	104.7%	727.3	113	1,420.00	411	931,162
	調整	47	12,497.30	7,927.40	2,537.20	4,406	4,569.90	36.6%	180.1%	1,947.20	248.8		1,055.10	1,688,964
		48	12,144.00	6,640.80	2,538.70	4,457	5,503.20	45.3%	216.8%	3,180.80	375.5	1,239.90	715.9	2,102,565
	稲作	49	11,839.70	8,095.60	3,155.90	3,223	3,744.10	31.6%	118.6%	3,520.70	223.4	_	_	1,527,977
	転換	50	11,881.90	8,913.00	2,230.20	2,793	2,968.90	25.0%	133.1%	2,881.30	87.6	_	_	1,216,178
zk ⊞	日総合利用	51	11,718.50	9,674.70	2,481.00	2,162	2,043.80	17.4%	82.4%	1,985.10	58.7	_	_	1,008,285
-,		52	11,759.00	9,397.80	2,431.00	2,411	2,361.20	20.1%	97.1%	2,349.40	11.8	_	_	1,391,927
	第	53	11,732.20	8,523.50	3,169.00	3,696	3,208.70	27.3%	101.3%	3,206.40	2.3	_		2,471,943
	1	54	11,727.40	8,372.00	3,169.00	3,605	3,355.40	28.6%	105.9%	3,348.20	7.2	_	_	2,587,215
水	期	55	11,731.10	7,542.80	4,187.00	3,974	4,188.30	35.7%	100.0%	4,188.30	_	_	_	3,243,722
田	第	56	11,683.40	7,100.10	4,580.00	4,147	4,583.30	39.2%	100.1%	4,583.30	_		_	3,289,425
利	2	57	11,641.90	7,356.10	4,265.00	3,979	4,285.80	36.8%	100.5%	4,285.80	_	_	_	3,243,722
用再編	期	58	11,606.90	7,389.80	4,215.00	3,964	4,217.10	36.3%	100.0%	4,212.90	2	—		2,938,356
丹	第			7 00 / 00				0.0 70/		転作等	通年施行	他用途利		0.400.507
TMHH	3	59	11,585.40	7,331.20	4,235.00	3,741	4,254.20	36.7%	100.5%	3,909.30	17.7		327.2	2,126,597
	期	60	11,707.20	7,724.50	3,977.00	3,346	3,982.70	34.0%	100.1%	3,379.10	9.7		593.9	1,848,780
		61	11,654.00	7,410.80	4,238.00	3,894	4,243.20	36.4%	100.1%	3,623.20			620	1,967,995
水	前	62	11,588.70	6,903.70	4,672.00	3,841	4,677.60	40.4%	100.1%	3,975.50	_		702.1	1,794,030
田	期	63	11,524.80	6,719.30	4,672.00	3,706	4,675.00	40.6%	100.1%	3,989.40	_		685.6	1,809,887
農		元	11,462.50	6,604.10	4,672.00	3,584	4,682.30	40.8%	100.2%	3,994.80	_		687.5	1,783,101
業確	後	2	11,352.00	6,547.20	4,778.00	3,499	4,793.90	42.2%	100.3%	4,003.20	_		790.7	1,624,985
唯 立	期	3	11,278.80	6,470.50	4,778.00	3,356	4,791.00	42.5%	100.3%	4,000.50			790.5	1,617,632
- 1/	L	4	11,180.50	7,485.80	3,658.00	2,824	3,668.60	32.8%	100.3%	2,887.00	_		781.6	1,125,391
	水田	5	11,120.20	7,749.70	3,308.00	2,594	3,319.60	29.9%	100.4%	2,527.20	_		792.4	772,006
:	営農 活性化	6	11,065.20	7,966.00	3,055.60	3,059	3,063.30	27.7%	100.3%	2,419.70	_		643.6	714,439
		7	11,039.70	7,558.30	3,052.90	2,991	3,459.00	31.3%	113.3%	3,043.00	_		416	864,121
	新生産	8	10,800.40	7,433.90	3,349.90	2,919	3,357.20	31.1%	100.2%	3,357.20	_		_	480,785
語	整推進	9	10,788.40	7,419.90	3,349.60	2,879	3,358.90	31.1%	100.3%	3,358.90	_			477,583
聚	 《急生産									転作	調整水田	実績算	入	水田営農 確立助成金
訓	問整推進	10	10,793.40	6,833.90	4,347.20	2,899	4,355.20	40.4%	100.2%	3,669.60	69.3		616.3	285,411
		11	10,800.50	6,805.10	4,427.10	2,803	4,464.70	41.3%	100.8%	3,698.20	61.3		705.3	268,638
														水田農業確立 助成補助金
	〈田農業	12	10,813.90	6,942.20	4,450.20	2,779	4,467.10	41.3%	100.4%	3,596.00	19.4		851.7	660,310
稻	E営確立	13	10,664.00	6,370.50	4,764.30	2.680	4.768.40	44.7%	100.1%	4.049.80	12.7		705.9	718,350
	対策	14	10,650.10	6,421.50	4,606.70	2,689	4,611.40	43.3%	100.1%	4,033.20	6.9		571.3	824,766
		15	10,634.90	6,276.20	4,731.50	2,655	4.737.50	44.5%	100.1%	4,167.20	5.5		565.2	1,021,798

<参考> 水田本地面積には、水稲作付面積及び転作等実施面積の他に、不作付地の面積が含まれている。 実績算入面積には、加工用米面積及び特別調整水稲カウントが含まれている。(H10~H15)

b 平成16年度~

対策名	年度	水田 本地 面積① (ha)	水田 作付 面積② (ha)			転作等 実施農家 戸数 (戸)	転作等 実施 面積③ (ha)	転作 率 ③/① (%)	面積((h	転作等実施 面積の内訳 (ha)		交付金 (千円)	
		(1.27	主食用米	加工用米	新規 需要米	備蓄米	, , ,	()	(/3/	転作	その他		
	16	10,470.3	6,203.7	320.4	_	_	2,454	4,237.90	40.5%	3,255.2	662.2	28.7	1,484,618
水田農業	17	10,351.2	6,320.6	202	-	_	2,389	3,996.80	38.6%	2,951.4	843.5	33.8	1,679,977
構造改革 対策	18	10,310.4	6,047.9	307.8			2,309	4,215.80	40.9%	3,870.0	37.9	46.7	1,788,255
7.3.510	19	10,287.3	6,338.5	185.9	_	_	2,064	3,914.00	38.0%	3,664.3	63.8	34.7	1,686,484
	20	10,253.0	6,266.5	207.8	_		2,014	3,948.90	38.5%	3,508.1	233	37.6	1,697,311
	21	10,246.0	6,357.2	182.6	4.9	_	1,932	3,845.00	37.5%	3,430.4	227.2	43.6	1,591,253
戸別所得 補償モデル 対策	22	10,236.1	6,353.5	186.2	29.4	_	1,831	3,853.85	37.6%	3,430.1	208.2	28.7	4,163,310
農業者 戸別所得 補償制度	23	10,221.7	6,132.5	153.8	32.1	212.9	1,783	4,040.92	39.5%	3,426.1	216.0	48.2	3,060,369
	24	10,246.6	6,164.2	149.7	31.5	116.9	1,738	4,036.84	39.4%	3,420.6	318.2	45.6	3,201,500
経営所得安 定対策	25	10,239.3	5,966.9	148.6	26.9	307.1	1,676	4,211.63	41.1%	3,445.7	283.2	60.8	3,249,045
	26	10,254.5	5,751.4	275.6	28.4	402.1	1,640	4,445.10	43.3%	3,463.7	275.1	58.0	2,925,744

<備考>

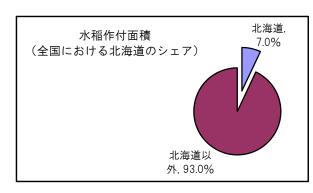
- · 水田本地面積には、水稲作付面積及び転作等実施面積のほかに、不作付地の面積が含まれている。
- ・その他には実績算入が含まれている。
- ・転作等実施面積③には加工用米・新規需要米・備蓄米も含まれている。
- ・水田農業構造改革交付金は、当該年度中に執行された産地確立交付金及び稲作構造改革促進交付金の実績額を示した金額である。なお、JAたいせつ地域水田農業推進協議会の鷹栖地区分を含む。
- ・戸別所得補償モデル対策交付金は、JAたいせつ地域水田農業推進協議会の鷹栖地区分を含む。

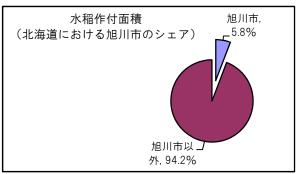
タ 水稲作付面積ランキング(平成26年産)

	全国トッ	プ10とショ	・ア
順位	都道府県	シェア(%)	作付面積(ha)
1	新潟	7.6	120,100
2	北海道	7.0	111,000
3	秋田	5.8	91,700
4	茨城	4.8	75,600
5	宮城	4.5	71,100
6	福島	4.3	68,200
7	山形	4.3	67,900
8	栃木	4.1	64,300
9	千葉	3.8	60,200
10	岩手	3.5	55,000
	全国	100.0	1.575.000

	全道トップ10とシェア									
順位	市町村	シェア(%)	作付面積(ha)							
1	岩見沢市	6.9	7,660							
2	旭川市	5.8	6,430							
3	深川市	5.4	5,940							
4	美唄市	3.8	4,250							
5	新十津川町	3.2	3,630							
6	名寄市	3.1	3,470							
7	士別市	2.5	2,800							
8	当麻町	2.4	2,670							
9	新篠津村	2.2	2,470							
10	南幌町	2.2	2,390							
	全道	100.0	111,000							

資料:農林水産省



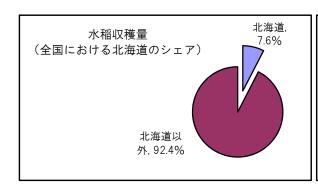


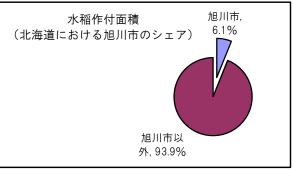
チ 水稲収穫量ランキング(平成26年産)

	全国トップ10とシェア						
順位	都道府県	シェア(%)	収穫量(t)				
1	新潟	7.8	656,900				
2	北海道	7.6	640,500				
3	秋田	6.5	546,500				
4	山形	5.0	423,000				
5	茨城	4.9	412,000				
6	宮城	4.7	397,400				
7	福島	4.5	381,900				
8	栃木	4.1	344,700				
9	千葉	4.0	336,000				
10	青森	3.7	309,100				
	全国	100.0	8,439,000				

	全道トップ10とシェア						
順位	市町村	シェア(%)	収穫量(t)				
1	岩見沢市	6.8	43,900				
2	旭川市	6.1	39,100				
3	深川市	5.5	35,500				
4	美唄市	3.9	25,200				
5	名寄市	3.4	21,500				
6	新十津川町	3.3	21,400				
7	士別市	2.6	16,500				
8	当麻町	2.4	15,500				
9	沼田町	2.4	15,200				
10	新篠津村·鷹栖町	2.2	14,400				
	全道	100.0	640,500				

資料:農林水産省





3 一般畑作

(1) 概況

本市は、北海道農業の中でも著しく稲作に傾斜した地域の一つであり、普通畑は西神楽地域と江丹別地域に集中している。西神楽地域千代ヶ岡及び就実地区では、麦、てん菜、ばれいしょ、豆類の主要4品目による輪作体系により、意欲的な経営を展開しており、江丹別地域ではブランド化が進められているそばが作付けされている。

また、昭和45年以降の米の生産調整に伴う転作が定着し、特に、平成12年度から開始された国の「水田を中心とした土地利用型農業活性化対策」により、転作麦・大豆の作付が拡大した。更に平成16年度から実施している「地域水田農業ビジョン」に基づき、計画的な土地利用型畑作物作付を図っており、特にそばの作付が増加する傾向にある。

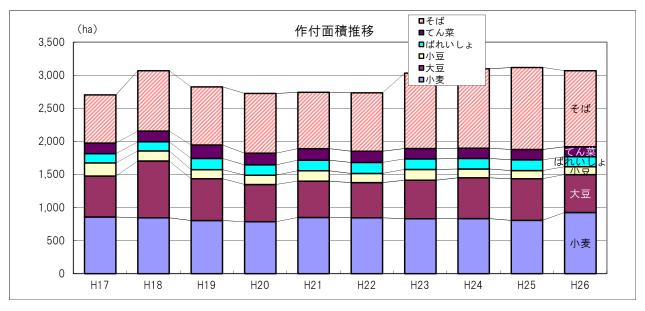
このような中、連作による地力減退や長年の機械作業による土壌排水性低下等の要因により、畑作物は近年の天候不順の影響を顕著に受け、収量減少や品質の低下を招く結果となっている。畑作物の安定生産や品質確保のため、平成24年度に西神楽地域と江丹別地域において、ほ場の排水対策や地力向上対策等の生産基盤を強化する取組がなされており、生産力の向上が期待される。

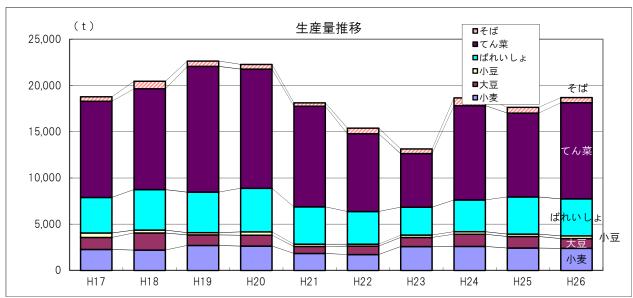
(2) 各資料

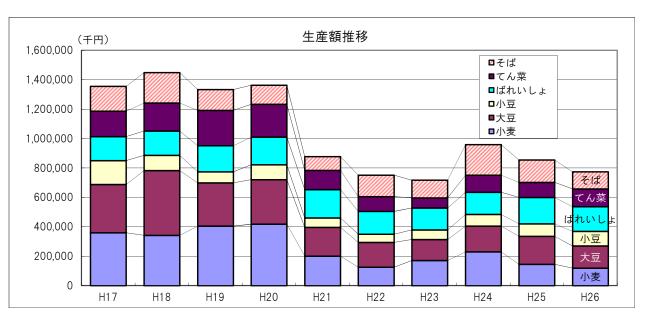
ア 年度別一般畑作品目別栽培面積・生産量及び生産額

小麦 1	品目	年度	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
大安 生産量(t) 2,270 2,200 2,700 2,640 1,840 1,720 2,580 2,600 2,430 2,400 生産額(干円) 360,022 342,760 405,810 418,704 200,744 125,216 171,312 230,100 145,071 119,280 (601) (850) (612) (538) (518) (517) (540) (563) (596) (527) (520) (528) (518) (517) (540) (563) (596) (527) (520) (528) (518) (517) (540) (563) (596) (527) (520) (528) (518) (518) (517) (540) (563) (596) (527) (520) (527) (540) (563) (596) (527) (520) (527) (540) (526) (520) (527) (540) (526) (527) (540) (526) (527) (540) (526) (527) (540) (526) (527) (540) (526) (527) (540) (526) (527) (540) (527) (529) (527) (540) (527) (529) (527) (540) (527) (529) (527) (540) (527) (529) (527) (540) (527) (529) (529) (527) (529) (529) (527) (529) (529) (527) (529) (529) (527) (529		作付面積(ha)	857	845	805	786	851	846	830	833	807	924
性産量(け) 2,270 2,200 2,700 2,640 1,840 1,720 2,580 2,640 2,430 2,400 2,500 2,400 2,400 2,5	小丰	うち転作面積	(690)	(692)	(606)	(605)	(653)	(642)	(621)	(612)	(575)	(698)
大豆 作け面積(ha) 5 5 5 6 6 7 5 4 9 5 3 1 5 8 4 6 1 7 6 2 9 5 7 4 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	小友	生産量(t)	2,270	2,200	2,700	2,640	1,840	1,720	2,580	2,600	2,430	2,400
大日 うち転作面積 (601) (850) (612) (538) (518) (517) (540) (563) (596) (527) 生産量(t) 1,300 1,850 1,140 1,180 760 908 998 1,320 1,240 1,050 生産額(干円) 328,250 439,930 292,980 301,726 195,600 169,524 142,215 174,900 190,092 150,990 作付面積(ha) 200 151 139 141 157 139 162 134 123 120 性層積(ha) (81) (61) (58) (52) (48) (35) (35) (30) (27) (29) 生産離(干円) 161,663 103,553 75,189 101,417 64,688 55,447 66,122 79,299 85,572 98,770 生産離(干円) 164,213 165 156 159 167 161 160 163 152 大統市 生産額(干円) <t< td=""><td></td><td>生産額(千円)</td><td>360,022</td><td>342,760</td><td>405,810</td><td>418,704</td><td>200,744</td><td>125,216</td><td>171,312</td><td>230,100</td><td>145,071</td><td>119,280</td></t<>		生産額(千円)	360,022	342,760	405,810	418,704	200,744	125,216	171,312	230,100	145,071	119,280
大豆 生産量(t) 1,300 1,850 1,140 1,180 760 908 998 1,320 1,240 1,050 生産額(干円) 328,250 439,930 292,980 301,726 195,600 169,524 142,215 174,900 190,092 150,990 作付面積(ha) 200 151 139 141 157 139 162 134 123 120 55転作面積 (81) (61) (58) (52) (48) (35) (35) (30) (27) (29) 生産額(干円) 161,663 103,553 75,189 101,417 64,688 55,447 66,122 79,299 85,572 98,770 生産額(干円) 161,663 103,553 75,189 101,417 64,688 55,447 66,122 79,299 85,572 98,770 生産量(大) 13,844 4,385 4,394 4,706 4,019 3,540 3,011 3,429 4,015		作付面積(ha)	619	860	630	563	549	531	584	617	629	574
全産額(干円) 328,250 439,930 292,980 301,726 195,600 169,524 142,215 174,900 190,092 150,990	l +=	うち転作面積	(601)	(850)	(612)	(538)	(518)	(517)	(540)	(563)	(596)	(527)
作付面積(ha) 200 151 139 141 157 139 162 134 123 120	人立	生産量(t)	1,300	1,850	1,140	1,180	760	908	998	1,320	1,240	1,050
小豆 うち転作面積 (81) (61) (61) (58) (52) (48) (35) (35) (35) (30) (27) (29) 生産量 (t) 482 (316) (242) (353) (252) (216) (247) (270) (268) (293) 生産額(千円) 161,663 (103,553) (75,189) (101,417) (64,688) (55,447) (66,122) (79,299) (85,572) (98,770) (おいた) (10 (2) (3) (3) (0) (0) (40,500) (0) (40,500) (0) (40,500) (0) (40,500) (0) (40,500) (0) (40,500) (0) (40,500) (0) (40,50		生産額(千円)	328,250	439,930	292,980	301,726	195,600	169,524	142,215	174,900	190,092	150,990
小品 生産量(t) 482 316 242 353 252 216 247 270 268 293 生産額(千円) 161,663 103,553 75,189 101,417 64,688 55,447 66,122 79,299 85,572 98,770 (おいしょ (1) 139 140 170 156 159 167 161 160 163 152 (まれいしょ (1) (2) (3) 0 (0) (0) (0) (0) (0) (0) (0) (0) (0)		作付面積(ha)	200	151	139	141	157	139	162	134	123	120
生産量(t) 482 316 242 353 252 216 247 270 268 293 生産額(干円) 161,663 103,553 75,189 101,417 64,688 55,447 66,122 79,299 85,572 98,770 作付面積(ha) 139 140 170 156 159 167 161 160 163 152 うち転作面積 (1) (2) (3) 0 (0) (0) 640,500 (0) (0) (0) (0) (0) 生産量(t) 3,844 4,385 4,394 4,706 4,019 3,540 3,011 3,429 4,015 4,006 生産額(干円) 164,213 165,736 177,818 188,463 192,232 155,243 148,575 150,238 179,822 168,429 作付面積(ha) 160 161 202 176 175 170 157 155 156 156 150 うち転作面積 (5) (4) (7) (4) (6) (7) (4) (8) (4) (8) (4) (8) 生産量(t) 10,400 10,900 13,600 12,900 10,900 8,400 5,800 10,200 9,060 10,400 生産額(干円) 172,640 190,750 240,720 223,170 130,800 99,960 69,020 117,300 102,378 120,640 株育面積(ha) 730 912 880 903 853 883 1,140 1,200 1,240 1,150 うち転作面積 (692) (663) (667) (661) (632) (619) (752) (785) (842) (763) 生産量(t) 496 818 563 507 365 618 507 854 638 544 生産額(干円) 168,987 206,136 141,144 129,285 93,075 146,466 120,259 207,266 151,653 116,362 株育面積(ha) 2,705 3,069 2,826 2,725 2,744 2,736 3,034 3,099 3,118 3,070 うち転作面積 (2,070) (2,272) (1,953) (1,860) (1,857) (1,820) 638,548 (1,998) (2,044) (2,025) 生産量(t) 18,792 20,469 22,639 22,286 18,136 15,402 13,143 18,673 17,651 18,693 生産額(干円) 1,355,775 1,448,865 1,333,661 1,362,765 877,139 751,856 717,503 959,103 854,588 774,471	小一	うち転作面積	(81)	(61)	(58)	(52)	(48)	(35)	(35)	(30)	(27)	(29)
作付面積(ha) 139 140 170 156 159 167 161 160 163 152 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	小立	生産量(t)	482	316	242	353	252	216	247	270	268	293
けんしき では		生産額(千円)	161,663	103,553	75,189	101,417	64,688	55,447	66,122	79,299	85,572	98,770
生産量(t) 3,844 4,385 4,394 4,706 4,019 3,540 3,011 3,429 4,015 4,006 生産額(千円) 164,213 165,736 177,818 188,463 192,232 155,243 148,575 150,238 179,822 168,429		作付面積(ha)	139		170	156	159	167	161	160	163	152
生産量(t) 3,844 4,385 4,394 4,706 4,019 3,540 3,011 3,429 4,015 4,006 生産額(千円) 164,213 165,736 177,818 188,463 192,232 155,243 148,575 150,238 179,822 168,429	げわいしょ	うち転作面積	(1)	(2)	(3)	0	(0)	(0)	640,500	(0)	(0)	(0)
子とは 作付面積(ha) 160 161 202 176 175 170 157 155 156 150 150 150 154 性産量 (t) 10,400 10,900 13,600 12,900 10,900 8,400 5,800 10,200 9,060 10,400 10,400 生産額(千円) 172,640 190,750 240,720 223,170 130,800 99,960 69,020 117,300 102,378 120,640 190,750 240,720 223,170 130,800 99,960 69,020 117,300 102,378 120,640 190,750 240,720 223,170 130,800 99,960 69,020 117,300 102,378 120,640 190,750 25 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15	14100.04	生産量(t)	3,844	4,385	4,394	4,706	4,019	,	,	3,429	4,015	4,006
うち転作面積 (5) (4) (4) (7) (4) (6) (7) (4) (8) (7) (4) (8) (8) (4) (8) (8) (4) (8) (8) (4) (8) (8) (4) (8) (8) (4) (8) (8) (4) (4) (8) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4		生産額(千円)	164,213	165,736	177,818	188,463	192,232	155,243	148,575	150,238	179,822	168,429
生産量(t) 10,400 10,900 13,600 12,900 10,900 8,400 5,800 10,200 9,060 10,400 生産額(千円) 172,640 190,750 240,720 223,170 130,800 99,960 69,020 117,300 102,378 120,640 [4付面積(ha)] 730 912 880 903 853 883 1,140 1,200 1,240 1,150 (661) 5 転作面積 (692) (663) (667) (661) (632) (619) (752) (785) (842) (763) [4 産産量(t)] 496 818 563 507 365 618 507 854 638 544 (1,986) [4 生産額(千円)] 168,987 206,136 141,144 129,285 93,075 146,466 120,259 207,266 151,653 116,362 [5 大転作面積(ha)] 2,705 3,069 2,826 2,725 2,744 2,736 3,034 3,099 3,118 3,070 [5 大転作面積(ha)] 2,705 3,069 2,826 2,725 2,744 2,736 3,034 3,099 3,118 3,070 [5 大転作面積(ha)] 2,705 3,069 2,826 2,725 2,744 2,736 3,034 3,099 3,118 3,070 [5 大転作面積(ha)] 2,705 3,069 2,826 2,725 2,744 2,736 3,034 3,099 3,118 3,070 [5 大転作面積(ha)] 2,705 3,069 2,826 2,725 2,744 2,736 3,034 3,099 3,118 3,070 [5 大転作面積(ha)] 2,705 3,069 2,826 2,725 2,744 2,736 3,034 3,099 3,118 3,070 [5 大転作面積(ha)] 2,705 3,069 2,826 2,725 2,744 2,736 3,034 3,099 3,118 3,070 [5 大転作面積(ha)] 2,705 3,069 2,826 2,725 2,744 2,736 3,034 3,099 3,118 3,070 [5 大転作面積(ha)] 2,705 3,069 2,826 2,725 2,744 2,736 3,034 3,099 3,118 3,070 [5 大転作面積(ha)] 3,069 2,826 2,725 2,744 2,736 3,034 3,099 3,118 3,070 [5 大転作面積(ha)] 3,069 2,826 2,725 2,744 2,736 3,034 3,099 3,118 3,070 [5 大転作面積(ha)] 3,069 2,826 2,725 2,744 2,736 3,034 3,099 3,118 3,070 [5 大転作面積(ha)] 3,069 2,826 2,725 2,744 2,736 3,034 3,099 3,118 3,070 [5 大転作面積(ha)] 3,069 2,826 2,725 2,744 2,736 3,034 3,099 3,118 3,070 [5 大転作面積(ha)] 3,069 2,826 2,725 2,744 2,736 3,034 3,099 3,118 3,070 [5 大転作面積(ha)] 3,069 2,826 2,725 2,744 2,736 3,034 3,099 3,118 3,070 [5 大転作面積(ha)] 3,069 2,826 2,725 2,744 2,736 3,034 3,099 3,118 3,070 [5 大転作面積(ha)] 3,069 2,272 [5 大麻作面積(ha)] 3,069 2,272 [作付面積(ha)	160	161	202	176	175	170	157	155	156	150
生産量(t) 10,400 10,900 13,600 12,900 10,900 8,400 5,800 10,200 9,060 10,400 生産額(千円) 172,640 190,750 240,720 223,170 130,800 99,960 69,020 117,300 102,378 120,640 (作付面積(ha) 730 912 880 903 853 883 1,140 1,200 1,240 1,150 生産量(t) 496 818 563 507 365 618 507 854 638 544 生産額(千円) 168,987 206,136 141,144 129,285 93,075 146,466 120,259 207,266 151,653 116,362 (作付面積(ha) 2,705 3,069 2,826 2,725 2,744 2,736 3,034 3,099 3,118 3,070 うち転作面積 (2,070) (2,272) (1,953) (1,860) (1,857) (1,820) 638,548 (1,998) (2,044) (2,025) 生産量(t) 18,792 20,469 22,639 22,286 18,136 15,402 13,143 18,673 17,651 18,693 生産額(千円) 1,355,775 1,448,865 1,333,661 1,362,765 877,139 751,856 717,503 959,103 854,588 774,471	てん哉	うち転作面積						(,,				
そば (692) (663) (667) (661) (632) (619) (752) (785) (842) (763) (763) (201) (しん未	生産量(t)	10,400	10,900	13,600	12,900	10,900			10,200	9,060	10,400
合計 5 方転作面積 (692) (663) (667) (661) (632) (619) (752) (785) (842) (763) 生産量(t) 496 818 563 507 365 618 507 854 638 544 生産額(干円) 168,987 206,136 141,144 129,285 93,075 146,466 120,259 207,266 151,653 116,362 合計 作付面積(ha) 2,705 3,069 2,826 2,725 2,744 2,736 3,034 3,099 3,118 3,070 うち転作面積(ha) 2,070) (2,272) (1,953) (1,860) (1,857) (1,820) 638,548 (1,998) (2,044) (2,025) 生産量(t) 18,792 20,469 22,639 22,286 18,136 15,402 13,143 18,673 17,651 18,693 生産額(干円) 1,355,775 1,448,865 1,333,661 1,362,765 877,139 751,856 717,503 959,103 854,588 774,471		生産額(千円)	172,640	190,750	240,720	223,170	130,800	99,960	69,020	,	102,378	120,640
生産量(t) 496 818 563 507 365 618 507 854 638 544 生産額(千円) 168,987 206,136 141,144 129,285 93,075 146,466 120,259 207,266 151,653 116,362 合計 作付面積(ha) 2,705 3,069 2,826 2,725 2,744 2,736 3,034 3,099 3,118 3,070 うち転作面積(2,070) (2,272) (1,953) (1,860) (1,857) (1,820) 638,548 (1,998) (2,044) (2,025) 生産量(t) 18,792 20,469 22,639 22,286 18,136 15,402 13,143 18,673 17,651 18,693 生産額(千円) 1,355,775 1,448,865 1,333,661 1,362,765 877,139 751,856 717,503 959,103 854,588 774,471		作付面積(ha)	730	912	880	903	853	883	1,140	1,200	1,240	1,150
生産量(t) 496 818 563 507 365 618 507 854 638 544 生産額(千円) 168,987 206,136 141,144 129,285 93,075 146,466 120,259 207,266 151,653 116,362 作付面積(ha) 2,705 3,069 2,826 2,725 2,744 2,736 3,034 3,099 3,118 3,070 うち転作面積(2,070)(2,272)(1,953)(1,860)(1,857)(1,820)638,548 (1,998)(2,044)(2,025) 生産量(t) 18,792 20,469 22,639 22,286 18,136 15,402 13,143 18,673 17,651 18,693 生産額(千円) 1,355,775 1,448,865 1,333,661 1,362,765 877,139 751,856 717,503 959,103 854,588 774,471	そげ	うち転作面積										
合計 作付面積(ha) 2,705 3,069 2,826 2,725 2,744 2,736 3,034 3,099 3,118 3,070 うち転作面積 (2,070) (2,272) (1,953) (1,860) (1,857) (1,820) 638,548 (1,998) (2,044) (2,025) 生産量(t) 18,792 20,469 22,639 22,286 18,136 15,402 13,143 18,673 17,651 18,693 生産額(千円) 1,355,775 1,448,865 1,333,661 1,362,765 877,139 751,856 717,503 959,103 854,588 774,471	(10	生産量(t)	496		563							544
合計 うち転作面積 (2,070) (2,272) (1,953) (1,860) (1,857) (1,820) 638,548 (1,998) (2,044) (2,025) 生産量(t) 18,792 20,469 22,639 22,286 18,136 15,402 13,143 18,673 17,651 18,693 生産額(干円) 1,355,775 1,448,865 1,333,661 1,362,765 877,139 751,856 717,503 959,103 854,588 774,471		生産額(千円)	,	,	,						151,653	116,362
合計 生産量(t) 18,792 20,469 22,639 22,286 18,136 15,402 13,143 18,673 17,651 18,693 生産額(千円) 1,355,775 1,448,865 1,333,661 1,362,765 877,139 751,856 717,503 959,103 854,588 774,471		作付面積(ha)	-		,						,	3,070
生産量(1) 18,792 20,469 22,639 22,286 18,136 15,402 13,143 18,673 17,651 18,693 生産額(干円) 1,355,775 1,448,865 1,333,661 1,362,765 877,139 751,856 717,503 959,103 854,588 774,471	소타	うち転作面積	. , .									
		生産量(t)	18,792	20,469	22,639			15,402		·	·	18,693
		生産額(千円)	1,355,775	1,448,865	1,333,661	1,362,765	877,139	751,856	717,503			,

イ 一般畑作作付面積・生産量・生産額の推移







4 野菜

(1) 概況

本市の基幹品目である野菜生産は、都市近郊農業という恵まれた立地条件を生かし、地元市場対応型産地として、安定した販路を確保してきた。

しかし輸入野菜急増に端を発した価格の低迷や厳しさを増す産地間競争,また輸入 農産物の残留農薬問題や大手メーカーの産地偽装などが引き金となった消費者の食品 安全に対する関心の高まりに対応していくためには,地道なマーケティングによる需 要のある売れる品目の絞り込みとそれらの選択的拡大及び安定出荷体制の確立,旭川 野菜の差別化や個性的な産地形成などの農業の高付加価値化対策,旭川野菜の安全性 確保や安心感向上対策が重要となっている。

このような状況の下、消費者や実需者からニーズの高いクリーン農業の推進に取り組み、現在は全道有数のクリーン農業産地として評価を受けるまでに至っている。また平成25年からは旭川青果物出荷組合連合会において、上川農業改良普及センター、本市と連携し、農林水産省ガイドラインに則した農業生産工程管理(GAP)手法を導入し、生産から出荷までの作業工程をチェックすることで、残留農薬等事故防止や経営改善につなげている。

旭川青果連では、これらの取り組みを市民をはじめとした消費者に情報発信し、旭 川青果物の認知度向上を図っている。

(2) 各資料

ア YES! clean (北のクリーン農産物表示制度) について

①YES! cleanとは

YES! cleanとは、クリーン農産物への理解と信頼を得るため、栽培情報などを公開し、一定の基準を満たすクリーン農産物を生産する集団を登録する制度。

YES! clean農産物は、北海道の農業試験場などでつくられたクリーン農業技術を導入して、たい肥などを使って土をつくり、また化学肥料や化学合成農薬をできるだけ減らすなど、環境に配慮して生産された安全・安心な農産物のこと。

②品目等

旭川市では、YES! clean農産物の生産に積極的に取組み、野菜では19品目21集団が、水稲を含めると20品目25集団がYES! cleanの認証を取得し、表示販売を行っている。これは、YES! clean認証品目数・団体数で全道一となっている。

③平成26年度YES! clean野菜品目一覧(19品目)

ししとう, なんばん, トマト, ミニトマト, ピーマン, こまつな, サラダナ, しゅんぎく (摘み取り), しゅんぎく (株張り), タアサイ, チンゲンサイ, チマサンチュ, 軟白長ねぎ, 青(小) ねぎ, ほうれんそう, サニー・リーフレタス, みずな, かぶ, ラディッシュ

イ エコファーマーについて

①エコファーマーとは

エコファーマーとは「持続性の高い農業生産方式の導入の促進に関する法律(平成 11年7月28日法律第110号)に基づき、たい肥等施用技術、化学肥料低減技術、 化学合成農薬低減技術を一体的に導入する計画を作成し、都道府県知事の認定を受けた 農業者の愛称のこと。

エコファーマーには資金の特例措置などが設けられている。

②認定者数

市内では、平成27年3月末現在6件が認定。

主に環境保全型農業直接支援対策の実施に伴い認定を取得。認定内訳は、そば3件 水稲2件、野菜(トマト、ねぎ)1件となっている。 ウ 系統向け野菜作付面積及び生産量・生産額

	可け野菜作付面積及び生			
区分	品目	作付面積(a)	<u>生産量(t)</u>	生産額(千円)
	いちご	107	10	14,137
	かぼちゃきゅうり	600	92	12,689
	きゅうり	171	155	46.662
	ゴーヤ	17	6	4,322
	ししどう	119	43	49,961
	なんばん	88	30	31,781
果 菜 類	すいか	0	7	887
菜	トマト	303	326	92066
類	中玉トマト	126	32	92,066 15,358
	ミニトマト	215	100	70,000
	ミートマト ピーマン	210	106	70,093
		260	214	63,724
	メロン	860	179	70,941 1,368
	なす	0	6	1,368
	小計	2,866	1,209	473,989
	グリーンアスパラ	1,844	54	48,554
	キャベツ	70	35	2,783
	こまつな	1,910 221	289	104,406 27,543
	サラダナ	221	38	27,543
	しゅんぎく(株張り)	150	16	13.165
	しゅんぎく(摘み取り)	499	91 31	73,475
	セルリー	65	31	4,981
	ターサイ	225	68	24,243
	チンゲンサイ	1,265	383	136,357
	チマサンチュ	0	0	100,007
	軟白長ねぎ	153	107	51,469
葉	長んぎ (百秒)	55	16	21,409
茎				3,155 304
葉 茎 菜 類	長ねぎ(夏秋) 春ねぎ 青(小)ねぎ	0	0	504
鞱		558	79	59,504
^A	千本ねぎ	130	3 127	4,455
	玉ねぎ	900	12/	13,487
	パセリ	196	54	56,971
	ほうれんそう	1,946	157	96,641
	みつば	0	0	47
	結球レタス	433	181	33,402
	サニーレタス	284	73	25,191
	リーフレタス	304	82	25,191 30,741
	みずな	654	174	69,225
	はくさい	0	2	65
	小計	11,862	2,060	880,164
	かぶ	175	75	13,353
	だいこん	0	2	164
根	ばれいしょ(生食用)	2,920	720	37,031
菜	ばれいしょ(加工用)	12,230	3,286	131,398
類	にんじん	250	79	2,065
块	ラディッシュ	80	61	18,792
	<u>ファイッシュ</u> 小計	15,655	4,223	202,803
-				10174
由行		89 64	11	12,174
軟	さやえんどう	64	5	12,327
莢	えだまめ	150	12	5,727
類	スイートコーン	4,200	428	44,453
(5)	小計	4,503	456	74,681
(うちク!		— , <u>, , , , , , , , , , , , , , , , , ,</u>	<u> </u>	1,041,085
その他	<u>果菜~軟莢</u>	1,724	74	35,384
()	小計	1,724	74	35,384
	合計	36,610	8,022	1,667,021

1,667,021 kgの端数調整によ 資料:旭川市農政部<mark>り、2tずれている</mark>。

注)クリーン農産物(クリーン表示を行っている農産物)の生産額は内数 品目によっては、一部のみクリーン表示を行っているため、品目の合計生産額とは一致しない

工 農協直営農産物直売所の販売額	平成26年度
農産物直売所名	販売額
JAあさひかわ農産物直売所「あさがお永山店,神楽店」 JAたいせつ農産物直売所	124,296千円

5 果樹

(1) 概況

本市の果樹の生産は、神居古潭、西丘地区を中心とし、一部東旭川、富沢地区においても営まれている。

栽培面積は約58ha(旭川市農政部調)で、その大半がりんごとおうとうであり、その他なし等が生産されている。特に近年、りんごは消費し好の変化から品質の向上が大きな課題となり、良品質の果実が生産されるわい化栽培を積極的に推進し、有望品種の導入に取り組んでいる。

また、流通面では、共同販売体制の確立と地理的環境を生かし国道12号線沿いで観光販売、園地解放も実施している。

(2) 各資料

ア	品目別栽培面積	・生産量及び生産	額	平成26年度
	品目	栽培面積 (ha)	生産量 (t)	生産額 (千円)
	りんご	24	280	39,382
	おうとう	23	25	31,566
	なし	5	65	5,777
	その他	6	20	5,034
	計	58	390	81,759

6 花き

(1) 概況

本市の花き生産は、戦前から行われているが米の生産調整が本格化する昭和50年代以降は転作作物の一つとして水田農家によって取り組まれてきた。

そのような中で近年の厳しい農業情勢において、安定した花き生産を展開していくためには、消費者ニーズや市場の動向に適切に対応した産地づくりが強く求められており、旭川青果物出荷組合連合会においては、トルコギキョウを中心とした高品質切花の安定供給を目指した生産・集出荷体制の整備が進められている。

(2) 各資料

ア 平成26年度栽培面積及び生産額

区分	切花	花壇苗	合計
作付面積(ha)	11.5	0.4	11.9
生産額(千円)	72,694	5,952	78,646

資料:旭川市農政部

イ 平成26年度切花品名別生産額

<u> </u>	$\mathcal{L} = \mathcal{L} + $	
	品 名	生産額(千円)
1	トルコギキョウ	20,082
2	スターチス・シヌアータ	19,207
3	HBスターチス	6,397
4	スプレイギク	4,677
5	ヒメヒマワリ	3,843

注)生産額上位5品名

資料:旭川市農政部

ウ 花き栽培面積及び生産額の推移

_	プー化さ 栽培面積及び主産額の推移											
	年度	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
切	面積 (a)	1,100	1,423	1,251	1,113	1,288	1,200	1,016	1,067	937	852	1,148
花	生産額 (千円)	107,099	107,052	105,217	104,963	101,847	88,095	86,152	87,946	72,045	69,880	72,694
花痘	面積 (a)	80	97	72	58	10	40	44	71	61	57	38
壇苗	生産額 (千円)	28,189	45,648	28,962	56,123	8,997	8,283	7,255	8,658	7,417	6,944	5,952
計	面積 (a)	1,180	1,520	1,323	1,171	1,298	1,240	1,060	1,138	998	909	1,186
	生産額 (千円)	135,288	152,700	134,179	161,086	110,844	96,378	93,407	96,603	79,462	76,824	78,646

7 各事業(水稲・一般畑作・野菜・果樹・花き関連)

(1) 旭川農産物販売力向上対策事業

ア 始期 平成20年度

イ 事業内容

旭川の基幹作物である米をはじめ、野菜・花き等の高収益性の推進及び生産技術向上、消費 宣伝対策に対する支援を行い、産地の認知度・評価を高め競争力ある農業の振興を図る。

① 旭川米生産流通協議会負担金

「大雪山見て育ったの」をはじめとした旭川米の販売促進と高位平準化を目指して様々な 取組みを行う。

② 旭川野菜・花き生産拡大事業助成金(生産者育成対策)

野菜・花き・果樹生産の現況と振興方向を踏まえ、農業団体が取り組む野菜・花き・果樹の振興に係る生産者組織の育成強化に対して、助成金を交付する。

③ 市場開拓等助成金

旭川産農産物の認知度を高め、産地の確立を目指す農業団体に対して助成金を交付する。

- ④ クリーン農産物販売対策事業
- ⑤ 推進事務費

ウ 平成26年度事業実績

(実績額 1,191 千円)

① 旭川米生産流通協議会負担金

630 千円

② 旭川野菜・花き生産拡大事業助成金

433 千円

事業費	助成金	事業内容	事業主体
2,169千円	433千円	生産者育成等ソフト事業	旭川青果物 生産出荷協議会

③ 市場開拓等事業助成金

100 千円

٠.	1- 20 MILL ID IN 1845	757,74		1 1 2
	事業費	助成金	事業内容	事業主体
	1,074千円	100千円	市内量販店等での試食PR活動	旭川青果物出荷組合連合会

④ クリーン農産物販売対策事業

0 千円

⑤ 推准事務費

28 千円

· 工 平	成27年度事業計画	(予算額	2,132 千円)
1	旭川米生産流通協議会負担金		630 千円
2	旭川野菜・花き生産拡大事業助成金		500 千円
3	市場開拓等事業助成金		932 千円
4	クリーン農産物販売対策事業		17 千円
5	推進事務費		53 千円

才 市場開拓等事業助成実績(旭川市農業農村振興条例第5条適用分)

年度	対象種別	組織数	参加農家数	事業費(円)	助成額(円)
H6	畜産	4	8	6,832,600	2,019,000
H7	畜産	2	5	6,714,570	1,985,000
	農産	5		14,934,000	4,276,000
Н8	畜産	2	6	6,792,026	2,035,000
	農産	3	_	11,708,500	3,511,000
Н9	畜産	2	4	4,846,800	1,454,000
	農産	3	_	11,955,960	3,583,000
H10	農産	2	_	7,065,872	2,075,000
H11	農産	1	_	23,546,124	7,000,000
H12	農産	1	_	2,180,000	436,000
H13	農産	1	_	6,255,900	1,800,000
H20	農産	1	_	6,480,060	1,200,000
H21	農産	1	_	637,640	100,000
H22	農産	1	_	609,000	100,000
H23	農産	1	_	774,760	100,000
H24	農産	1		1,158,318	200,000
H25	農産	1	_	815,667	100,000
H26	農産	1	_	1,073,572	100,000

(2) 強い園芸産地づくり支援事業

ア 事業概要

施設園芸分野において「新たな省力技術の導入」とこれと「一体的に取り組む生産拡大」への支援により、本市の特色を活かした安全な農産物産地を確立するとともに産地の生産力減退に歯止めを掛け、国策や貿易自由化への影響を受けにくい足腰の強い園芸作物の産地として維持及び発展を図る。

- ① クリーン農業産地強化事業(始期 平成23年度) クリーン農産物認証取得支援,GAPプロジェクトチームメンバーとして参画
- ② 省力技術導入支援事業

生産者組織が導入する「省力に効果の高い資材等」及び「省力設備を備えた新設ハウス」 に支援することで野菜作付縮小に歯止めを掛け、増産の足がかりとする。

- ③ 露地野菜販路拡大モデル事業(始期 平成25年度) 市内学校給食,食品加工事業者向け露地野菜新規作付に対する交付金の交付。
 - ※新規就農者栽培ハウス導入支援事業は平成25年度から今こそ就農・新規参入者応援事業に移行。

イ 平成26年度事業実績

(実績額 887 千円)

① クリーン農業産地強化事業

857 千円

a 農業生産工程管理手法(GAP)の導入推進

事業費	助成金	事業内容	組織数
851千円	100千円	クリーン農業推進,GAP導入	1団体

b クリーン農産物生産体制整備支援

事業費	助成金	事業内容	組織数
2,862千円	600千円	クリーン農業推進、ハウス新設	1団体

c 施設園芸省力技術導入調査事業 157 千円

対象面積	交付金	事業内容	組織数
30a	30千円	食品加工事業者向け等露地野菜の新規作付に交付金を交付	1 団体

ウ 平成26年度事業計画

(予算額 52,900 千円)

0 千円

30 千円

① クリーン農業産地強化事業② 省力技術導入支援事業

52,400 千円

③ 露地野菜販路拡大モデル事業

② 露地野菜販売拡大モデル事業

500 千円

エ 野菜・花き生産拡大事業助成実績(旭川市農業農村振興条例第6条適用分)

年度	対象種別	組織数	参加農家数	事業費(円)	助成額(円)
H11	野菜・花き	1農協9組織	1,032	60,458,000	17,798,000
H12	野菜・花き	5農協8組織	952	99,147,000	25,223,000
H13	野菜・花き	3農協11組織	887	78,197,000	23,173,000
H14	野菜・花き	2農協8組織	960	47,500,000	9,346,000
H15	野菜・花き	4組織	896	17,532,000	3,459,000
H16	野菜・花き	1農協6組織	770	11,401,000	2,256,000
H17	野菜・花き	4組織	740	8,042,000	1,583,000
H18	野菜・花き	3組織	700	4,098,000	818,000
H19	野菜・花き	2組織	680	5,055,000	705,000
H20	野菜・花き	2組織	600	2,310,000	461,000
H21	野菜・花き	2組織	600	1,759,000	351,000
H22	野菜・花き	3組織	550	6,611,233	850,000
H23	野菜・花き	2組織	550	4,766,469	953,000
H24	野菜・花き	2組織	530	2,873,974	574,000
H25	野菜・花き	1 組織	500	1,479,389	295,000
H26	野菜・花き	1 組織	474	2,168,619	433,000

注)野菜・花き生産拡大事業は平成22年度から、生産者育成対策事業を旭川農産物販売力向 上対策事業にて運用。生産・栽培施設等導入事業は平成24年度で事業終了している。

資料:旭川市農政部

(3) あさひかわ米を粉で食べよう事業

ア 始期 平成22年度

イ 事業内容

旭川の主要農産物である米の消費拡大を図るため、米の新たな利用形態である米粉の日 常的な活用方法を提案し、市民への普及・定着を推進する。

- ウ 平成26年度事業実績 (実績額456千円)
 - ① 米粉出前教室事業 259千円
 - *米粉出前教室の開催 15回 参加者 261人 ② 米粉提供事業 101千円
 - - *公民館等の料理教室への提供 40回 参加者 907人
 - ③ 米粉PR事業 96千円
 - *イベント等でのPR 5回 参加者 274人

工 平成27年度事業計画 (予算額500千円)

- ① 米粉教室事業 283千円
- ② 米粉提供事業 159千円
- ③ 米粉PR事業 58千円

(4)環境保全型農業直接支援対策事業

ア 始期 平成23年度

イ 事業内容

栽培期間中における化学合成肥料,化学合成農薬の使用量を地域の慣行より5割以上低減し、さらにカバークロップなど環境保全に効果の高い営農活動や有機農業に取り組む農業者(平成27年度からは農業者の組織する団体等)に対し、その取組み面積に応じて交付金を支払い、当該取組みを支援することにより、農業の持続的発展と多面的機能の健全な発揮及び本市が推進しているクリーン農業の拡大を図る。

交付金の額は対象となる取組に応じて異なるが、本市で主に取り組まれているカバークロップ及び有機農業は8千円/10aとなっており、支払方法は、国負担分である交付金の1/2は市が支払うことになっている。

ウ 平成26年度事業実績 (実績額 3,427 千円)

① 環境保全型農業直接支払交付金 3,355 千円(うち一般1,677千円)

・取組農家数 6戸(3法人を含む)

·申請面積 8,709a

・交付面積 8,709a

② 市町村推進事業費 72 千円(うち一般0円)

·市町村推進事務費 72 千円

工 平成27年度事業計画 (予算額 9,924 千円)

① 環境保全型農業直接支払交付金 9,824 千円(うち一般2,456千円)

·取組団体数 2団体(取組農家数6戸)

·申請面積 13,180a

· 交付面積 13,180a

② 市町村推進事業費 100 千円(うち一般0円)

·市町村推進事務費 100 千円

※平成27年度からは、国の制度改正により、国費負担分も合わせて市から交付される。

(5) 田畑をまもる鳥獣被害総合対策事業

ア 事業内容

エゾシカ·キツネ等,有害鳥獣による農作物被害拡大防止のため,総合的な被害対策とともに,捕獲活動の円滑な推進を図る。

① 鳥獸農業被害対策事業(始期 平成6年度)

(一社) 猟友会旭川支部のボランティア精神に委ねた補助金政策から移行し、 平成26年度からは鳥獣被害防止特措法に基づく「旭川市鳥獣被害対策実施隊」 を結成し、市長が選任した隊員(非常勤職員)が中心となって、地域ぐるみの 実践的活動を担う事により、総合的かつ効果的にシカ・キツネの捕獲事業を推進 する。

② 鳥獣残滓回収事業(始期 平成25年度~) ハンターの負担軽減を図るため、実施隊が捕獲したシカ·キツネの残滓の収集· 運搬·処分業務を委託する。

イ 平成26年度事業実績 (実績額 5.094 千円)

① 鳥獣農業被害対策事業 4,230千円

・旭川市鳥獣被害対策実施隊員の活動報酬

・活動実績 シカ 873人キツネ 409人

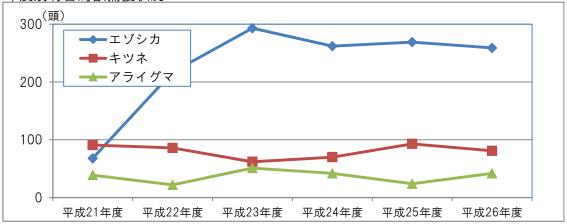
② 鳥獣残滓回収事業 864千円

ウ 平成27年度事業計画 (予算額 5,180 千円)

① 鳥獣農業被害対策事業② 鳥獣残滓収集事業4,355 千円825 千円

[参 考]

■年度別有害鳥獣捕獲状況



	エゾシカ			キツネ	マニノガラ
		夏期	冬期	イン ネ	アライグマ
平成21年度	68	68	_	91	39
平成22年度	217	86	131	89	22
平成23年度	293	102	191	62	51
平成24年度	262	68	194	70	42
平成25年度	269	77	192	93	24
平成26年度	259	118	141	81	42

資料:旭川市農政部

■平成26年度捕獲実績

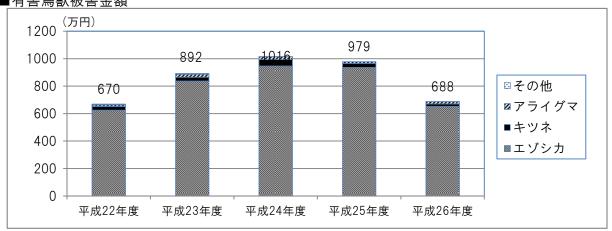
(頭)

		東旭川	あさひかわ	東神楽	たいせつ		it .
エゾシカ(夏期)	銃器	12	36	7	2	57	
エノノガ(复州)	わな	33	28	0	0	61	259
エゾシカ(冬期)	一斉捕獲		14	41		141	
キツネ	銃器	22	23	24	12	8	31
アライグマ	わな	9	32	0	1	4	-2

資料:旭川市農政部

(頭)

■有害鳥獣被害金額



	エゾシカ	キツネ	アライグマ	その他	合計	(万円)
平成22年度	625	27	12	6	883	
平成23年度	838	27	22	5	1,001	
平成24年度	947	47	22	0	1,005	
平成25年度	936	30	13	0	979	
平成26年度	653	18	17	0	688	

(6)中山間地域等直接支払事業

ア 始期 平成13年度

イ 事業概要

食料・農業・農村基本法第35条第2項に基づき、多面的機能の低下が特に懸念されている中山間地域等において、共同取組活動等を通じ、耕作放棄の発生防止と多面的機能の維持・確保を図るため、平成12年度からの5年間を第1期、平成17年度からの5年間を第2期、平成22年度からの5年間を第3期、平成27年度からの5年間を第4期として、平地地域との生産条件の格差の8割を直接支払する制度である。

本市においては当初,該当する地域はなかったが,平成13年4月に道知事が指定した 特認地域基準に該当する東鷹栖集落と,平成13年8月に集落協定を結ぶこととなった。

① 北海道知事が指定する特認地域

5法地域と地理的に接し、自然条件が連続する旧市町村内の地域に用排水路が介在し、それら区域において、営農の一体性が認められること。

② 対象農用地

対象地域内に存する農用地区域内に存する一団の農用地(1 ha以上のもの)であって、勾配が田で1/20(2.87度)以上、畑、草地及び採草放牧地で15度(1/3.73)以上の農用地基準を満たすもの。

- ③ 对象面積, 戸数, 協定参加者数
 - ·対象面積 4,780,105㎡
 - · 対象戸数 102戸
 - ·協定参加者数 382人
- ④ 共同取組活動の概要
 - ・集落の管理体制に係る活動 集落協定の管理等
 - ·農業生産活動等

農地保全対策 (耕作放棄防止対策)

水路・農道等の管理(畦畔崩落の修復、用排水路の清掃)

多面的機能を増進する活動

(田んぼアート推進,廃プラ・廃ビニール等適正処理等)

・農業生産活動等の体制整備

農用地等保全マップの実践(用排水路の補修)

生産性・収益の向上に係る活動(種籾温湯消毒奨励、高品質米調整、液剤防除)

・担い手育成

ほ場整備による農地流動化の活性化等

・その他

地図情報更新作業等

ウ 平成26年度事業実績	(実績額	100,507	千円,	うち事務費等	125 千円)
① 交付額		100,382	千円		
・国・道		66,921	千円		
・市		33,461	千円		
② 協定集落における交付金の配	分				
・共同取組活動等充当額		57,240	千円		
· 対象農用地管理者(102戸)	への配分額	43,142	千円		
工 平成27年度事業計画	(予算額	100,523	千円,	うち事務費等	140 千円)
① 交付予定額		100,383	千円		
・国・道		66,921	千円		
·市		33,462	千円		

(7) 畑作物ブランド化支援事業

ア 始期 平成24年度

イ 事業内容

畑作物の競争力強化を図るため、江丹別地域や西神楽地域の農業団体が行う、知名度向 上や販路拡大等の畑作物ブランド化への取組を支援する。

ウ 平成26年度事業実績 (実績額553千円)

① 畑作物ブランド化事業 553千円

地域	畑作物	取組内容	事業費	補助金額
江丹別	そば	そば祭りや実演講習会開催, 情報発信	567千円	282千円
西神楽	小麦	商品化支援や試食懇談会開催	584千円	271千円

(8)農産物等流通拡大支援事業

ア 始期 平成24年度

イ 事業概要

農産物の付加価値向上や流通の拡大を図るため、食品事業者と農業者のマッチング、 道外販路開拓、加工・販売施設等の整備事業等、農業者の取組を支援する。

① 実需連携推進事業

食関連事業者に対し、直接取引する意向をもつ農業者を紹介しマッチング等を行う。

② 加工·販売施設等整備事業

農業者等が自ら行う加工・販売施設等の整備に対して助成する。

③ 道外販路開拓支援事業

道外販路開拓に向けたPR調査を行うほか、農業者が自ら販路を開拓する取組に対し て助成する。

- ウ 平成26年度事業実績 (実績額 1.820 千円)
 - ① 実需連携推進事業

802千円

- · 「asahikawaくだもの×スイーツ」
- 10日間
- ・まちなか直売所 25回
- · 実需連携型商品開発等推進事業補助金 補助率1/2以内, 限度額100千円, 実績 0件
- ② 加工·販売施設等整備事業
- 192千円
- ·補助率 1/5以内, 限度額 1,000千円, 実績 1件 ③ 道外販路開拓支援事業

826千円

- ・ユジノサハリンスク道北物産展参加 1回
- · 道外販路開拓支援事業補助金

道外販路開拓事業 補助率 1/2以内, 限度額 200千円, 実績 2件 鹿児島山形屋北海道物産展参加

ユジノ道北物産展における加工品のPR

輸出促進事業 定額補助 限度額 200千円 実績1件

ユジノ市への果樹輸出(りんご300kg, 千両梨100kg)

工 平成27年度事業計画 (予算額 5,840 千円)

① 実需連携推進事業 1.040千円 ② 加工·販売施設等整備事業 4.000千円 ③ 道外販路開拓支援事業 700千円 ④ 農業の6次産業化検討会議 100千円

(9)果樹産地強化支援事業

ア 始期 平成25年度

イ 事業概要

生産者による果樹有望品種の育成や市民による消費拡大を推進し,旭川の果樹産地として の競争力や知名度を高めるため,黄色いりんごをはじめとする果樹の有望品種導入やそれに 伴う鳥獣被害防止施設設置を支援する。

また、生産者が行う販路拡大のためのPRイベント等の支援も併せて行う。

- ウ 平成26年度事業実績 (実績額2.894千円)
 - ① 特産果樹導入推進事業 2.792 千円
 - ・特色ある果樹の産地拡大を図るため、有望品種導入を支援 (1,802千円) 助成率:1/2以内 対象果樹:りんご(黄色品種、スィーツ向き品種、 基幹品種),小果樹等
 - 6者に対し計814本の苗木新植を支援
 - ・果樹の生産拡大のための鳥獣被害防止施設整備を支援 (978千円) 助成率:1/2以内 対象経費:防護ネット等 5者に対し柵,ネット等のべ1,880mの設置を支援
 - ・若手果樹生産者による果樹栽培技術向上への支援 (12千円) 助成率:100%(上限 30千円) 旭川市果樹協会青年部1名による全道果樹生産者研修会・果樹協会青年部夏季 研修会参加を支援
 - ② 旭川果樹ファンづくり支援事業 42千円 旭川フルーツフォーラムの開催など、生産者によるPR活動を支援
 - ③ 旭川市果樹協会補助金 51 千円 旭川市果樹協会の運営及び新たな労働力確保に向けた取組を支援
 - ④ 推進事務費 9 千円
- 工 平成27年度事業計画 (予算額3,000千円)
 - ① 特産果樹導入推進事業 2,826千円
 - ・特色ある果樹の産地拡大を図るため、有望品種導入を支援 (1,770千円) 助成率:1/2以内 対象果樹:りんご(黄色品種、スィーツ向き品種、 基幹品種)、小果樹等
 - ・果樹の生産拡大のための鳥獣被害防止施設整備を支援 (1,036千円) 助成率:1/2以内 対象経費:防護ネット等
 - ・若手果樹生産者による果樹栽培技術向上への支援 (20千円) 助成率:100%(上限 20千円)
 - ② 旭川果樹ファンづくり支援事業 60 千円 旭川産果樹の販路拡大のためのイベント等を支援
 - ③ 旭川市果樹協会補助金 80 千円 旭川市果樹協会の運営及び新たな労働力確保に向けた取組を支援
 - ④ 推准事務費 34 千円

(10)農業ヘルパー育成導入支援事業

ア 始期 平成27年度

イ 事業概要

農業団体が実施する「農業ヘルパー制度構築」のための支援を行い、農業分野における人 材確保・育成により労働力不足の解消を図ることで産地の維持・発展や意欲ある農家の規模 拡大を促進する。

ウ 平成27年度事業計画(予算額4,020千円)

8 畜 産

(1) 概況

ア 概況

本市の畜産は、限られた土地資源を有効に活用しながら、食生活の高度化、多様化に伴う需要の伸びを背景に、農家個々の経営は多頭数飼養への移行及び資質の向上等により充実しつつあるが、一方では、急激な国際化の進展や飼料価格高騰等に対応し得る更なる差別化された経営基盤の確立が求められている。

乳牛は、市内全体では一戸平均39頭の飼養規模であり、都市型の中小規模経営が多い。したがって、今後ともコスト低減に向けて飼養技術の向上を推進し、経営の充実を図っていかなければならない。

肉牛は、肥育経営とホルスタイン種肥育素牛育成経営が主体であるが、近年、収益性の高い 黒毛和種の繁殖経営を目指す取組が進んでいる。一部地域では法人による経営が行われ、この 傾向は今後とも続くものと考えられる。

養豚は、古くから道内の主産地として発展してきた。経営は優良系統豚の導入により能力の 高い種豚を備えた一貫経営が主体である。

養鶏は、採卵が中心で採卵鶏は約11万羽を数え、需要の動向に対応した計画的かつ安定的 な鶏卵の生産に努めている。

イ 畜産環境整備概況

「家畜排せつ物の管理の適正化及び利用の促進に関する法律」が施行(平成11年11月1日)され、本市においても、適正な管理に向けた取組強化期間の設定や堆肥舎等の整備を進めている。

なお、法律による整備を要する戸数(42戸)については整備済みである。

(2) 各資料

ア 家畜別飼養戸数及び飼養頭羽数

平成26年2月1日現在

		130		1 120 -	<u> </u>
区分	乳牛	肉牛	豚	鶏※	馬
戸数	22	20	11	2	38
頭羽数	867	2,226	19,591	113,724	194
一戸平均	39	111	1,781	56,862	5

注) 鶏は販売目的のもののみ

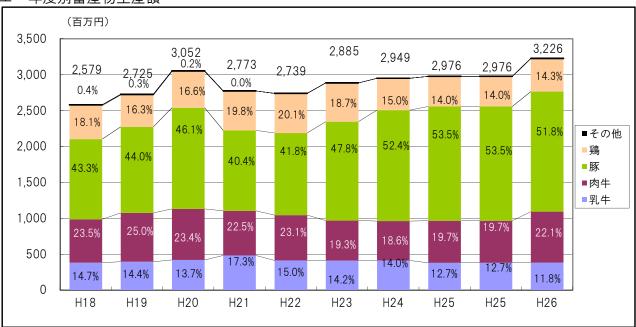
資料:旭川市農政部

イ 家畜	家畜別飼養戸数及び飼養頭羽数の推移								各	年2月1	日現在
		H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
	戸数	31	28	29	27	25	26	22	22	22	22
乳牛	頭数	1,328	1,264	1,230	1,130	1,084	1,102	990	922	882	867
	一戸平均	43	45	42	42	43	42	45	42	40	39
	戸数	18	20	22	22	22	22	23	20	20	20
肉牛	頭数	1,506	2,198	2,263	2,712	2,713	2,400	2,587	2,437	2,277	2,226
	一戸平均	84	110	103	123	123	109	112	122	114	111
	戸数	7	7	7	8	8	8	12	12	10	11
豚	頭数	18,157	18,629	20,246	20,523	20,507	18,217	24,100	24,449	23,309	19,591
	一戸平均	2,594	2,661	2,892	2,565	2,563	2,277	2,008	2,037	2,331	1,781
	戸数	5	5	5	4	3	7	6	4	3	2
鶏	頭数	162,850	162,825	162,451	162,538	162,080	144,835	160,632	111,247	121,338	113,724
	一戸平均	32,570	32,565	32,490	40,635	54,027	20,691	26,772	27,812	40,446	56,862
	戸数	43	39	37	36	41	43	43	43	38	38
馬	頭数	302	264	272	271	218	264	240	207	177	194
	一戸平均	7	7	7	8	5	6	6	5	5	5

ウ 年度別畜産物生産量

	年度	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
	乳牛(頭)	637	658	655	646	701	465	438	449	411	353
子	肉牛(頭)	80	70	74	90	1,335	1,510	1,244	946	842	800
畜生産	豚(頭)	3,160	3,569	3,348	4,965	4,578	4,417	4,523	4,499	4,476	2,497
産	馬(頭)	19	8	4	4		-	_	-	-	_
	初妊(ホル)(頭)	44	28	60	45	46	47	37	32	30	28
	生乳(t)	5,444	5,231	5,167	5,048	4,942	4,568	4,526	4,365	3,926	3,821
	乳牛(t)	389.8	529.1	596.4	502.5	192.5	170.9	356.9	486.6	458.1	469.8
枝	肉牛(t)	56.0	108.1	163.8	303.1	463.5	443.5	342.3	245.9	234.3	205.6
肉生	豚(t)	2,403.9	2,375.0	2,473.6	2,669.1	2,521.7	2,398.9	2,846.2	3,426.9	3,317.5	2,974.8
生産	馬(頭)	19	7	11	9		_				
	鶏(羽)	111,454	113,986	113,847	113,746	113,616	107,420	106,913	95,158	81,405	82,272
	鶏卵(t)	2,528.0	2,585.5	2,582.3	2,580.0	3,097.8	2,928.9	2,903.3	2,584.1	2,210.6	2,234.2

工 年度別畜産物生産額



	年度	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H25	H26
	乳牛	66	72	64	74	46	45	51	49	49	42
子	肉牛	28	37	17	70	90	86	76	94	94	108
台	豚	66	68	114	66	79	69	66	73	73	53
子畜生産	馬	5	2	2	_	_	_	_	_	_	_
	初妊(ホル)	11	22	16	22	22	17	15	14	14	12
	生乳	303	299	338	384	344	347	346	316	316	326
	乳牛	441	458	384	123	89	169	234	221	221	368
枝	肉牛	137	187	312	431	453	303	239	272	272	237
肉生	豚	1,051	1,130	1,294	1,055	1,065	1,309	1,480	1,519	1,519	1,618
生産	馬	5	7	4	_	_	_	_	_	_	
	鶏			_		_					_
	鶏卵	466	443	507	548	551	540	442	418	418	462
	計	2,579	2,725	3,052	2,773	2,739	2,885	2,949	2,976	2,976	3,226

資料:旭川市農政部

(3) 酪農

ア 概況

本市の酪農は、稲作などとの複合経営を基盤に発展してきたが、現在は、中小規模ながら 酪農専業の経営形態となっている。

経営の実態は、牛乳の消費低迷や配合飼料の価格高騰などにより厳しい情勢にあるが、乳 牛の資質向上や自給飼料の増産などを推進し、生産コストの引き下げに努めている。

平成27年2月1日現在 イ 乳牛の飼養状況

地区名	神居	江丹別	永山	神楽	東鷹栖	計
戸数	7	8	1	1	5	22
頭数	231	273	7	80	276	867
一戸平均	33	34	7	80	55	39

資料:旭川市農政部

各年12月末現在 年度別乳牛能力検定成績(年間1頭あたり平均)

							当たり			成果		
	実頭数	乳量	乳脂率	無脂固	濃飼	乳量	濃 飼	乳 代	購入	乳代一	乳飼比	飼料
年				形分率	給与量		給与量		飼料費	購入		効 果
									<i>4</i> = \$	飼料費	4- 4.5	
								(A)	(B)	(A-B)	(B/A)	
	(頭)	(kg)	(%)	(%)	(kg)	(kg)	(kg)	(千円)	(千円)	(千円)	(%)	
H17	334	8,763	3.85	8.84	2,509	27.9	8.0	604	97	507	16.0	3.5
H18	328	8,824	3.87	8.79	2,526	28.2	8.1	585	98	487	17.0	3.5
H19	380	8,746	3.92	8.73	2,510	27.6	7.9	581	103	478	18.0	3.5
H20	392	8,672	3.85	8.73	2,308	27.9	7.4	612	99	513	16.0	3.8
H21	402	8,976	3.8	8.74	1,360	28.5	4.3	681	59	622	9.0	6.6
H22	365	8,696	3.82	8.71	728	27.6	2.3	647	26	621	4.0	11.9
H23	356	9,137	3.85	8.73	3,368	29.2	10.3	691	57	634	20.0	3.1
H24	382	9,544	3.86	8.74	3,377	30.1	10.4	748	63	685	19.0	3.2
H25	371	9,155	3.94	8.73	2,866	29.6	8.6	735	16	719	19.0	3.9
H26	382	9,449	3.96	8.78	ж –	30.6	ж –	819	ж –	ж –	ж –	ж –

注) - (ハイフン) は平成26年度から検査成績の指標の変更により、統計せず

工 自給飼料

酪農経営において、飼料費は多額を占めていることから、生産コスト削減のためには、粗 飼料の自給率向上が重要となっている。

また、近年関心が高まってきている食の安全の面からも、安全性の高い自給飼料が求められ ている。

このため、市内の酪農家では良質な牧草を確保するため、経年により老朽化した草地の定 期的な更新などに努めており、市営牧場においても粗飼料が不足している酪農家へ生草の販 売を行っている。

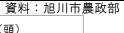
(4) 肉牛

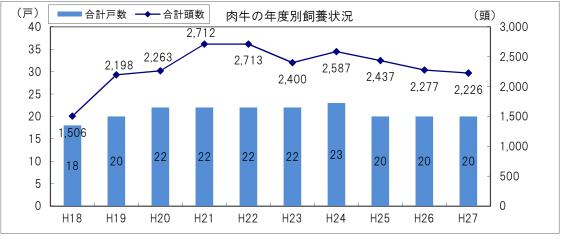
ア 概況

本市の肉牛経営は、飼養者の高齢化や担い手不足等から、戸数、頭数とも減少傾向にあったが、新規参入者の進出や肉牛経営以外の畜産農家による肉牛導入を目指す取組等により、 今後とも肉牛部門の充実に努めることとしている。

イ 肉牛の年度別飼養状況 各年2月1日現在

PS	T 07-	<u> </u>									-2月1	<u> 日現仕</u>
			H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
		戸数	_	_	_	_	_	_	1	1	1	1
		黒毛		_	_	_	_		100	92	87	75
神	頭	ホルスタイン	_	_	_	_	_	_	0	0	0	0
居	数	その他	_	_	_	_	_	_	1	0	0	0
		計	_	_	_	_	_	_	101	92	87	75
		一戸平均	_	_	_	_	_	_	101	92	87	75
		戸数	10	9	10	10	10	10	11	11	9	9
江		黒毛	126	119	142	142	142	163	176	270	168	187
丹	頭	ホルスタイン	445	463	447	447	450	449	810	322	250	265
別	数	その他	73	422	424	615	511	397	1	369	397	237
ניכ		計	644	1,004	1,013	1,204	1,103	1,009	987	961	815	689
		一戸平均	64	112	101	120	110	101	90	87	91	77
		戸数	3	4	4	4	4	5	5	4	5	5
東		黒毛	17	3	5	2	3	2	6	13	8	2
旭	頭	ホルスタイン	0	420	424	0	0	0	650	490	565	561
川	数	その他	96	89	104	848	897	928	286	282	262	295
711		計	113	512	533	850	900	930	942	785	840	858
		一戸平均	38	128	133	213	225	186	188	196	168	172
		戸数	2	3	4	4	4	3	2	2	3	3
		黒毛	62	62	71	82	127	96	35	36	39	53
神	頭	ホルスタイン	435	446	430	282	310	258	428	497	398	475
楽	数	その他	11	3	62	170	158	19	11	1	24	16
		計	508	511	563	534	595	373	474	534	461	544
		一戸平均	254	170	141	134	149	124	237	267	154	181
		戸数	3	4	4	4	4	4	4	2	2	2
東		黒毛	0	0	0	1	0	0	0	1	1	1
鷹	頭	ホルスタイン	231	135	130	73	87	80	82	58	65	58
栖	数	その他	10	36	24	50	28	8	1	6	8	1
123		計	241	171	154	124	115	88	83	65	74	60
		一戸平均	80	43	39	31	29	22	21	33	37	30
		戸数	18	20	22	22	22	22	23	20	20	20
		黒毛	205	184	218	227	272	261	317	412	303	318
合計	頭	ホルスタイン	1,111	1,464	1,431	802	847	787	1,970	1,367	1,283	1,359
計	数	その他	190	550	614	1,683	1,594	1,352	300	658	691	549
		計	1,506	2,198	2,263	2,712	2,713	2,400	2,587	2,437	2,277	2,226
		一戸平均	84	110	103	123	123	109	112	122	114	111





(5)養豚

ア 概況

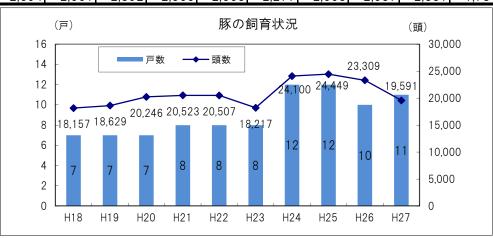
本市の養豚は、飼養者の高齢化という課題はあるものの、市場価格の堅調推移等経営環境の優位性から、飼養戸数・頭数ともほぼ横ばいで推移している。

経営の改善に向けては、計画的かつ効率的な種豚の導入を行い、種豚及び素豚の資質向上を 推進し、併せて環境衛生対策の構築に努めている。

1	豚の飼養状況	各年2月1日現在
---	--------	----------

100	4 1 EQ 1/1/1/U									<u> </u>	· [· /] [_
		H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
	戸数	1	1	1	1	1	1	3	3	3	3
神居	頭数	1,145	1,245	1,653	1,653	1,653	686	863	882	885	678
	一戸平均	1,145	1,245	1,653	1,653	1,653	686	288	294	295	226
	戸数	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2
江丹別	頭数	2,547	2,502	3,535	3,535	3,535	3,535	5,035	5,028	3,943	3,942
	一戸平均	2,547	2,502	3,535	3,535	3,535	3,535	2,518	2,514	1,972	1,971
	戸数	_	_	_	1		1	1	1	1	1
永山	頭数	_	_	_	2			2	2	-	3
	一戸平均	_	_	_	2			2	2		3
	戸数	3	3	3	3	4	4	4	4	3	3
東旭川	頭数	12,337	12,419	12,459	12,549	12,605	12,053	13,907	14,354	14,147	12,279
	一戸平均	4,112	4,140	4,153	4,183	3,151	3,013	3,477	3,589	4,716	4,093
	戸数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
神楽	頭数	2,128	2,463	2,599	2,784	2,714	1,943	4,293	4,183	4,334	2,689
	一戸平均	1,064	1,232	1,300	1,392	1,357	972	2,147	2,092	2,167	1,345
	戸数		_	_		_	_	_		_	_
東鷹栖	頭数		_	_			_	_	_	_	_
	一戸平均			_		_	_	_	_	_	_
	戸数	7	7	7	8	8	8	12	12	10	11
計	頭数	18,157	18,629	20,246	20,523	20,507	18,217	24,100	24,449	23,309	19,591
	一戸平均	2,594	2,661	2,892	2,565	2,563	2,277	2,008	2,037	2,331	1,781





(6) 家畜市場

ア 概況

公正な家畜取引と適正な価格形成の確保のため,本市には下記の家畜市場があり,市内畜産 の振興に大きく寄与している。

/ 市内家畜市場の開設状況

平成27年3月末現在

1 川内豕亩川场0	10 10 pt 1 10 1 10 1			平成2/午3月木現住
市場名	開設者	所在地	対象家畜	開催日
北海道中央地域 家畜市場	ホクレン 旭川支所	旭川市東鷹栖 5線10号	牛	・毎週水曜日 (祭日等に当たる場合は変更の 場合あり) ・第1火曜日 肥育市場 ・随時 一般市場

(7) 各事業

ア 旭川市営牧場管理費(指定管理者 江丹別産業・江丹別ファーム指定管理者グループ)

① 事業概要

旭川市営牧場において育成牛の預託放牧を行うとともに、牧草を畜産農家に供給することにより、飼料の自給率を高め、生産コストの低減を図り、酪農及び肉用牛経営の安定化を図る。

なお, 旭川市営牧場は, 平成22年度より指定管理者制度を導入し, 利用者のニーズに対する迅速な対応と民間の手法を用いた効率的な運営を図る。

② 市営牧場草地面積

444ha

- ③ 市営牧場平成26年度事業実績(実績額32,039千円)
 - a 放牧

放牧頭数 522頭(乳牛120頭,肉牛386頭,馬16頭)

放牧戸数 19戸

放牧期間 5月26日~10月17日,144日間

放牧期間増体重 65.5kg/頭 放牧頭数のうち授精実施牛 58頭 放牧頭数のうち受胎頭数 41頭

受胎率 70.7% 牧野衛生検査 1回

駆虫薬投与(線虫) 2回(牛全頭) 抗コクシジウム剤投与 3回(牛全頭)

b 生草販売

生草販売面積 60.27ha

販売農家数 5戸

- ④ 市営牧場平成27年度事業計画(予算額33.715千円)
 - a 入牧計画頭数

乳牛130頭肉牛395頭馬10頭計535頭

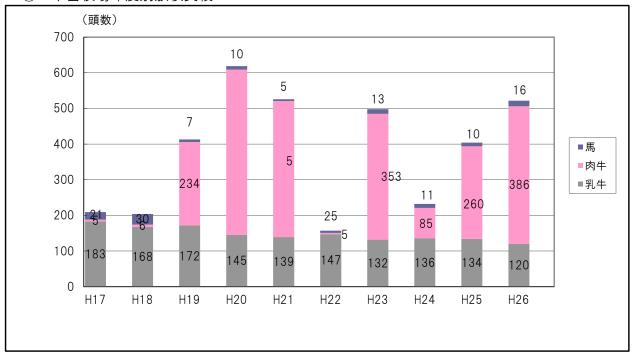
b 草地利用

放牧 238ha 採草 3.0ha 乾草 70ha

c 放牧・繁殖

放牧頭数 535頭 放牧日数 145日 授精予定頭数 80頭

⑤ 市営牧場年度別放牧実績



区分	放	牧	頭	数	放 牧 期 間	放牧日数	放牧利用	受胎率
年度	乳牛	肉牛	馬	合計			農家数	
H17	183	5	21	209	5/30~10/20	143日	24戸	80.3%
								(61頭/76頭)
H18	168	6	30	204	5/29~10/20	144日	20戸	72.9%
			_					(51頭/70頭)
H19	172	234	7	413	5/21~10/19	151日	25戸	58.3%
								(56頭/96頭)
H20	145	464	10	619	5/19~10/20	154日	22戸	73.8%
			_					(45頭/61頭)
H21	139	382	5	526	5/25~10/19	147日	19戸	89.4%
1100					5 /0.4 +0./+0			(59頭/66頭)
H22	147	4	6	157	5/24~10/18	147日	17戸	74.0%
1100	400	0.5.0		400	- /00 10 /17			(54頭/73頭)
H23	132	353	13	498	5/23~10/17	147日	18戸	85.2%
110.4	100	0.5		000	E /00 10 /10		10-	(52頭/61頭)
H24	136	85	11	232	5/28~10/19	144日	19戸	82.5%
	101	000	1.0	40.4	0 /0 10 /10	107-	10-	(52頭/63頭)
H25	134	260	10	404	6/3~10/18	137日	19戸	79.7%
1100	1.00	000	1.0	F00	F /00 10 /17	1115	40-	(51頭/64頭)
H26	120	386	16	522	5/26~10/17	144日	19戸	70.7%
								(41頭/58頭)

資料:旭川市農政部

9 林業

(1) 概況

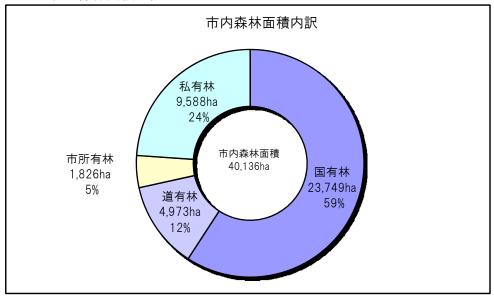
市内の森林面積は40,136haで,市行政面積74,760haに対して53.7%を 占めている。

その内訳は、私有林9、588ha、市所有林1、826ha、道有林4、973ha、国有林23、749haであり、全森林面積の59、2%が国有林で占められている。

森林が持つ公益的機能への要請にこたえ、林業総生産の増大を期するため諸制度を導入 し、私有林造成と近代的林業経営の推進を図っている。

(2) 各資料

ア 市内森林面積内訳



イ 造林

私有林について、木材生産を目的として森林施業を進め、良好な森林環境の維持を図る。

私有林の施業状況

(単位: h a)

年度	天然林改良	新植造林	下刈	除間伐
H24	7.72	24.62	180.10	323.76
H25	0	21.98	155.62	168.50
H26	0	47.96	119.21	74.72

ウ 林道

市が管理する林道11路線(延長29,740m)の整備補修を計画的に行うことにより,通行者の安全と森林施業の効率化を図っている。

林道の整備状況

区分	路線名	事業量				
年度	始禄石	内容	数量			
H24	富沢の森線	工事	W = 3.0 m L = 1,119 m			
H25	1	1	_			
H26	_	-	_			

工 治山

山地に起因する災害から,市民の生命・財産を守り,水源のかん養,生活環境の保全・ 形成を図る。

治山の整備状況

区分		事業概要							
年度	地先名	内容	数量						
H24	江丹別富原	保安林下刈り	14.50ha						
H25	江丹別富原	保安林下刈り	7.25ha						
H26	江丹別富原	保安林下刈り	7.25ha						

才 市有林

① 概況

市有林の総面積は 2,636.39haで旭川市内では江丹別,神居,東旭川地区 さらに当麻町に所有している。

② 現況

所在及び面積(経営計画)

平成26年3月現在

市有林所在地区	所在市町	面積(ha)
江丹別	旭川市	864.38
東旭川	旭川市	116.69
神居	旭川市	122.65
	1,103.72	
当麻 当麻町		1,532.67
合	2,636.39	

③ 市有林の施業状況

(単位: h a)

			(+ <u> </u>
施業名 年度	新植造林	下刈り	除間伐 (利用間伐含む)
H24	0.00	49.91	20.91
H25	0.80	51.19	59.92
H26	0.49	52.02	40.30

(3) 各事業

ア 森林整備対策事業

① 事業概要

b

民有林の生産性の向上と優良な森林資源の造成を図ることを目的として、造林 を推進する。

- ② 平成26年度事業実績(実績額 8.461千円)
 - a 森林整備対策事業(未来につなぐ森づくり推進事業)

循環利用タイプ 事業量 47.96ha 一般間伐 事業量 53.80ha

- ③ 平成27年度事業計画(予算額 9.435千円)
 - a 森林整備対策事業(未来につなぐ森づくり推進事業)

循環利用タイプ 事業量 40.00ha b 一般間伐 事業量 120.00ha

イ 明日のもり事業

① 事業概要

森林法第11条(森林経営計画)に基づき「旭川市森林経営計画」(平成25年2月~30年2月,5か年計画)を策定し、国土の保全、水源かん養等のほか二酸化炭素の吸収源として公益的な機能に配慮しつつ、持続的な森林経営による市民の緑の財産として望ましい森林の育成に努めている。

② 平成26年度事業実績(実績額 30.020千円)

52.02ha(江丹別, 当麻) 事業量 a 下刈 176.74km (江丹別, 東旭川, 神居, 当麻) b 作業道·防火線 事業量 40. 30ha (江丹別, 東旭川, 神居) c 間伐 事業量 0. 49ha (江丹別) d 新植造林 事業量 12.00ha(当麻) 分収林除伐 事業量 650m (江丹別) f 林業専用道測量 事業量

③ 平成27年度事業計画(予算額 65,348千円)

36.27ha(江丹別,東旭川,当麻) 176.74km(江丹別,東旭川,神居,当麻) 下刈 事業量 а b 作業道改良 事業量 c 作業道改修 事業量 3. 0km (江丹別) 0. 75ha (江丹別) d 支障木伐採·集材 事業量 31.75ha(当麻) 間伐 事業量 е 一式(当麻) f 森林調査 事業量 5.84ha (東旭川) g 新植造林 事業量

ウ 森林作業員就業条件整備事業

① 事業概要

北海道,森林作業員,事業主,旭川市が一定の掛け金等を負担し,森林作業員に就労日数に応じた奨励金を支給し,減少している森林作業員の就労の長期化,安定化を図る。

② 平成26年度事業実績(実績額 1,675千円)

市掛金単価(円/日) A	就労日数(日) B	負担額(円) A×B	作業員数(人)
80	1,526	122,080	10
95	1,077	102,315	6
110	776	85,360	4
125	886	110,750	4
140	8,957	1,253,980	36
計	13,222	1,674,485	60

③ 平成27年度事業計画(予算額 1,703千円)

市掛金単価(円/日) A	就労日数(日) B	負担額(円) A×B	作業員数(人)
80	2,640	211,200	17
95	896	85,120	5
110	800	88,000	4
125	868	108,500	4
140	8,638	1,209,320	35
計	13,842	1,702,140	65

工森林整備地域活動支援事業

① 事業概要

これまで個人中心の「点」による森林整備から、複数所有者による「面」での森林整備(集約化)への森林整備が移行することによって、適正な森林管理とともに作業コストの削減や原木の安定供給を国・道と一体となって推進する。

② 平成26年度事業実績(実績額 31,152千円)

a 作業路網の改良活動 事業量 5,695.55ha (27,130千円) b 施業集約化の促進 事業量 119.57ha (3,587千円)

③ 平成27年度事業計画(予算額 32.899千円)

a 集約化に向けた条件整備 対象面積 5,730ha (28,650千円) b 施業集約化の促進 対象面積 120ha (3,600千円)

才 林道整備事業 「林道富大線」

① 事業概要

「林道富大線」は豪雨により、沢の水が側溝からあふれて道路を横断するように流れ、路体を陥没、流出させた。このことにより通行ができず、森林保育等に支障を来すことや、入林する市民の安全確保に問題が生じる恐れがあるため整備する。

② 平成27年度事業計画(予算額 7,100千円)

10 農業農村整備

(1) 概況

農業農村整備事業は、農業生産の基盤と農村の生活環境の整備を通じて「農業の持続的発展」「農村の振興」「食料の安定供給」「多面的機能の発揮」の実現を図るための施策である。

水田で必要な農業用水を確保するためのダムや堰·用水路の建設·管理,営農条件を改善するための水田,畑の整備,農産物などを運搬するための農業用道路の整備,農村の環境整備など自然との共生を図りながら営まれている農業を支援する。

(2) 各事業

ア 国営緊急農地再編整備事業(地区調査)

- ① 始期 平成24年度
- ② 事業概要

耕作放棄地の解消・発生防止等により、優良農地を保全するとともに、担い手への農地の 効率的集積を促し、食料自給率の向上を図るため、農地の区画整理及び開畑等の基盤整備を 緊急に実施する。

- ③ 平成 26 年度事業実績(実績額 4,034 千円)
- ④ 平成 27 年度事業計画 (予算額 6,000 千円)

イ 農用地等集団化支援事業

- ① 始期 平成24年度
- ② 事業概要

道営土地改良事業の区画整理に伴う、換地作業の前段として、農地等状況調査及び合意形成促進等の実施により、農用地の集団化を促進する土地改良区に対して、国の実施する農山漁村活性化プロジェクト支援交付金を活用し、負担の軽減を図る。

- ③ 平成 26 年度事業実績(実績額 1,700 千円)
- ④ 平成 27 年度事業計画 (予算額 5,200 千円)

ウ 地力増強基盤整備事業

- ① 始期 平成25年度
- ② 事業概要

排水不良や石礫の多い農地等,生産性の低いほ場の条件を整備し,認定農業者への効率的な農地集積を促進するとともに,意欲ある小規模農家に対してもほ場条件の整備を図って,営農継続へ向けた支援を行うとともに,耕作放棄地の発生を防止し,生産性の高い地域営農体制づくりを進める。

- ③ 平成 26 年度事業実績(実績額 4,176 千円)
 - · 認定農業者対策事業 事業費 4,324 千円
 - · 小規模農家対策事業 事業費 0 千円
- ④ 平成 27 年度事業計画 (予算額 7,000 千円)
 - · 認定農業者対策事業 事業費 6,000 千円

- · 小規模農家対策事業 事業費 1,000 千円
- 工 国営造成施設管理体制整備促進事業 平成 27 年度事業費予算額合計 24,455 千円
 - ① 始 期 平成11年度
 - ② 事業概要

農業水利施設の有する多面的機能を発揮させるために、適切な管理体制を整備する取組を支援 し、農家負担の軽減を図り、地域農業の確立を目指す。

国営土地改良事業により造成した農業水利施設や付帯道営造成施設について,地域における多面的機能の発揮及び地域住民の施設管理への参画を促す観点から,土地改良区の施設管理に係る支援を行い高度な管理や,管理体制の強化を図る。

③ 受益面積

た(ハせ	つ地	1区	2,444 ha
旭	ЛI	地	区	1,904 ha
東	和	地	区	3,726 ha
永	Щ	地	区	1,196 ha
大	雪	地	区	1,196 ha
美	瑛丿	川地	区	976 ha
神	竜	地	区	71 ha

④ 平成 26 年度事業実績(実績額 23,930 千円)

たいせつ地区 7,344 千円 旭川地区 6,020 千円 東和地区 5,020 千円 永山地区 2,950 千円 大雪地区 456 千円 美瑛川地区 1,660 千円 神竜地区 480 千円

⑤ 平成 27 年度事業計画 (予算額 22,684 千円)

たいせつ地区 6,454 千円 旭川地区 6,020 千円 東和地区 5,100 千円 永山地区 2,950 千円 美瑛川地区 1,660 千円 神竜地区 500 千円

- オ 道営ほ場整備事業 平成 27 年度事業費予算額合計 112,974 千円
 - ① 畑地帯総合整備事業(担い手支援型)(就実地区)
 - 始期 平成25年度(~平成30年度)
 - · 事業概要

未整備地や整備要望地を整備することで,これまで整備してきた畑地かんがい施設,農道といった施設を有効活用し,安定収量の確保と高品質な農産物の生産により農業収入の安定

化を図る。

- · 受益面積 136ha
- · 受益戸数 14戸
- · 平成 26 年度事業実績(事業費決算額 117,401 千円(うち旭川市負担額 23,480 千円))
- ・ 平成27年度事業計画(事業費予算額 15,000千円(うち旭川市負担額 3,000千円))
- ② 畑地帯総合整備事業(担い手支援型)(千代ヶ岡地区)
 - · 始 期 平成26年度(~平成30年度)
 - 事業概要

合理的な輪作体系の確立や地区内農地の均一化及び生産向上のため、ほ場条件を改善し、畑 作物の振興や畑作経営の改善及び安定を図る。

- 受益面積 6 2 ha
- · 受益戸数 12戸
- ・ 平成 26 年度事業実績(事業費決算額 21,760 千円(うち旭川市負担額 4,352 千円))
- ・ 平成27年度事業計画(事業費予算額 20.000千円(うち旭川市負担額 4.000千円))
- ③ 経営体育成基盤整備事業(経営体育成型)(福寿地区)
 - · 始 期 平成25年度(~平成31年度)
 - · 事業概要

土地利用型農業のコスト低減,経営体体質の強化と担い手への農地の集積等を通じて地域農業の再編を図る。

- 受益面積 81ha
- · 受益戸数 22戸
- ・ 平成26年度事業実績(事業費決算額 200,944千円(うち旭川市負担額 20,094千円))
- ・ 平成27年度事業計画(事業費予算額 290,000千円(うち旭川市負担額 29,000千円))
- ④ 経営体育成基盤整備事業(経営体育成型)(忠別北地区)
 - · 始 期 平成25年度(~平成33年度)
 - · 事業概要

農業用水のパイプライン化などにより水管理の省力化とほ場の大区画化を図り、生産効率の向上を図る。

- 受益面積 217ha
- · 受益戸数 25戸
- ・ 平成 26 年度事業実績(事業費決算額 144,450 千円(うち旭川市負担額 14,549 千円))
- · 平成 27 年度事業計画(事業費予算額 320,000 千円(うち旭川市負担額 31,625 千円))
- ⑤ 中山間地域総合整備事業(えたんべつ地区)
 - · 始 期 平成26年度(~平成30年度)
 - · 事業概要

山間部に位置している農地は、地下水位が高く湿害が農作物の収穫に与える影響があること

など、農作業にも支障が起きているため、区画整理や暗渠排水を実施し、土地条件の改善や農 作物の品質向上及び収量の増加を図る。

- 受益面積 122ha
- · 受益戸数 18戸
- ・ 平成 26 年度事業実績(事業費決算額 10,947 千円(うち旭川市負担額 1,642 千円))
- ・ 平成27年度事業計画(事業費予算額 80,000千円(うち旭川市負担額 12,000千円))
- ⑥ 経営体育成基盤整備事業(経営体育成型)(兵村北地区)
 - 始期 平成27年度(~平成35年度)
 - · 事業概要

本事業で、土地条件の改善を図るため、区画整理による土地改良及び用排水施設のパイプライン化を実施し、農業生産性の向上を図る。

- · 受益面積 124.5ha
- · 受益戸数 38戸
- ・ 平成27年度事業計画(事業費予算額 227,000千円(うち旭川市負担額 26,219千円))
- カ 道営かんがい排水整備事業 平成 27 年度事業費予算額合計 408 千円
 - ① 水利施設整備事業(基幹水利施設保全型)(東神楽幹線地区)
 - 始期 平成26年度(~平成28年度)
 - · 事業概要

農業生産性の向上を図るため、老朽・破損した土水路の排水路及びコンクリートの破損が著 しい用水路の整備を実施し、高収益作物導入や計画的輪作体系を確立する。

- · 受益面積 1,645ha
- 受益戸数 254戸
- · 平成 26 年度事業実績(事業費決算額 646 千円(うち旭川市負担額 65 千円))
- ・ 平成 27 年度事業計画(事業費予算額 3,798 千円(うち旭川市負担額 380 千円))

キ 道営農道保全対策事業

- ① 農地整備事業(通作条件整備)(永山・東旭川地区)
 - 始期 平成23年度(~平成26年度)
 - · 事業概要

舗装修繕等により維持管理費の節減を図るとともに、適正な工法により整備することでライフサイクルコストの低減及び施設の長寿命化を図る。

- · 受益面積 203ha
- · 受益戸数 54戸
- · 平成 26 年度事業実績(実績額 82,436 千円(うち旭川市負担額 18,548 千円))
- ク 道営水利施設整備事業 平成 27 年度事業費予算額合計 13,786 千円
 - ① 水利施設整備事業(基幹水利施設保全型)(神居地区)
 - · 始 期 平成26年度(~平成30年度)

事業概要

ダムの水管理制御設備や付帯施設更新を行い、機能の回復と長寿命化を図る。

· 受益面積 1,030ha

· 受益戸数 101戸

・ 平成 26 年度事業実績(実績額 1,357 千円(うち旭川市負担額 1,357 千円))

· 平成 27 年度事業計画(事業費予算額 60,000 千円(うち旭川市負担額 13,500 千円))

ケ 基幹水利施設管理事業 平成 27 年度事業費予算額合計 54,763 千円

① 始 期 平成10年度

② 事業概要

農業用水の安定供給,農村地域の防災,環境保全機能を有する基幹的な農業水利施設の機能を 発揮させるため,適正な管理を図る。神居ダム,ペーパンダムは,農業生産基盤の中核を成す重 要な施設であり,地域農業の展開を図る上でも,施設の適切な管理による的確な用排水管理を図 る。

③ 受益面積(平成26年4月現在)

神居ダム 1, 011ha

ペーパンダム 1, 034ha

④ 受益戸数(平成26年4月現在)

神居ダム 131戸

ペーパンダム 178戸

⑤ 平成 26 年度事業実績 (実績額 46,856 千円)

神居ダム 26,152 千円

ペーパンダム 20,704 千円

⑥ 平成 27 年度事業計画 (予算額 54,763 千円)

神居ダム 31,592 千円

ペーパンダム 23,171 千円

⑦ 農業用ダムの概要

水田や畑地のかんがい用の水源確保を目的に造成された農業用ダムとして, 江丹別ダム, 新区画ダム, ペーパンダム及び神居ダムがあり, また多目的ダムとして, 大雪ダムと忠別ダムがある。

農業用ダム事業概要

ダ ム 名	江丹別ダム	新区画ダム	ペーパンダム	神居ダム	大雪ダム	忠別ダム
受益面積(ha)	295	2,106	1,070	1,030	農業 17,806	農業 21,400
受益戸数(戸)	133	715	285	173	(多目的)	(多目的)
有効貯水量(m)	886,400	5,233,000	3,220,000	3,900,000	54,700,000	79,000,000
ダム型式	アースダム	アースダム	ロックフィルダム	重力式コンクリートダム	ロックフィルダム	複合型ダム
堤 高 (m)	17.4	32.3	49.2	40.4	86.5	86.0

堤 長(m)	220	274.7	312.5	143.2	440	885
堤 体 積(m)	114,300	482,000	719,000	65,000	3,874,000	9,444,000
事業費(千円	366,530	3,846,007	20,002,420	19,406,253	14,700,000	163,000,000
調査期間	昭 36~38	昭 26~32	昭 43~47	昭 45~50	昭 40~42	昭 52~58
全計期間	昭 39	昭 33~36	昭 48~50	昭 51~54	_	_
工事期間	昭 40~48	昭 37~49	昭 51~平 9	昭 55~平 9	昭 43~49	昭 59~平 18
受益地域	旭川市	旭川市 美瑛・東神 楽町	旭川市	旭川市	旭川市ほか6町	旭川市ほか2市3町

注)表内の数値は、各ダムの完成当初の数値である

口 土地改良償還金対策事業

① 始 期 平成11年度(~平成26年度)

② 事業概要

土地改良事業の償還金の負担を軽減するため、資金融資制度を創設し金利負担を軽減することにより、農家経営の安定を図る。

資料:旭川市農政部

- · 貸付金利 年1.75%
- · 償還期間 16年以内(据置期間1年)
- ③ 平成 26 年度事業実績

. 貸付先 東神楽農協. 貸付承認額 2,096千円. 市預託原資 1,133千円

サ 多面的機能支払事業

平成 27 年度事業費予算額合計 379,798 千円

- ① 始 期 平成19年度
- ② 事業概要

農業者が行う、農業生産を営むために不可欠で基礎的な保全活動を支援する農地維持支払と、地域住民で行う地域資源の質的向上を図る共同活動を支援する資源向上支払で構成される。さらに資源向上支払では水路や農道の改修・更新を行う長寿命化活動についても支援する。

③ 平成 26 年度事業実績

[農地維持及び資源向上]

· 活動組織数 2 1 組織

· 対象農用地面積 9,621.26ha

・ 実績額308,695千円(うち旭川市負担額 77,174千円)

「資源向上(長寿命化)]

· 活動組織数 7組織

· 対象農用地面積 862.34ha

· 実績額 43,980千円(うち旭川市負担額 7,330千円)

④ 平成 27 年度事業計画

[農地維持]

· 活動組織数 28組織

· 対象農用地 10,624.00ha

· 予算額 214, 210千円

[資源向上]

· 活動組織数 28組織

· 対象面積 10,596.44ha

· 予算額 132,347千円

「資源向上(長寿命化)]

· 活動組織数 7組織

· 対象面積 862.34ha

・予算額 29,320千円 (農家負担分除く)

- シ 国営土地改良事業 平成 27 年度事業費予算額合計 17,973 千円
 - ① 共栄近文地区及び忠別地区の事業完了に伴う地元負担金償還金 「共栄近文地区」

· 予算額 2,560 千円

・償還期間 平成11年度~平成27年度

「忠別地区〕

· 予算額 15.413 千円

- 償還期間 平成18年度~平成32年度

- ② 当麻永山用水地区
 - · 始 期 平成24年度(平成25年度(着工)~平成33年度(完了予定))
 - 事業概要

大雪頭首工の老朽化,幹線用水路の凍上害等による劣化が進行し,早急に老朽化による機能低下が懸念される大雪頭首工及び幹線用水路の改修を行いかんがい用水の安定供給,維持管理の軽減等を図る。

- · 受益面積 3,591ha
- ・ 受益戸数 582戸
- · 平成 26 年度事業実績 (工事費 1,122,376 千円)
- ・ 平成 27 年度事業計画(工事費 1,070,000 千円) 工事費は事業完了後に地元負担金として償還する。
- ス 飲雑用水施設整備事業 平成 27 年度事業費予算額合計 3,080 千円
 - ① 施設及び事業の概要

農政部所管の水道施設は、農村地区における農業者への安全·安心な生活用水の供給と家畜用水等への利用による営農の促進を行うため、国や道の開墾建設事業、開拓地整備事業などで整備

し、完了後は旭川市に譲与された。安全で清浄な水道水の供給のため、飲雑用水施設の維持管理 に伴う修繕工事を実施する。

飲雑用水施設の概要 (H27.4.1 現在)

施設名	共栄地区 専用水道施設	神華地区飲料水供給施設	春日地区 飲料水供給施設	春志内地区 飲料水供給施設	新開地区 飲料水供給施設	共有地地区 飲料水供給施設
所在地(地区)	神居町共栄	神居町神華	江丹別町春日	神居町春志内	西神楽南 13 号	西神楽南 15 号
設置年度	昭 33	昭 28	昭 36	昭 39	昭 36	昭 40
	平元(改築)	昭 58 (改築)	昭 51 (改築)	昭 45(改築)	昭 61 (改築)	昭 56(改築)
給水戸数(戸)	65	15	19	1	19	10
浄水処理方法	急速ろ過処理	緩速ろ過処理	緩速ろ過処理	緩速ろ過処理	急速ろ過処理	緩速ろ過処理
給水能力(m³/日)	210	59. 8	71. 7	56. 3	160	15
原水の種類	伊野川河川表流水	ポン雨紛2号川 河川表流水	鱒取川 河川表流水	神居第1線川河川表流水	新開 1 5 号川 南 1 3 号川 河川表流水	共有地沢川
給水区域	神居町共栄	神居町神華	江丹別町春日	神居町春志内	西神楽南 13, 14, 15 号 (新開地区)	西神楽南 16,17号 (共有地地区)

- ② 平成 26 年度事業実績(実績額 2,993 千円)
- ③ 平成 27 年度事業計画 (予算額 3,080 千円)

11 その他

- (1) 小水力発電導入調査支援事業
 - ① 始期 平成25年度(~平成27年度)
 - ② 事業概要

農業用水路を利用した小水力発電による再生可能エネルギーの推進のため、小水力発電施設の 導入の調査・検討を行う土地改良区等を支援する。

- ③ 平成 26 年度事業実績(実績額 50 千円)
- ④ 平成27年度事業計画(予算額 50千円)

Ⅳ 都市と農村の交流

1 グリーン・ツーリズム

(1) 概況

近年,都市住民の農村に対する関心は非常に高く,農村地域を訪れる都市住民が増加している。本市においては,平成18年から行っている統計でも,毎年40万人前後の都市住民が農村地域を訪れており,その注目度の高さが伺える。当初は,日帰りの施設訪問や農業体験が中心であったが,農家に宿泊しながらの農作業体験を通じ,農村地域に親しみたいというニーズが高まってきており,一般の観光旅行や修学旅行など新しい旅行形態として定着してきている。

こうした都市住民の農村訪問は、農業者のグリーン・ツーリズムの取組を促し、農業者の所得向上や農村地域の活性化、さらに農業・農村に対する理解を深めるとともに、国内の食料自給率向上につながると考えている。

このように本市では、農家民泊や農家レストラン・直売所など農業者が取り組むグリーン・ツーリズム施設計画の認定や農家民泊許可申請手数料の助成など各種支援に努め、農業者の取組を拡大する積極的な事業を展開するほか、市民が親しむことができる農業関連の市有施設の充実を図る。

(2)各資料

ア 都市農村交流人口の推移



注)都市農村交流人口とは、各農村センターや21世紀の森等の市有施設及び農業者が設置する直売 所等の入込者数、市で実施する農業体験イベント、農業者による農作業体験受入者数を合計したもの 資料:旭川市農政部

イ グリーン・ツーリズム施設計画認定件数



地区	神居	江丹別	永山	東旭川	神楽	東鷹栖	総数
年度							
H 1 7	1	0	0	1	0	0	2
H 1 8	2	0	1	1	0	1	5
H 1 9	0	0	0	0	0	0	0
H 2 0	1	0	0	1	0	2	4
H 2 1	3	1	5	1	0	4	14
H 2 2	0	0	0	3	0	1	4
H 2 3	1	0	0	1	0	0	2
H 2 4	1	0	1	1	0	0	3
H 2 5	2	0	0	1	0	0	3
H 2 6	0	0	0	1	0	0	1
計	11	1	7	11	0	8	38

注)グリーン・ツーリズム施設計画認定とは、農業者等による施設整備計画を、農村滞在型余暇活動機能整備計画(旭川市計画)に合致すると認定することにより、市街化調整区域におけるグリーン・ツーリズム施設整備を円滑に進めるものである

資料:旭川市農政部

ウ 農家民泊旅館業許可取得件数

(単位:件)

地区 年度	神居古潭	江丹別	永山	東旭川	西神楽	東鷹栖	神居	総数
H 2 0	0	0	0	0	0	3	0	3
H 2 1	5	4	5	11	1	4	0	30
H 2 2	0	0	0	1	2	0	0	3
H 2 3	0	0	0	0	0	0	1	1
H 2 4	2	0	0	0	0	0	0	2
H 2 5	2	0	0	1	0	0	0	3
H 2 6	0	0	0	0	1	0	0	1
計	9	4	5	13	4	7	1	43

注)農家民泊旅館業許可取得とは、農林漁家民宿業としての規制緩和を受けて旅館業(簡易宿所営業)許可を 受けたものを言う

資料:旭川市農政部

工 修学旅行宿泊実績

יארוז ומיום אויי		
年度	校数	人数
H 2 0	1	10
H 2 1	12	410
H 2 2	12	326
H 2 3	17	437
H 2 4	17	384
H 2 5	17	354
H 2 6	14	362

資料:旭川市農政部

才 市民農園開設状況

平成26年6月現在

7 中氏辰图册政认从		十成乙廿十八万坑任
市民農園名	開設場所	設置区画数
花菜里ランド体験農園	神居町雨紛	16㎡ 108区画
若者の郷市民農園	江丹別町清水	30㎡ 55区画 100㎡ 10区画
ふれあい体験農園セフティ	永山町9丁目	49.5㎡ 162区画
せせらぎ農園	永山7条18丁目	49.5㎡ 73区画
旭川発信ランド桜岡体験農園	東旭川町桜岡	33㎡ 98区画
ピルカノ市民農園	神居町富沢	150㎡ 6区画
くららファーム	神居町富沢	47.5㎡ 10区画 30㎡ 1区画
つどい農園	神居町富沢	108㎡ 5区画 100㎡ 1区画 94㎡ 1区画
木下農園	東鷹栖3線10号	80㎡ 57区画 350㎡ 18区画
公月農場	神居町共栄	30㎡ 7区画 36㎡ 1区画 40㎡ 2区画 50㎡ 23区画 55㎡ 1区画

資料:旭川市農政部

(3)各事業

ア グリーン・ツーリズム推進事業

① 始期 平成15年度

② 事業概要

都市と農村の交流を通じて、都市住民の農業・農村に対する理解促進を図る。 また、グリーン・ツーリズム関連ビジネスを育成・支援し、農村地域の活性化と農業経 営の多角化による農業所得の向上を図る。

a グリーン・ツーリズム推進事業

農業者が取り組む都市・農村交流施設の整備計画に係る相談窓口を設け、農業経営の多角化を支援する。また、グリーン・ツーリズムに関する協議・検討の場を設け、 農業者間・地域間ネットワークを構築する。

b グリーン・ツーリズム資金融資事業

都市住民が自然と触れ合えるグリーン・ツーリズム関連施設の充実を図るため、農業者自らが取り組む直売所や農家レストラン等の施設整備に係る資金について利子補給を講ずる。

c 農家民泊推進事業

都市住民に対する農業への理解を促進し、農村地域の活性化を図るため、旭川グリーン・ツーリズム推進会議を通じて、農家民泊受入体制整備に係る農業者への各種支援を行うとともに、修学旅行等教育旅行の受入を推進する。

d 市民農業ふれあい事業

食料・農業・農村への市民の理解を深めてもらうため、農作業体験等を通して都市 住民と農業者の交流を図る「旭川市民農業大学」及び「子ども農業体験塾」を実施す る。

- e 市内小中学校農作業体験モデル事業
- 市内小中学生の農業理解を促進するため、市内小中学校が実施する農作業体験に対する支援をする。
- ③ 平成26年度事業実績(実績額 1.361千円)
 - a グリーン・ツーリズム推進会議負担金 635千円
 - ·農家民泊実施支援 旅館業許可取得申請手数料補助 1件
 - ・情報紙「きてみて☆農村life」 2回発行, 各3,000部
 - ・グリーン・ツーリズム施設PRマップ 3,000部増刷
 - ・農村探検隊バスツアー開催 1回開催
 - ·市内小中学校農作業体験支援 3 校, 152 名体験
 - b グリーン・ツーリズム資金利子補給金 128千円 既往貸付残高に対する利子補給 3件 (H18年度1件、H19年度1件、H22年度1件)
 - c市民農業ふれあい事業598千円旭川市民農業大学参加者20名, 受入農家5戸子ども農業体験塾参加者24名, 受入農家3戸

④ 平成27年度事業計画(予算額 2,175千円)

a グリーン・ツーリズム推進事業294千円b グリーン・ツーリズム資金融資事業202千円c 農家民泊推進事業118千円d 市民農業ふれあい事業868千円e 市内小中学校農作業体験モデル事業693千円

イ 江丹別若者の郷活性化対策事業

① 始期 平成26年度

② 事業概要

江丹別地域の交流人口拡大の中核施設として昭和61年に整備された「江丹別若者の郷」の活性化を図るため、地域住民等から構成される若者の郷活性化協議会にて施設活性化策を協議するとともに、周辺環境整備等を実施する。

- ③ 平成26年度事業実績(実績額 3.004千円)
 - a 若者の郷活性化協議会の設置 36千円 施設活性化策を協議するため、地域住民等から構成される若者の郷活性化協議会 を新たに設置した。
 - b 若者の郷周辺環境整備調査事業 1,253千円 道路沿いに多数の枯死樹木が存在し、年々倒木事故の危険が高まる江丹別イチイ 並木への本市対応策を判断するため、樹木医による樹木診断を実施した。
 - c 若者の郷集客機能向上事業 1,715千円 利用者ニーズが高く,集客力が弱い季節の集客増及び通年の施設利用者増が期待 できる機器の導入等を実施した。 自動麹発酵機(新規),油圧式搾り機(新規),全自動製氷機(取替)
- ④ 平成27年度事業計画(予算額 11,986千円)

a 若者の郷活性化協議会の開催52千円b 若者の郷周辺環境整備事業4,934千円c 若者の郷集客機能向上事業7,000千円

2 各施設

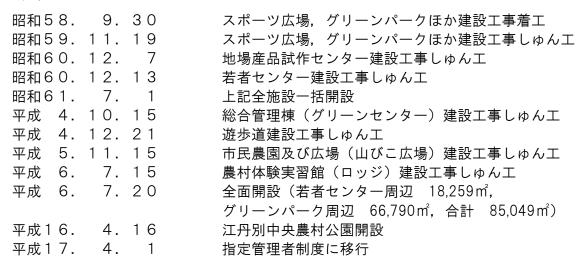
(1) 旭川市江丹別若者の郷

(指定管理者:江丹別産業開発(株))

ア 所在地 旭川市江丹別町中央 (清水及び芳野の一部を含む)

イ 目的 山村地域における若者の定住を促進 することを目的とする。

ウ 沿革



年度	導入事業名	事業内容
S58~60	山村地域若者定住環境整備モデル事業	若者センター 地場産品試作センター 多目的スポーツ広場 グリーンパーク(キャンプ場)
H2~6	農業農村活性化農業構造改善事業	総合管理棟(グリーンセンター) 市民農園 山びこ広場 農村体験実習館(小型ロッジ)
H 4 ~ 5	美しいむらづくりモデル地区整備事業	遊歩道 農村体験実習館(大型ロッジ)
H12~16	道営中山間地域総合整備事業	江丹別中央農村公園

エ 施設の概要

① 若者センター

建築面積	延床面積	構造				
447. 39 m²	742.4m²	鉄筋コンクリート造2階建				
1	階	2 階				
408.	2 8 m²	334.26 m²				

	室名	面積 (㎡)	収容 人員 (人)		室名	面積 (㎡)	収容 人員 (人)
1階	ホール	133.7	130	2階	研修室(A)	49.2	45
	図書資料室	28.2	20		研修室(B)	49.2	45
	厨房	19.6			研修室(C)	24.1	25
	事務室	22.6	_		研修室(D)	23.5	25
	その他	204.1	_		その他	188.2	_

② 地場産品試作センター

<u> 2 地場座叫政トピンス</u>	
延床面積	構造
1 8 4 m²	鉄骨造平屋建

室名	面積 (㎡)	収容 人員 (人)	室名	面積 (㎡)	収容 人員 (人)
農産加工室	51	15	事務室ほか	46	_
畜産加工室	87	10			

- ③ スポーツ広場
 - a 全天候型舗装テニスコート 3面
 - b 球技場

1面

- ④ グリーンパーク
 - a 総合管理棟(グリーンセンター)

181. 44 m²×1棟

- b キャンプサイト 27面
- c 市民農園

8, 235 m²

大区画

100㎡×10区画

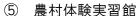
· 小区画

30㎡× 55区画

d 山びこ広場

7, 928 m²

e 遊歩道 ほか



- a 大型ロッジ(定員12名) 63.18㎡×1棟 b 小型ロッジ(定員 5名) 40.50㎡×3棟
- ⑥ 江丹別中央農村公園
 - 旭川市江丹別中央104番地1 a 所在地
 - b 沿革 着 工 平成13. 9.21

しゅんエ 平成16. 1.15

- 開 園 平成16. 4. 16
- 6, 148 m² 面 積 С
- 施設 四阿1棟, 駐車場491㎡, 照明2カ所, 花壇2カ所, d

園路298m,水車1基

53,036千円 e 建設費

> ~財源内訳 道費 34,179千円

一般財源 18,857千円



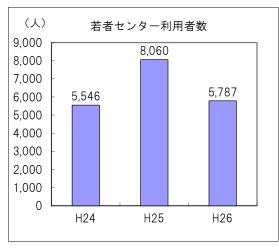
才 建 設 費 633,681千円

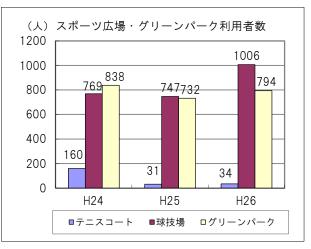
· 財源内訳 道補助金 240,363千円

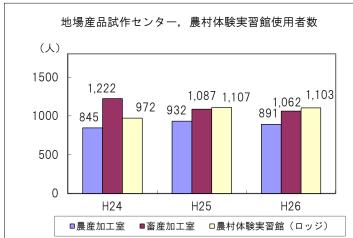
市 債 169,400千円

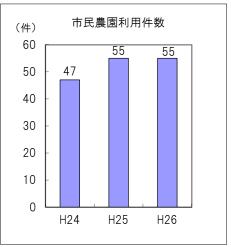
一般財源 223,918千円

力 利用状況









区分	年度		H2	24	H2	25	H2	26
运 为		項目	利用団体数	利用者数	利用団体数	利用者数	利用団体数	利用者数
若者	センター	_	263	5,546	842	8,060	379	5,787
スポーツ	テニス	ـــ ا	10	160	5	31	6	34
広場	球技場		78	769	62	747	117	1006
グリ-	-ンパー	ク	58	838	43	732	54	794
地場産品試	農産加工	工室	196	845	215	932	213	891
作センター	畜産加工		200	1,222	184	1,087	175	1,062
農村体験実	習館(口	コッジ)	177	972	199	1,107	207	1,103
市	民農園		47	_	55	_	55	_

キ 使用時間 午前9時~午後9時 (宿泊及びグリーンパークの利用の場合を除く。)

ク 休 日 12月30日から翌年の1月4日まで

(2) 旭川市西神楽農業構造改善センター (所管:市民活動課)

ア 所在地 旭川市西神楽南2条3丁目249番地の26

イ 目的

農村地域における生産及び社会活動を支援し、 並びに農村と都市との交流の促進を図り、 もって本市の農業の振興に資することを目的とする。

ウ 沿革

着 エ 平成元. 6.30 しゅんエ 平成2.8.7 開 館 平成2.10.10



工概要

- ① 敷地面積 3,791㎡
- ② 延床面積 1,352㎡
- ③ 構 造 鉄筋コンクリート一部鉄骨造平屋建
- ④ 施設内容 ホール(417㎡),講堂(151㎡),図書室(61㎡),和室(44㎡),研修室(56㎡),調理実習室(98㎡),その他(525㎡)

才 建設費 386,743千円

·財源内訳 道補助金 90,386千円

市 債 173,600千円 一般財源 122,757千円

区分	年度	H2	24	H2	25	H2	26
区別	項目	回数(回)	人数(人)	回数(回)	人数(人)	回数(回)	人数(人)
ホール		623	9,862	705	11,552	696	10,613
研修室(和)		142	1,392	230	2,192	230	2,336
研修室(洋)		405	3,503	434	3,945	405	3,964
講堂		518	10,747	556	11,677	631	13,069
調理実習(加工)室	347	1,847	331	1,825	346	1,673
図書室		229	4,538	228	4,356	229	4,301
計		2,264	31,889	2,484	35,547	2,537	35,956

(3) 旭川市東旭川農村環境改善センター (所管:市民活動課)

ア 所在地 旭川市東旭川町上兵村544番地

イ 目的

農村地域における生産及び社会活動を支援し, 並びに農村と都市との交流の促進を図り, もって本市の農業の振興に資することを目的とする。

ウ 沿革

着 エ 平成元. 6.30 しゅんエ 平成2.11.25 開 館 平成2.11.30



工 概要

- ① 敷地面積 20,543㎡
- ② 延床面積 1, 152㎡(専用927㎡,公民館共用部分225㎡)
- ③ 構 造 鉄筋コンクリートー部鉄骨造平屋建
- ④ 施設内容 ホール(548㎡),研修室(和)(89㎡), 研修室(洋)(49㎡),調理実習室(加工)(89㎡), その他(377㎡)
- ⑤ 建設費 385,637千円
 - · 財源内訳 道補助金 150,283千円 一般財源 235,354千円
- ⑥ ふれあい兵村公園
 - a 所 在 地 旭川市東旭川町上兵村(東旭川農村環境改善センター敷地内)
 - b 沿 革 着 エ 平成3. 9. 9 しゅんエ 平成3. 11. 15

開 園 平成4. 6.21

- c 面 積 6,021㎡
- d 施 設 多目的広場 (ゲートボール場 3 面) , 見晴台, 遊水路,

テーブル,ベンチ

- e 建設費 31,000千円
- 財源内訳 国庫補助金 15,000千円一般財源 16,000千円

⑦ 利用状況

区分		年度	Ηź	24	H2	25	H2	26
	J.	項目	回数(回)	人数(人)	回数(回)	人数(人)	回数(回)	人数(人)
研修室	和	室	341	5,570	410	7,242	417	5,560
训修主	洋	室	348	4,126	375	5,212	295	3,728
調	理実習室		395	2,091	418	2,596	330	2,374
	ホール		737	21,833	728	21,932	768	30,094
1	植物広場		0	0	0	0	0	0
	計		1,821	33,620	1,931	36,982	1,810	41,756

(4) 旭川市旭正農業構造改善センター (所管:市民活動課)

ア 所 在 地 旭川市東旭川町旭正

イ 目的

農村地域における生産及び社会活動を支援し, 並びに農村と都市との交流促進を図り, もって本市の農業の振興に資することを目的とする。

ウ 沿革 着工 平成5.9.17 しゅん工 平成6.7.29 開館 平成6.8.25



工 概要

① 敷地面積 5,000㎡

② 延床面積 419㎡

③ 構 造 鉄筋コンクリート一部鉄骨造平屋建

④ 施設内容 農産加工室(98㎡), 畜産加工室(60㎡), 研修室(和)(71㎡), その他(190㎡)

才 建設費 224,241千円

財源内訳 道補助金 89,000千円

一般財源 135,241千円

区分	年度	H24		H25		H26	
区分	項目	回数(回)	人数(人)	回数(回)	人数(人)	回数(回)	人数(人)
研修室(和)		82	834	47	522	69	818
農産加工室		531	2,463	430	1,948	438	1,980
畜産加工室		113	673	36	214	106	635
計		726	3,970	513	2,684	613	3,433

(5) 旭川市永山ふれあいセンター (所管:市民活動課)

ア 所 在 地 旭川市永山町14丁目

イ 目的

農村地域における生産及び社会活動を支援し, 並びに農村と都市との交流の促進を図り, もって本市の農業の振興に資することを目的とする。

ウ 沿革 着 工 平成3.8 しゅんエ 平成4.6 開 館 平成4.6



工 概要

- ① 敷地面積 3,966㎡
- ② 延床面積 761㎡
- ③ 構 造 鉄筋コンクリート造平屋建
- ④ 施設内容 ホール(219㎡), 農産加工室(102㎡), 研修室(洋)(55㎡), 研修室(和)(59㎡), その他(325㎡)

才 建設費 244,340千円

·財源内訳 市 債 164,200千円 一般財源 80,140千円

区分	年度	H2	24	H2	25	H2	26
区分	項目	回数(回)	人数(人)	回数(回)	人数(人)	回数(回)	人数(人)
ホール		543	7,019	589	8,157	562	7,298
研修室(洋)		130	1,247	154	1,296	35	258
研修室(和)		71	1,178	61	1,004	4	66
農産加工室		373	1,941	330	1,958	333	1,930
計		1,117	11,385	1,134	12,415	934	9,552

(6) 旭川市東鷹栖農村活性化センター・野土花(のどか) (所管:市民活動課)

ア 所 在 地 旭川市東鷹栖10線16号

イ 目的

農村地域における生産及び社会活動を支援し, 並びに農村と都市との交流の促進を図り, もって本市の農業の振興に資することを目的とする。



平成12.10.11 集会施設部分建設工事着工 平成13.3.26 集会施設部分建設工事しゅん工

平成13. 4.27 部分供用開始

平成14. 8.12 農産物処理加工施設部分建設工事着工

平成15. 3.14 農産物処理加工施設部分建設工事しゅん工

平成15. 6. 1 開館

工 概要

① 敷地面積 11,068㎡

② 延床面積 1,346㎡

③ 構 造 鉄筋コンクリート造(一部木造及び鉄骨造)平屋建

④ 施設内容 研修室(和)(58㎡),研修室(洋)(66㎡),ホール(493㎡),食品加工室(106㎡),

農産加工室(60㎡), その他(563㎡)

才 建設費 305,025千円

~財源内訳 道補助金 136,021千円

市 債 100,300千円 諸収入 50,700千円 一般財源 18.004千円

区分	年度	H2	24	H2	25	H2	26
区刀	項目	回数(回)	人数(人)	回数(回)	人数(人)	回数(回)	人数(人)
ホール		443	8,249	458	10,121	465	9,545
研修室(洋)		42	925	33	1,256	48	1,847
研修室(和)		83	975	84	1,572	89	995
食品加工室		261	1,346	231	1,133	210	1,051
農産加工室		454	2,322	464	2,455	483	2,647
計		1,283	13,817	1,270	16,537	1,295	16,085



(7) 旭川市21世紀の森施設(所管:スポーツ課)

ア 所在地 旭川市東旭川町瑞穂

イ 目的

農村と都市との交流を促進し、並びに森林及び 水辺空間における自然とのふれあいを通じて 市民の心身の健康に寄与することを目的とする。

ウ 沿革

		The same of the sa
年度	施設区分	事業内容
S61~S62	中鶴根山展望台	展望台
S63~H2	ログハウス・タルハウス	ログハウス, タルハウス, 炊事棟, 屋外トイレ, 駐車場
H 2 ~ H 4	ファミリーゾーンキャンプ場施設	キャンプ場,林間歩道 総合案内施設,バンガロー 炊事棟,バーベキューハウス 屋外トイレ,休憩施設, 丸太遊具施設,外灯,駐車場
H 6	21世紀の森の湯	浴場
H8~H11	ファミリーゾーン水辺広場	せせらぎ水路,人道橋,東屋, 屋外トイレ,駐車場
H9~H17	せせらぎ交流広場	パークゴルフ場,多目的広場,屋外 トイレ
H11~H17	ふれあい広場	キャンプ場,屋外トイレ,炊事棟 イベント広場,円形ステージ, 東屋,展望台,展望広場, 駐車場
H 2 6	自然体験ゾーン	北海道立旭川21世紀の森施設が 旭川市に移管

工 概要

① 中鶴根山展望台

施設名	規模等	備考
中鶴根山展望台	高さ 27r	n 鉄骨造,昭和61年11月完成

a 建設費 63,030千円

b 利用期間 5月1日~11月30日(融雪及び降雪状況等により変更)

② ログハウス・タルハウス

施設名	規模等	備考
ログハウス	298.38 m	↑ 木造2階建 1 棟
タルハウス	4 m	が 樽風キャビン 8 棟
炊事棟		1 棟
屋外トイレ	27.54 m	木造平屋 1 棟
駐車場		約50台分

a 建設費 64,570千円

b 利用期間 ログハウスは通年(12月30日から翌年の1月4日を除く) その他の施設は5月1日~11月30日(融雪及び降雪状況等 により変更)

③ ファミリーゾーンキャンプ場施設

施設名	規模等	備考
キャンプ場	17,000 m²	キャンプ 96 張
林間歩道	1,014 m	
総合案内施設	127.17 m²	1 棟
バンガロー	18.81 m²	8 棟
ドッグハウス	7.56 m²	1 棟
炊事棟		2 棟
バーベキューハウス	28.80 m²	2 棟
屋外トイレ		2 棟
休憩施設	10.24 m²	1 棟
外灯		26 基
駐車場	5, 100 m²	200台分

建設費 400,282千円

5月1日~11月30日(融雪及び降雪状況等により変更) 利用期間

④ 21世紀の森の湯

施設名	規模等	備考
21世紀の森の湯	64.8 m²	鉄骨造平屋建,脱衣所,浴室, トイレ(各男女別),玄関

建設費

22,912千円 5月1日~11月30日(融雪及び降雪状況等により変更) 利用期間

⑤ ファミリーゾーン水辺広場

施設名	規模等	備考
湿生植物の池	1, 648 m²	
せせらぎ水路	275 m	
人道橋		2 箇所
東屋		5 棟
屋外トイレ		1 棟
駐車場		3 台分

建設費 637,684千円(道営事業)

5月1日~11月30日(融雪及び降雪状況等により変更) 利用期間

⑥ ササらぎ交流広場

し ヒヒりと又加四物		
施設名	規模等	備考
パークゴルフ場	14,400 m²	2コース 18 ホール
多目的広場	7,000 m²	サッカーコート 1 面
		ドッグラン
屋外トイレ		2 棟
東屋		3 棟
せせらぎ水路	400 m	
駐車場(パークゴルフ場近く)		7 5 台分
駐車場(多目的広場近く)		約40 台分

617,705千円 建設費

利用期間 5月1日~11月30日(融雪及び降雪状況等により変更) ⑦ <u>ふれあい広場</u>

施設名	規模等	備考
キャンプ場	10,000 m²	キャンプ 47 張
屋外トイレ		1 棟
炊事棟		1 棟
イベント広場	12,600 m²	
円形ステージ		
東屋		3 棟
展望台	11 m	
展望広場	1, 617 m²	
ドッグラン		
駐車場(屋外トイレ近く)		2 5 台分
駐車場(キャンプサイト内)		48 台分
駐車場(砂利)		約84 台分

a 建設費 395,578千円 (道:334,528千円,市:61,055千円)

b 利用期間 5月1日~11月30日(融雪及び降雪状況等により変更)

c 全体面積 4.8ha

⑧ 自然体験ゾーン「21 (ニイペ)の森」(旧道立旭川21世紀の森)

施設名	規模等	備考
森林学習展示室	655. 20 m²	木造2階建
キャンプ場	7, 250 m²	約10張
自然観察歩道	6, 000 m²	幅員 2 m
屋外トイレ		3 棟
炊事棟		2 棟
ドッグラン		

a 建設費 242,607千円(北海道)

b 利用期間 5月1日~11月30日(融雪及び降雪状況等により変更)

33. 58 ha c 全体面積

9 利用状況

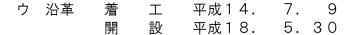
9 137137770		
平成26年度		2,927人
	ファミリーゾーン	7,615人
	21世紀の森の湯	25,723人
	せせらぎ交流広場	8,627人
	ふれあい広場	4,900人
	自然体験ゾーン	3,782人

(8) 嵐山レクリエーション施設 (パークランド嵐山) (所管:スポーツ課)

ア 所在地 旭川市江丹別町嵐山

イ 目的

山村地域における農村と都市との交流を促進し, 並びに市民の心身の健全な発達及び生涯にわたり 楽しむことができるスポーツの振興を図ることを 目的とする。





しゅんエ 平成18. 1.31

工 概要

- ① 総面積 約16ha
- ② 施設概要

一	
施設	施設内容
	ひだまりエリア5コース45ホール(3.5ha)
パークゴルフ場	そよかぜエリア3コース27ホール(1. 5ha)
	〔合計 8コース72ホール(面積5ha,距離3,363m)〕
	デイキャンプ場(2,800㎡,バーベキュー広場含む)
	芝生広場(3,800㎡)
各種広場及び施設	冒険広場(10,000㎡,トリム遊具等)
	こもれび広場(560㎡,森林散策路延長580m)
	展望広場(370㎡),東屋(6棟),炊事棟,倉庫(114㎡)
センターハウス	受付,ロビー,食堂,売店,休憩所,会議室,シャワー室,トイレ
	第1駐車場(センターハウス前)94台+バス2台
駐車場	第2駐車場(炊事棟前) 70台
	〔合計 166台(うちバス2台)〕
屋外トイレ	4箇所(多目的トイレ併設)
その他施設	雨水処理施設,給排水設備,電気設備

③ 使用期間 5月15日~10月31日(融雪及び降雪状況等により変更)

④ 使用時間 5月15日~ 8月31日 午前8時~午後7時 9月 1日~ 9月30日 午前8時~午後6時 10月 1日~10月31日 午前8時~午後5時

才 建設費 1,634,474千円

(市:1,337,016千円,道:297,458千円)

力 利用状況

	パークゴルフ場	35,688人
	デイキャンプ場	480人
	芝生広場	376人
平成26年度	冒険広場	97人
	会議室	1,342人
	その他	4 人
	※冬季開放	1,376人

注) 冬季開放 (スノーチュービング, エアボード, アイスクリーム作り体験)

(9) とみはら自然の森(所管:農林整備課)

ア 所在地 旭川市江丹別町富原(市有林内)

イ 目的

林業の振興や森林レクリエーション推進のため 市有林の高度利用を図り、市民の自然・環境に対する 意識の醸成を図ることを目的として開設した。

平成 9.10.31 ウ 沿革 着 工 平成12. 3. 1 平成12. 7.24 しゅんエ

溒



エ 概要

① 敷地面積 58.6ha

② 建物 木造平屋 〈3 棟〉

③ 施設内容

ふれあい館〈管理棟〉(129.5㎡), こもれび館〈休憩所〉(62.4㎡), どんぐり館〈作業所〉(68.0㎡),その他(林間広場,遊歩道)

無料

④ 使用料⑤ 利用期間 5月5日~10月の最終日曜日(期間中無休)

⑥ 使用時間 午前9時~午後5時

492,315千円 オ 建設費

~財源内訳

道補助金 326,069千円 市 債 117,900千円

一般財源 48.346千円

力 利用状況

年度	H24	H25	H26	
入園者数(人)	1,530	1,326	1,291	

(10)農村公園

ア 目的

農村地域の生活環境の改善や農村の持つ さまざまな魅力を生かした都市との共生・ 交流などを促進する場を提供するために設置した。

イ 名称及び位置等



名称	所在地	面積	主な公園施設
さくらおか公園	東旭川町東桜岡	4,000.54 m²	休憩所(陶芸室を兼ねる) ゲートボール場(2面)
記念坂公園	東旭川町米原	1,762.96 m²	遊歩道・池
永山担い手公園	永山町10丁目	625.00 m²	四阿・園路・せせらぎ水路
共栄みどりの広場	神居町共栄	1,620.00 m²	四阿・園路・駐車場
上雨紛水辺広場	神居町上雨紛	1,866.77 m²	四阿・シェルター・歩道橋・ せせらぎ水路・修景池
忠別ふれあい公園	東旭川町忠別	27,344.00 m²	エントランス広場・パーゴラ・園路・ 芝生広場(パークゴルフ場18ホール併設)・ トイレ・駐車場

ウ 沿革

農業農村整備事業により、平成3年から農業の振興、農村の定住条件の改善及び農村の持つ様々な魅力を生かした都市との共生・交流などを目的として農村公園を整備してきたが、平成18年度をもって一定の整備を終えたことから、平成19年度に農村公園条例を制定し、「公の施設」として広く市民の利用に供している。

V 旭川市農業センター(花菜単ランド)

1 概要

(1)所在地 旭川市神居町雨紛

(2)目的

本市農業の振興を効率的に推進するため、各種の 農業支援機能を集積するとともに、都市と農村の 交流機能を兼ね備えた総合的な農業支援体制の拠点化を図る。

(3)沿革

農業総合ゾーン構想により、旭川市園芸センターを平成6年度から整備着手、平成9年4月には施設名を旭川市農業センター(愛称 花菜里ランド)に改称するとともに一部供用開始し、平成10年6月、全体整備しゅん工に伴い全面オープンした。

昭和39.12 美瑛川河川敷地を旭川市園芸センター用地として使用許可

昭和42. 4 旭川市園芸センター規則制定

昭和47. 6 旭川市園芸センター条例制定

平成 9. 2 旭川市農業センター本館・付帯施設しゅん工, 試験ほ場整備しゅん工

平成 9. 4 旭川市農業センター条例制定,本館供用開始

平成10. 6 旭川市農業センター全体整備しゅん工

(4) 主な施設及び機能

ア 試験研究機能

野菜・花きの生産振興を目的とした各種試験の実施

- ① 土壌分析室適正施肥栽培の土づくりのための土壌分析
- ② 残留農薬分析室 農産物の残留農薬分析によるクリーン農業の推進
- ③ 組織培養室 組織培養による優良種苗の研究開発
- ④ 温室(4棟)・温室管理棟鉢花類の展示ほか
- ⑤ 研修室

農業図書類を配置した農業研修、営農相談及び会議室

- ⑥ 農場管理棟
 - 農作物の調査及び各種農業資材,農機具機械の格納
- ⑦ 硬質フィルムハウス(2棟)・ビニールハウス(15棟) 施設栽培による野菜・花きの各種試験研究及び実証展示
- ⑧ 露地ほ場 露地における野菜・花きの試験及び実証展示

イ 都市と農村の交流機能

農業に親しむ場を提供

- ① 農産加工室
 - 農産物,乳製品の各種試作加工体験
- ② ホール

各種研修会及びバドミントン等の軽スポーツ

③ 体験農園

農業に対する理解を市民に深めてもらうための貸農園

④ 農業公園

花壇・宿根草見本園,池や野草園を配置した公園

⑤ 芝生広場芝生ステージを擁した多目的広場



(5) 施設概要

ア 敷地面積 91,388.95㎡

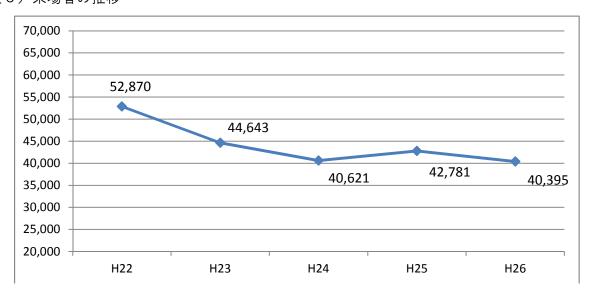
イ 主要施設

名	公 称	建築面積(m²)	備考
本	館	1,363	事務室,土壌分析室,農産加工室ほか
温室, 温	皇室管理棟	1,026	温室4棟
農場	管理棟	550	資材庫,農機具格納庫,作業員休憩室ほか
設位	備棟	195	浄化槽棟,電気·給水棟
体験農[園管理棟	120	貸農具室,トイレほか
屋外	トイレ	88	2棟

ウ 施設利用区分

名称	面積(ha)	備考
施設栽培ほ場	0.8	硬質フィルムハウス2棟 ビニールハウス15棟
露地栽培ほ場	1.9	
建築物	0.3	本館,温室管理棟,農場管理棟ほか
体験農園	0.3	108区画(1区画16㎡)
駐車場	0.5	3ヶ所
農業公園ほか	5.4	宿根草展示園,芝生広場,修景池ほか

(6) 来場者の推移



2 試験研究

(1) 概況

生産現場では、高齢化や農業者の減少が進行し、労働力不足、生産コスト抑制の困難さ、 農産物価格の低迷などの課題が農業経営の負担となっている状況にある。

このような状況に対応するため、農業センターでは、より省力的な生産技術の検討や、旭川における栽培条件に適合した品種選定のための試験調査などを行い、生産現場への普及啓発を通じて、生産の安定化やクリーン農業の推進に寄与していく。

(2) 各事業

ア 土壌診断推進事業

① 概要

健全な土づくりと作物別の適正施肥栽培の普及を図るため、土壌分析及び診断を実施する。

a 一般分析項目

栽培土壌の性質及び養分保持量を把握し、適切に施肥対応するための基本的な項目について分析する。対象作物によって分析項目は異なる。

- Hq ·
- ・EC(施設園芸土壌等における硝酸イオン濃度の目安)
- · CEC(土壌の保肥力)
- ・ 有効態リン酸, 交換性カリ, 交換性石灰, 交換性苦土, 可給態ケイ酸
- b 総合分析項目

一般分析項目に以下の項目を加え、より詳細な分析を行う。なお対象作物によって分析 項目は異なる。

- ・リン酸吸収係数(リン酸吸収固定力)
- ・ 硝酸態窒素(無機態窒素)
- 熱水抽出性窒素,培養窒素(土壌中の窒素の無機化可能量の推定)
- ・微量要素(可溶性銅,可溶性亜鉛,易還元性マンガン,熱水可溶性ホウ素)
- · 游離酸化鉄(水稲本田)
- ② 平成26年度事業実績(実績額 5,098千円)

土壌分析診断実績

a 一般分析 310件 b 総合分析 2,628件 計 2.938件

③ 平成27年度事業計画(予算額 5,416千円)

土壌分析診断

a 一般分析 800件 b 総合分析 1,700件 計 2,500件

イ クリーン農業技術試験研究事業

① 概要

旭川の農産物の残留農薬分析を行い、その実態について検証するとともに、農薬残留に関する試験を実施するなど、産地旭川としての安全・安心確保の取組に資する。

- ② 平成26年度事業実績(実績額 2,229千円)
 - a 残留農薬分析
 - b その他残留農薬試験に係わる分析

ウ 優良種苗調査研究事業

① 概要

旭川の地域特性を生かした品目に対して,優良種苗の増殖技術研究と供給,栽培技術の普及等を行うことにより,旭川産花き及び野菜等の生産振興を図る。

- ② 平成26年度事業実績(実績額 14千円)
 - a 優良種苗増殖法の検討と栽培導入支援
- ③ 平成27年度事業計画(予算額 400千円)
 - a 優良種苗増殖法の検討と栽培導入支援

工 農業後継者等基本技術研修事業

① 概要

農業センターのほ場・施設等を活用した実技指導を伴う研修会等を開催し、最新の農業技術・機器などの情報提供を行い、農業後継者・新規就農者等の農業知識・栽培技術の向上・作業の効率化等を図り、クリーン農業の推進・啓発に努める。

- ② 平成26年度事業実績(実績額 346千円)
 - a 研修会・実技研修の実施
- ③ 平成27年度事業計画(予算額 141千円)
 - a 研修会・実技研修の実施

才 冬期野菜生産技術調査研究事業

① 概要

農家の冬期間収入を確保する手段として、道など他研究機関と連携して冬期に加温を抑えて 栽培可能な品目・栽培技術等を検討し旭川における冬期野菜生産技術の確立を図ります。

- ② 平成26年度事業計画(実績額 587千円)
 - a 試験ハウス内で冬期間の栽培試験(微加温あり)
 - b 他研究機関との連携
- ③ 平成27年度事業計画(予算額 1,203千円)
 - a 生産技術および生産環境の調査研究
 - b 見学会の実施
 - c 他研究機関との連携

カ 平成27年度野菜・花き試験研究課題

旭川の気候条件に合う品種の選定,栽培技術の調査検討など,関係機関と連携しながら,通常の生産現場では行えない試験研究を実施している。

- ①ホウレンソウの作期別品種比較試験
- ②コマツナの作期別品種比較試験
- ③春どりレタス品種比較試験
- ④絹さやエンドウ品種比較試験
- ⑤冬期野菜栽培品目検討試験
- ⑥にんにく有機栽培試験
- ⑦鶏ふん発酵堆肥効果確認試験
- ⑧スターチス・シヌアータ品種比較試験
- ⑨温度感応型フィルム効果確認試験

VI 農業委員会

昭和26年	7月20日	農業委員会等に関する法律の制定施行により,旭川市旭川,旭川市旭新の 2委員会が発足する。
昭和30年	4月 1日	2 委員会が光足する。 神居, 江丹別両村の合併により, 旭川市旭川, 旭川市旭新, 旭川市神居, 旭川市江丹別の4委員会となる。
昭和32年	7月20日	旭川市旭川, 旭川市旭新を統合し, 旭川市旭川農業委員会と, 旭川市神居, 旭川市江丹別を統合し, 旭川市江神農業委員会の2委員会となる。
昭和36年	4月 1日	永山町の合併により、旭川市旭川、旭川市江神、旭川市永山の3委員会となる。
昭和38年	7月20日	3委員会を統合し,旭川市旭川農業委員会となる。
昭和38年	8月15日	東旭川町の合併により,旭川市旭川,旭川市東旭川の2委員会となる。
昭和43年	3月 1日	神楽町の合併により、旭川市旭川、旭川市東旭川、旭川市神楽の3委員会となる。
昭和44年	7月20日	3委員会を廃止し,旭川市農業委員会となる。
昭和46年	3月 2日	東鷹栖町の合併により,旭川市,旭川市東鷹栖の2委員会となる。
昭和47年	7月 3日	旭川市東鷹栖農業委員会を廃止し、その区域を旭川市農業委員会の区域に編入する。

1 農業委員会の活動

農業委員会は、農地制度の基本理念を踏まえ、効率的かつ安定的な農業経営を育成することを基調として、本市農業の指向する適切な施策を講ずるよう努力を続けている。

また、農家及び農業者の意見を代表する機関として、農業振興施策について市に対し建議を行っている。

なお、日常活動としては、農地法、その他関係法規に照らし、農地等の事務処理を行うとともに、 農業者年金の窓口事務のほか、委員会独自の活動として農地移動適正化あっせん事業、農業後継者対 策等を行い、本市農業の健全な発展に寄与することに努めている。

(1)委員会構成

平成27年3月31日現在

区分	温光 1- トフ						
	選挙による 委 員	農業協同 組合	農業共済 組合	土地 改良区	市議会	小計	合 計
委員数(人)	3 0	4	1	1	4	1 0	4 0

(2)会議開催状況

平成26年度

区分	総	会	運営委員会	委員協議会	農地部会	農政部会	特定委員会	計
回数	5		0	3	1 2	6	0	3 5

(3)農業委員会選挙人名簿登録人員

平成27年3月31日現在

選挙区区分	1 区	2 区	3 ⊠	4 区	5 区	6 区	計
世帯	506	251	206	51	304	180	1,498
人数	1,008	547	433	116	671	387	3,162

選挙区域 1区〜東旭川・旧市内の一部 2区〜神楽・旧市内の一部 3区〜神居 4区〜江丹別 5区〜東鷹栖・旧市内の一部 6区〜永山・旧市内の一部

資料:旭川市選挙管理委員会

年度別農業委員会選挙人名簿登録人員(各年度3月31日現在)

単位:人

一个人们最未安良去选手八个符显娜八良(骨牛皮 0 月 0 - 日坑仁)							- 単位・八
選挙区年度	1 区	2 区	3 区	4 区	5 区	6 区	計
平成 17	1,572	848	636	170	937	568	4,731
18	1,465	812	622	165	892	559	4,515
19	1,323	789	585	151	850	523	4,221
20	1,277	760	564	139	818	487	4,045
21	1,254	721	542	128	788	471	3,904
22	1,226	680	519	127	770	449	3,771
23	1,124	653	497	128	746	428	3,576
24	1,084	622	477	125	713	419	3,440
25	1,026	581	455	120	687	399	3,268
26	1,008	547	433	116	671	387	3,162

2 農地業務

(1)農地移動適正化あっせん事業(平成26年度)

区分		地区	旧市内	神居	江丹別	永 山	東旭川	神楽	東鷹栖	計
=r + +=	件	数	0	1	3	8	4	8	17	41
所有権	面積	責(ha)	0.00	1.21	4.12	17.07	11.93	17.02	39.11	90.46

年度別農地移動適正化あっせん事業実績

年度	地区	旧市内	神居	江丹別	永 山	東旭川	神楽	東鷹栖	計
π 17	件 数	0	0	0	1	3	2	5	11
平成 17	面積(ha)	0.00	0.00	0.00	0.68	10.26	6.98	4.80	22.72
18	件 数	0	1	0	0	1	2	1	5
10	面積(ha)	0.00	2.62	0.00	0.00	5.33	12.17	3.58	23.70
19	件 数	0	0	2	0	0	4	4	10
19	面積(ha)	0.00	0.00	15.31	0.00	0.00	12.35	7.90	35.56
20	件 数	0	0	6	1	1	3	3	14
20	面積(ha)	0.00	0.00	20.42	2.01	3.41	17.19	9.21	52.24
21	件 数	0	0	5	2	1	2	9	19
21	面積(ha)	0.00	0.00	16.19	1.63	4.62	10.49	17.22	50.15
0.0	件 数	0	0	2	2	2	6	10	22
22	面積(ha)	0.00	0.00	4.69	4.06	2.99	16.15	21.45	49.34
23	件 数	0	1	3	0	0	3	5	12
۷۵	面積(ha)	0.00	1.12	5.90	0.00	0.00	12.28	11.50	30.80
0.4	件 数	0	5	0	15	11	12	10	53
24	面積(ha)	0.00	11.65	0.00	35.01	20.33	19.39	36.04	122.42
25	件 数	0	2	1	4	4	5	5	21
25	面積(ha)	0.00	9.02	1.86	8.73	2.40	7.21	23.16	52.38
26	件 数	0	1	3	8	4	8	17	41
26	面積(ha)	0.00	1.21	4.12	17.07	11.93	17.02	39.11	90.46

(2) 利用権設定等促進事業(平成26年度)

区分	地区	旧市内	神居	江丹別	永 山	東旭川	神楽	東鷹栖	計
所有権	件 数	0	1	3	10	9	13	18	54
所有権	面積(ha)	0.00	1.21	4.13	23.32	25.44	48.10	48.26	150.46
传 	件 数	0	26	4	44	190	101	73	438
賃貸権	面積(ha)	0.00	65.85	12.87	102.50	358.27	210.60	177.16	927.25
= ⊥	件 数	: 0	27	7	54	199	114	91	492
計	面積(ha)	0.00	67.06	17.00	125.82	383.71	258.70	225.42	1,077.71

年度別利用権設定等促進事業

年度 (機·靧	平成 17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
件 数	404	473	497	441	408	412	404	566	553	492
面積(ha)	827.99	1,006.86	1,206.16	1,023.36	938.81	869.94	860.36	1,219.34	1,274.75	1,077.71

(3)農地転用の推移(平成26年度)

区分	用途	住宅	道路	工場	その他	計
件	数	40	0	0	19	59
比率(67.80	0.00	0.00	32.20	100.00
面積(2.32	0.00	0.00	2.86	5.18
比率(44.79	0.00	0.00	55.21	100.00

年度別農地転用の推移

十及別辰地野					I	
年度	用途	住 宅	道 路	工 場	その他	計
平成 17	件 数	228	0	19	30	277
十八八	面積(ha)	63.95	0.00	8.12	5.89	77.96
18	件数	79	0	19	21	119
10	面積(ha)	11.04	0.00	6.76	4.76	22.56
19	件数	53	0	17	15	85
19	面積(ha)	11.29	0.00	5.17	8.09	24.55
20	件 数	48	0	19	13	80
20	面積(ha)	1.70	0.00	7.38	0.95	10.03
21	件 数	54	0	9	9	72
21	面積(ha)	2.31	0.00	2.24	3.98	8.53
22	件 数	67	1	10	4	82
22	面積(ha)	9.05	0.01	4.35	1.12	14.53
23	件 数	60	0	13	11	84
23	面積(ha)	3.31	0.00	3.05	3.27	9.63
24	件 数	55	1	11	10	77
24	面積(ha)	2.53	0.06	0.72	1.75	5.06
25	件 数	83	1	10	38	132
25	面積(ha)	3.27	0.06	2.82	3.99	10.14
26	件 数	40	0	0	19	59
20	面積(ha)	2.32	0.00	0.00	2.86	5.18

(4)農地事務処理状況(平成26年度)

条項・区分	地	区旧市内	神居	江丹別	永 山	東旭川	神楽	東鷹栖	計
年 0 夕	件数	0	2	6	9	21	13	29	80
第3条	面積(ha)	0.00	2.38	83.34	9.81	47.81	54.75	123.75	321.84
年 4 夕	件数	13	4	0	4	7	4	0	32
第 4 条	面積(ha)	0.46	0.23	0.00	0.39	0.83	0.78	0.00	2.69
年	件数	11	4	0	4	2	3	3	27
第 5 条	面積(ha)	0.51	0.27	0.00	0.14	1.32	0.10	0.14	2.48
生 10 夕	件数	0	6	4	23	90	20	49	192
第 18 条	面積(ha)	0.00	9.45	40.72	41.83	154.87	47.38	113.02	407.27
TR 114 C	件数	67	23	1	20	49	24	16	200
現地目	面積(ha)	3.01	0.84	0.07	1.23	6.28	2.18	2.32	15.93

年度別農地事務処理状況

一大人的 及心	J- 1/1/C	L 17770								
条項	法	3条	法	4条	法	5条	法	18条	現地	1目証明
年度	件数	面積(ha)	件数	面積(ha)	件数	面積(ha)	件数	面積(ha)	件数	面積(ha)
平成 17	55	132.79	54	4.93	223	73.03	148	284.60	262	112.40
18	45	227.92	23	1.50	96	21.06	120	216.22	258	65.46
19	48	190.27	18	6.85	67	17.70	132	261.38	243	46.94
20	66	171.37	23	2.46	57	7.57	126	258.44	209	37.82
21	58	173.81	16	1.99	56	6.54	108	222.94	182	26.61
22	64	195.54	12	0.81	70	13.72	123	222.59	180	43.36
23	65	220.74	20	3.12	64	6.51	91	194.02	204	36.78
24	76	272.56	21	1.42	56	3.64	194	407.58	209	29.44
25	83	272.76	39	2.41	93	7.73	202	507.92	209	16.57
26	80	321.84	32	2.69	27	2.48	192	407.27	200	15.93

(5)嘱託登記(平成26年度)

件数·筆数	区分	所有権移転	名義人表示変更	地目変更	計
件	数	37	10	9	56
筆	数	164	34	18	216

注)嘱託登記に関する手数料は一切徴収していない。

年度別嘱託登記実績

	所有権	重移 転	名義人君	長示変更	地 目	変更	iii	+
年度	件数	筆数	件数	筆数	件数	筆数	件数	筆数
平成 17	15	56	7	21	5	7	27	84
18	11	58	3	14	5	8	19	80
19	11	71	4	34	5	18	20	123
20	17	75	3	19	3	9	23	103
21	25	138	9	48	9	18	43	204
22	25	142	6	22	7	26	38	190
23	22	100	6	40	13	29	41	169
24	45	159	13	40	15	38	73	237
25	40	131	6	15	7	12	53	158
26	36	164	10	34	9	17	57	216

(6) 小作料標準額(参考賃借料)の推移(10a当たり)

単位:円

地目・区分		В	3			畑	
適用期間	А	В	О	О	А	В	С
平成 13 年 8 月~ 平成 16 年 11 月	19,000	16,300	13,600	10,800	5,300	4,200	3,200
平成 16 年 12 月~ 平成 19 年 12 月	15,600	13,400	11,300	9,700	4,600	3,600	2,600
平成 20 年 1 月~ 平成 22 年 12 月	14,500	12,400	10,500	9,000	3,800	3,200	2,400
平成 23 年 1 月~ 平成 25 年 12 月	14,100	12,000	10,200	8,700	3,700	3,100	2,300
平成 26 年 1 月~	13,800	11,700	10,000	8,600	3,600	3,000	2,300

注)平成21年12月15日の農地法改正により標準小作料額の設定が廃止され、以降は参考賃借料として設定し情報提供している

(7)農地賃借料情報(10a当たり)

* 平成26年1月から12月までに締結(公告)された賃貸借における賃借料水準 田の部

□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□		区域	詳細					
区域	平均額	最高額	最低額	データ数				
古碑拓	全域							
東鷹栖	12,700 円	17,300 円	4,800 円	64 件				
74.1		全	域					
永山	12,700 円	16,600 円	7,100 円	47 件				
7.5		全	域					
江丹別	15,000円	15,000円	15,000円	2 件				
神田(V)		雨	紛					
神居(A)	11,300円	14,100 円	9,520 円	7 件				
抽艮/D)	上雨紛,	神華, 共栄, 富岡,	富沢,西丘,豊里,神	申居古潭				
神居(B)	10,000円	12,400 円	6,000円	15 件				
五 hp 海(/ /)		1 線から	2線まで					
西神楽(A)	11,100円	15,570 円	4,060 円	41 件				
开		3線から	5線まで					
西神楽(B)	6,900 円	10,800 円	2,700 円	43 件				
中和111(4)	旭正,思	忠別,共栄,上兵村,	下兵村,日ノ出,倉沼	召,豊田				
東旭川(A)	11,100円	17,560 円	4,400 円	137 件				
幸和Ⅲ/D /		桜岡,東桜岡	,米原,瑞穂					
東旭川(B)	9,100円	14,500 円	3,100円	34 件				

畑の部

区域	平均額	最高額	最低額	データ数
旭川市全域	3,000円	6,000円	1,500 円	20 件

注)平成21年12月15日の農地法改正により標準小作料額の設定が廃止となり、賃借料情報の提供を行うことした

年度別農地賃借料情報 平均額の推移(円/10a)

地目	区域	平成 21	22	23	24	25	26
田	東鷹栖	13,200	12,600	12,800	12,200	11,800	12,700
	永山	13,300	12,900	12,900	13,400	12,800	12,700
	江丹別	10,600	8,600	12,400	10,100	10,300	15,000
	神居(A)	11,900	12,700	12,000	12,900	13,100	11,300
	神居(B)	11,300	10,200	10,000	10,000	10,000	10,000
	西神楽(A)	11,900	12,400	11,700	11,300	11,100	11,100
	西神楽(B)	9,400	8,900	8,200	8,200	8,400	6,900
	東旭川(A)	12,000	11,400	11,900	11,500	12,000	11,100
	東旭川(B)	9,000	8,600	7,700	8,100	7,500	9,100
畑	旭川市全域	2,700	2,900	2,900	2,900	2,600	3,000

3 農業者年金業務

農業者の老後の生活の安定、福祉の向上に資するとともに、後継者移譲による経営の若返り及び第三者移譲による経営規模の拡大という社会保障と農業近代化の両面を目的として発足した。

昭和49年から年金支給の一つである死亡・脱退一時金の支給業務が開始され、また、昭和51年から経営移譲年金、昭和56年から農業者老齢年金の本格的な年金支給が開始されている。

また、農業者年金の加入者、受給者の連携を図り、農業者年金制度の拡充強化のための諸対策を推進することを目的として、旭川市農業者年金協議会が昭和61年3月に設立された。

なお、平成14年1月1日には、農業の持続的発展のための担い手の確保、育成及び経営資源の円滑な継承を目的とした農業者年金制度の一部改正が行われ、それに伴い、従来の「強制加入」から「任意加入」に変更された。

(1) 農業者年金加入状況(平成27年3月末現在 加入者数・平成26年度新規加入者) 単位:人

農協区分	あさひかわ (旧市内)	あさひかわ (神居)	あさひかわ (旭正)	あさひかわ (永山)	たいせつ (東鷹栖)	東神楽(西神楽)	東旭川	計
加入者数	6	20	39	15	64	43	20	207
新規加入	1	7	1	1	5	2	8	25

農業者年金加入状況(年度末加入者数・新規加入者数)

単位:人

年	度	平成 17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
加入	者数	198	197	180	186	172	168	177	192	204	207
新規	加入	2	6	7	18	20	9	20	23	45	25

(2) 農業者年金受給裁定者数(平成26年度)

単位:人

区分	農協	あさひかわ(旧市内)	あさひかわ (神居)	あさひかわ (旭正)	あさひかわ (永山)	たいせつ(東鷹栖)	東神楽(西神楽)	東旭川	計
	経営移譲年金	0	0	0	1	5	1	2	9
旧制度	農業者老齢年金	0	1	3	2	7	2	4	19
	特例付加年金	0	0	0	0	3	0	0	3
新制度	農業者老齢年金	0	1	6	2	7	3	4	23

年度別農業者年金受給裁定者数

単位:人

		12000									
区分	年度	平成 17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
旧制度	経営移譲年金	14	15	8	7	6	2	9	7	8	9
	農業者老齢年金	18	34	17	22	15	9	22	22	14	19
	特例付加年金	0	0	0	0	0	0	0	2	8	3
新制度	農業者老齢年金	0	1	5	12	13	4	12	21	17	23

(3) 死亡一時金支給実績(平成26年度・旧制度)

区分		旧制度		新 制 度
農協	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
あさひかわ(旧市内)	0	0	0	0
あさひかわ(神居)	0	0	1	269
あさひかわ(旭正)	0	0	0	0
あさひかわ(永山)	1	909	1	1,264
たいせつ (東鷹栖)	2	514	0	0
東神楽(西神楽)	0	0	0	0
東 旭 川	0	0	0	0
計	3	1,423	2	1,533

年度別脱退一時金·死亡一時金支給実績

区分	脱退一時	金(旧制度)	死亡一時	金(旧制度)	死亡一時	金(新制度)
年度	件 数	金額(千円)	件 数	金額(千円)	件数	金額(千円)
平成 17	9	18,942	1	65	0	0
18	15	26,278	0	0	0	0
19	_	_	1	40	0	0
20	_		1	1,141	0	0
21			1	380	0	0
22	_	_	3	2,991	2	1,531
23	_		3	938	0	0
24	_		3	4,002	4	3,411
25	_	_	1	377	0	0
26	_		3	1,423	2	1,533

4 農業後継者対策

市,農業改良普及センター及び各農業協同組合と連携して、後継者の育成、確保対策等を推進している。

(1) 事業内容

ア 新規就農希望者への対応

イ 農業青年配偶者対策の推進

(2)関係業務

ア 農地等相続税・贈与税(生前一括贈与)納税猶予に関する証明等

イ 実績(平成26年度)

新規の納税猶予(戸)	0
3年ごとの継続届出(戸)	2

年度別生前一括贈与の特例実績

単位:戸

年度区分	平成 17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
新規納税猶予	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
継続届出	12	13	10	8	7	6	3	5	2	2

5 農業情報の提供活動(平成26年度)

農業委員会だよりの発行

ア 事業内容 市内全農家に配布し、農業諸情報の提供に努めている。

イ 発行時期 11月

ウ 発行部数 4,000部

年度別旭川市農業委員会だより発行実績

年度区分	平成 17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
発行回数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1
発行時期	9月,3月	9月,3月	9月,3月	9月,3月	9月,3月	9月,3月	9月,3月	9月,3月	9月,3月	11月
発行部数	各 4,000	各 4,000	各 4,000	各 4,000	各 4,000	各 4,000	各 4,000	各 4,000	各 4,000	4,000

6 証明関係取扱状況(平成26年度)

(1) 有料

区		分	現地目	耕作	受益地	受 理	その他	計
件		数	200	117	0	0	0	317
金	額	(円)	227,600	35,100	0	0	0	262,700

*1 証明書の交付(3号を除く)1件につき

300円

*2 文書の謄本・抄本の交付 1件につき

300円

*3 現地目証明書の交付 1件1筆につき 1,000円

現地目証明書の交付 1筆加えるごと

300円

(2) 免除

区	分	受益地	耕作	生前贈与	不動産取得税	その他	計
件	数	2	1	2	0	0	5

(3)無料

区	分	耕作	買受適格	その他	計
件	数	7	0	0	7

(4)年度別証明関係実績

単位:件

区分	年度	平成 17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
	現地目証明	262	258	243	209	182	180	204	209	209	200
有	耕作証明	26	171	565	229	193	293	103	179	112	117
	受益地証明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
料	その他	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	288	431	808	438	375	473	307	388	321	317
	受益地証明	8	3	2	1	2	6	4	4	4	2
免	耕作証明	0	0	0	2	1	2	0	0	0	1
	生前贈与	12	15	11	9	10	6	3	5	2	2
	不動産取得税	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
除	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	20	18	13	12	13	14	7	9	6	5
	耕作証明	3	3	3	3	5	3	11	7	5	7
無	買受適格証明	9	0	3	2	4	1	0	0	3	0
料	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	12	3	6	5	9	4	11	7	8	7
î	計	320	452	827	455	397	491	325	404	335	329

7 旭川市長との意見交換会

農業従事者の高齢化や後継者の減少、農畜産物の価格低迷による収益性の低下、農村地域における 過疎化の進行など、本市農業を巡る情勢は一段と厳しさを増しているところであるが、農業委員会は、 厳しい農業情勢に対応しながら旭川農業を発展させ、地域の農業・農村の振興に資する各種政策の実 現を目指し、平成26年度においては建議に代わり、平成26年12月5日に市長との意見交換会を 行った。

Ⅷ 農業団体

1 農業協同組合の概要

平成27年1月31日現在

農協名	正組合員 員数(人)	准組合員 員数(人)	正組合員 戸数(戸)	役員数 (人)	職員数 (人)	加入水田 面積(ha)
あさひかわ 農業協同組合	2,133	29,772	1,752	17	276	2,830.0
(うち旭川市内)	(1,794)	(27,504)	(1,494)	(14)	(252)	(2,209.0)
東旭川 農業協同組合	1,251	2,181	892	12	67	1,382.0
(うち旭川市内)	(1,235)	(1,885)	(866)	(12)	(77)	(1,378.0)
たいせつ 農業協同組合	1,421	2,065	1,035	15	96	3,620.2
(うち旭川市内)	(903)	(1,261)	(557)	(7)	(67)	(1,923.4)
東神楽 農業協同組合	796	4,128	676	15	119	2,144.6
(うち旭川市内)	(339)	(2,596)	(289)	(6)	(60)	(793.4)
合計	5,601	38,146	4,355	59	558	9,976.8
(うち旭川市内)	(4,271)	(33,246)	(3,206)	(39)	(456)	(6,303.8)

2 農業共済組合の概要

平成27年1月31日現在

共済組合名	正組合員 員数(人)	准組合員 員数(人)	正組合員 戸数(戸)	役員数 (人)	職員数 (人)	加入水田 面積(ha)
上川中央農業共済組合	3,231	_	3,231	12	41	18,882.0
(うち旭川市内)	(1,226)	-	(1,226)	(4)	(28)	(6,445)

3 土地改良区の概要

平成27年4月1日現在

改良区名	関係市町村	認可面積(ha)	賦課面積(ha)	組合員数(人)	総代(人)	職員数(人)
江丹別土地改良区	旭川市	512.60	501.70	85	0	1
旭川土地改良区	旭川市	3,745.86	2,333.56	399	26	
	美瑛町	448.60	346.43	57	4	
	東神楽町	622.35	537.77	88	7	
	計	4,816.81	3,217.76	544	37	9
永山土地改良区	旭川市	1,491.20	1,010.42	191	0	
	当麻町	20.80	15.45	7	0	
	計	1,512.00	1,025.87	198	0	4
東和土地改良区	旭川市	3,990.12	3,556.14	610	23	
	東神楽町	1,987.78	1,796.29	269	11	
	東川町	2,993.23	2,811.20	283	13	
	計	8,971.13	8,163.63	1,162	47	30
大雪土地改良区	旭川市	2,748.00	2,408.80	287	15	
	鷹栖町	3,817.20	3,351.40	367	19	
	比布町	2,387.50	2,174.60	303	14	
	愛別町	1,579.70		147	9	
	上川町	526.10	532.50	51	3	
	計	11,058.50	9,893.10	1,155	60	20
神竜土地改良区	旭川市	67.75	55.52	10	1	
	深川市	2,899.80	2,663.64	240	29	
	秩父別町	10.94	7.76	3	0	
	<u></u> 計	2,978.49	2,726.92	253	30	9
当麻土地改良区	旭川市	86.02	60.45	20	1	
	当麻町	4,592.96	3,082.37	467	28	
	愛別町	6.92	7.85	2	0	
	計	4,685.90	3,150.67	489	29	8
計	旭川市	12,641.55	9,926.59	1,602	66	
	美瑛町	448.60	346.43	57	4	
	東神楽町	2,610.13	2,334.06	357	18	
	東川町	2,993.23	2,811.20	283	13	
	当麻町	4,613.76		474	28	
	深川市	2,899.80	2,663.64	240	29	
	秩父別町	10.94	7.76	3	0	
	鷹栖町	3,817.20	3,351.40	367	19	
	比布町	2,387.50		303	14	
	愛別町	1,586.62		149	9	
	上川町	526.10		51	3	
	合計	34,535.43		3,886	203	

4 農業諸団体一覧

(1) 主要官公署等

名称	代表	者名	所在地	電話	郵便番号
北海道開発局旭川開発建設部	丹野	多弘	宮前通東4155番31旭川合同庁舎	32-1111	078-8513
北海道森林管理局旭川事務所	東	達朗	神楽3条5丁目3-11	62-6738	070-8003
上川中部森林管理署	浪岡	保男	神楽3条5丁目3-11	61-0206	070-8003
北海道農政事務所 旭川地域センター	稲次	研士	宮前通東4155番31旭川合同庁舎	76-1277	078-8506
旭川地方気象台	松森	敏幸	宮前通東4155番31旭川合同庁舎	32-7101	078-8239
上川総合振興局	紺谷	ゆみ子	永山6条19丁目上川合同庁舎	46-5111	079-8610
上川総合振興局上川中部整備室	岩田	正敏	永山6条19丁目上川合同庁舎	46-1151	079-8610
上川総合振興局南部森林室	石本	雄一	永山6条19丁目上川合同庁舎	46-5998	079-8610
地方独立行政法人北海道立総合研究機構 農業研究本部上川農業試験場	田中	英彦	上川郡比布町南1線5号	85-2200	078-0397
上川総合振興局 上川農業改良普及センター	山黒	良寛	上川郡当麻町宇園別2区748番地	84-2017	078-1332
北海道上川家畜保健衛生所	小田	茂樹	東鷹栖4線15号	57-2232	071-8154
地方独立行政法人北海道立総合研究機構 森林研究本部林産試験場	菊池	伸一	西神楽 1 線10号	75-4233	071-0198
上川総合振興局旭川建設管理部	菅原	克博	永山6条19丁目上川合同庁舎	46-4909	079-8613
北海道旭川農業高等学校	畠山	一典	永山町14丁目	48-2887	079-8431

(2)農業協同組合

, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,					
名称	代表者名		所在地	電話	郵便番号
あさひかわ農業協同組合	白鳥	隆志	豊岡4条1丁目	31-0111	078-8234
東旭川農業協同組合	畑山	義裕	東旭川南1条5丁目8番22号	36-2111	078-8261
たいせつ農業協同組合	柿林	孝志	東鷹栖1条3丁目635番地の58	57-2311	071-8101
東神楽農業協同組合	井澤	春雄	上川郡東神楽町北1条東1丁目	83-2321	071-1512

(3)農業共済組合

名称	代表者名	所在地	電話	郵便番号
上川中央農業共済組合	市田 敏行	東旭川町下兵村517番地	36-2162	078-8208

(4)土地改良区

名称	代表者名	所在地	電話	郵便番号
江丹別土地改良区	菅原金次郎	江丹別町中央104番地28	73-2139	071-1173
旭川土地改良区	前田 時男	西神楽南1条2丁目696番地	75-5511	071-0171
永山土地改良区	大西 秀雄	永山2条19丁目3番11号	48-2352	079-8412
東和土地改良区	外山 弘美	東旭川町旭正312番地の13	32-2241	078-8368
大雪土地改良区	伊林 正	東鷹栖4条5丁目639番地の130	57-2919	071-8104
神竜土地改良区	塩尻 芳央	深川市納内町3丁目3番40号	0164-24-2611	078-0151
当麻土地改良区	伊林 久信	当麻町4条東3丁目4番63号	84-2231	078-1314

(5) 森林組合

名称	代表者名		所在地	電話	郵便番号
旭川市森林組合	小檜山	隆	東旭川北1条6丁目2番13号	36-4268	078-8251

(6) 専門農業協同組合

名称	代表者名		所在地	電話	郵便番号
サツラク農業協同組合旭川事務所	竹中	裕司	神楽岡14条6丁目2番19号	65-3717	078-8324

(7) その他の機関・団体

名称	代表	者名	所在地	電話	郵便番号
北海道農業協同組合中央会旭川支所	中島	清浩	宮下通14丁目右1号農業会館	25-2837	070-0030
北海道信用農業協同組合連合会旭川支所	山本	茂誉	<i>''</i>	24-1381	//
ホクレン農業協同組合連合会旭川支所	河内	直人	//	24-2884	//
全国共済農業協同組合連合会 北海道本部旭川支所	近藤	修一	"	23-1049	//
上川生産農業協同組合連合会	柿林	孝志	//	24-1003	//
(公財)北海道農業公社上川支所	今野	一憲	<i>II</i>	25-2613	//
(一社)ジェネティクス北海道道北事業所	児玉	秀雄	東鷹栖5線10号	57-6111	071-8155
(株)北海道畜産公社道央事業所上川工場	高嶋	和則	東鷹栖 6 線12号	57-6251	071-8156
旭川アグリガイド・ネット	浅野	晃彦	旭川市神居町西丘7-4	72-2011	078-0186
農村女性ネットワークかがやき	岩井	千恵美	旭川市永山町12丁目238番地	48-6592	079-8431
旭川市農業青年の会「A2」	山岸	充典	上川農業改良普及センタ-内	84-2017	078-1332
旭川農業イベントの会	浅野	晃彦	旭川市農政部農業振興課内	25-7438	070-0034
旭川市担い手育成総合支援協議会	阿戸	伸一	旭川市農政部農政課内	25-7417	070-0034
旭川市果樹協会	山中	泰典	旭川市農政部農業振興課内	25-7438	070-0034
旭川米生産流通協議会	柿林	孝志	東鷹栖1条3丁目たいせつ農協内	57-2311	071-8101
旭川市農産加工協議会	杉本	幸司	旭川市農政部農業振興課内	25-7438	070-0034
旭川市営農改善推進協議会	白鳥	隆志	旭川市農政部農政課内	25-7417	070-0034
旭川市内農協連絡会議	白鳥	隆志	旭川市農政部農政課内	25-7417	070-0034
旭川青果物出荷組合連合会	畑山	義裕	流通団地1条3丁目	48-5909	079-8441
旭川青果物生産出荷協議会	小原	隆	流通団地1条3丁目	48-5909	079-8441
北海道土地改良事業団体連合会 上川支部	前田	時男	西神楽南1条2丁目696番地 旭川土地改良区内	75-5511	071-0171
旭川市内土地改良区連絡協議会	前田	時男	西神楽南1条2丁目696番地 旭川土地改良区内	75-5511	071-0171
旭川市食料供給基盤強化 特別対策協議会	伊林	正	旭川市農政部農林整備課内	25-7459	070-0034
旭川市家畜伝染病自衛防疫組合	市田	敏行	旭川市農政部農業振興課内	25-7470	070-0034
旭川市乳牛検定組合	佐藤	浩貴	旭川市農政部農業振興課内	25-7470	070-0034
旭川市和牛生産改良組合	森内	昌美	江丹別町中央 あさひかわ農協江丹別支所内	73-2111	071-1173

Ⅲ 旭川市農業行政機構

平成27年4月1日現在

			平成2/年4月1日現在
農政部 (市役所代表 26-1111)	農政課 (25-7417, FAX26-8624)	農政係 (内線3711,3712, 3760)	農業振興の企画及び調整に関すること、農業振興整備計画に関すること、農業振興のための情報収集及び調査分析に関すること、農業団体に関すること、農業災害に関すること、江丹別若者の郷に関すること、その他農業及び農村地域の振興に関すること
		経営支援係 (内線3713,3714)	農業担い手,農業青年及び農村女性の育成に関すること,新規 就農の促進に関すること,農業資金の金融相談,調査及びあっ せんに関すること,農業経営基盤の強化に関すること
	農業振興課 (25-7438, 25-7470)	農畜産係 (内線3741,3742, 3715,3716)	米、畑作物の生産流通に関すること、米穀の生産調整に関すること、生産組織に関すること、鳥獣による農業被害に関すること、農作業の安全対策に関すること、酪農の振興に関すること、肉用牛及び馬の生産振興に関すること、市営牧場の管理運営に関すること、肉畜及び生産物の消費流通に関すること、畜産環境及び家畜の保健衛生に関すること、地方競馬に関すること
		園芸係 (内線 3718,3719,3740)	野菜・花き・果樹の生産流通に関すること、農産加工の振興に関すること、地産地消の推進に関すること、農産物の安全・安心に関すること、内水面漁業に関すること
	農林整備課 (25-7459, FAX29-7595)	事業係 (内線3731,3732, 3733,3734)	農業農村整備の調査,計画及び補助金交付申請等に関すること,土地改良区に関すること,土地改良財産に関すること,農業農村整備に伴う道路及び水路用地の取得及び補償に関すること,その他農業農村整備に関すること
		施設管理係 (内線 3735,3736,3737)	農業用施設等の維持管理に関すること,農村公園に関すること,所管工事の調査,計画,設計及び施工に関すること,所管工事の設計図書の審査,監督及び検定に関すること
		耕地林務係 (内線3721,3722, 3738,3739)	農業農村整備の事業の施行に関すること、農用地及び農業用施設の防災及び災害復旧に関すること、林業の振興及び林業団体に関すること、森林整備計画及び森林施業計画に関すること、林野火災の予消防に関すること、林道及び治山事業に関すること、市有林及び附帯施設の維持管理に関すること、所管工事の調査、計画、設計及び施工に関すること、所管工事の設計図書の審査、監督及び検定に関すること
	農業センター (61-0211, FAX63-2454)	技術普及係	①各種事業の企画及び実施に関すること ②農業に係る資料及び情報の収集並びに提供並びに相談に関すること ③センターの使用に関すること ④その他センターに関すること ⑤野菜、花き等の生産技術に係る調査、研究開発及び普及に関すること ⑥優良種苗の導入、保存、生産及び改良に関すること ⑦依頼された試料の分析及び検査の実施に関すること ⑧技術普及に係る研修会、検討会等の開催に関すること
農業委員会	事務局 (25-6729, FAX25-7111)	事務係 (内線3811,3812)	総会, 農地部会, 農政部会の会議及び議事録に関すること, 農業振興に係る建議, 要望に関すること, 農業の担い手対策に関すること, 農業生産法人に関すること, 農業者年金に関すること, 農業情報の提供に関すること, 許可証, 受理通知書及び証明書の交付に関すること
		農地係 (内線 3813,3814,3820, 3821)	農地等の権利移動に関すること、小作地の所有制限等に関すること、農地等の利用関係の調整に関すること、農業経営基盤強化促進事業に関すること、農地の転用に関すること、農地の無断転用の防止等に関すること、国有農地等に関すること、現況地目の証明等に関すること、和解の仲介に関すること、農地相談に関すること、農地移動調査、統計等に関すること

あさひかわの農業 2015年9月発行

旭川市役所 農政部農政課 旭川市4条通9丁目 朝日生命ビル4階 TEL 0166-25-7417 FAX 0166-26-8624

この冊子の内容は旭川市農政課ホームページからダウンロードできます http://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/files/nousei/

あさひかわの農業

検索

